

II. 景気の先行きに対する判断理由

景気の先行きに対する判断の理由について、その主だったもの及び特徴的と考えられるものを取りまとめると以下のとおりであった。

1. 北海道（地域別調査機関：株式会社北海道二十一世紀総合研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (北海道)		商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの影響はまだまだ続くともみているが、景気が良くなることを期待している。
		旅行代理店（従業員）	・現在の新型コロナウイルスの感染拡大防止策が奏功し、ビジネス需要から回復していくことを期待している。一方、観光需要については、芝桜などの花関連イベントや祭り、スポーツ大会の中止が相次いでいるため、上期での回復は期待できない。
		旅行代理店（従業員）	・政治や経済各界での検討や対応が始まったことから、今よりは先に向けた明るい予測が出され、対策などの準備も進み始めることを期待している。また、そうでなければならぬ。
		観光名所（従業員）	・現在の自粛に伴う臨時休業、営業活動の停止から、新型コロナウイルスの影響が多少なりとも穏やかになることを期待している。営業時間短縮や部分休業を取り入れることはあるかもしれないが、営業再開に手が届くことを期待している。
		商店街（代表者）	・買物行動を控えるようにという方針があったことで、日本人はそういう方向で動くことが見込まれるため、景気は悪いまま進むことになる。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルス終息のめどが立たない限り、状況が悪くなることはあっても良くなることはない。
		一般小売店〔酒〕（経営者）	・今後2～3か月で、この状況から好転することは難しい。
		百貨店（売場主任）	・今後の客の購買心理が上向くかは、新型コロナウイルスが終息するかにかかっているが、その見通しは全く分からない。現在の状況が最底辺の状況だと信じ、今後の景気が、今よりも悪くなることはないと思いたい。
		百貨店（役員）	・緊急事態宣言とそれに伴う休業要請、自粛要請が、5月7日以降、どのようになるのかがみえていないため、景気が良くなることも、悪くなることも、どちらともいえない。
		百貨店（営業販促担当）	・現時点では新型コロナウイルスの終息が見通せない。今後、人の集まる催事、セールに対する自粛が求められるとより厳しくなる。また、商材の取引先にも甚大な被害が出ているため、通常の営業体制に戻ることは考えられない。
		コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスが収まるまで、景気が回復する見込みはない。
		乗用車販売店（経営者）	・現在の状態が今後も続く。
		乗用車販売店（従業員）	・景気回復の見込みがないため、現状の状態がまだ続く。10万円の支給も貯金に回ることになり、大型消費にはつながらない。
		自動車備品販売店（店長）	・新型コロナウイルスが終息しない限り、景気が上向きに回復することはない。
		旅行代理店（従業員）	・4月現在、出発団体の予定も、先の受注もない状況であるが、新型コロナウイルスの終息時期がまだ分からないため、今の最悪な状況は今後も変わらない。たとえ、収束がみえてきたとしても、新型コロナウイルスの流行以前のような状況には戻らないとみられ、先行き不安は長期にわたることになる。
		旅行代理店（従業員）	・国内外で新型コロナウイルスが完全に終息しない限り、旅行業の今の状況は変わらない。
	スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの影響が懸念される。	
	スーパー（店長）	・先行きが不透明な状況のなか、衣料品などの買い控え、感染リスク対策での外出機会の減少など、小売業としては厳しい状況が続く。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スーパー（役員）	・新型コロナウイルスの影響で多くの企業が倒産に追い込まれていることから、今後、金が回らなくなることが懸念される。現状は買い置き需要で買上点数が増えているが、金が回らなくなると、買いたい物も買えなくなり、買上点数が減るようになる。
		コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスの状況にもよるが、観光客の減少に伴い、コンビニの売上も悪くなる。一時的に売上の良い時期もあったが、客がより価格の安いスーパーに流れていくことが見込まれる。
		乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルス問題が解決しない限り、景気が徐々に悪くなり、間違いなく需要も冷え込むことになる。
		乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルスの終息にかかる時間が長くなるにつれて、景気は一層悪くなる。
		その他専門店〔医薬品〕（経営者）	・年金生活者や生活保護者が安定的な客となっていることから、この先については厳しい。一刻も早い健康の安定、安心が不可欠だ。
		美容室（経営者）	・今のところ、来客数、売上共に3か月前、前年と比較して余り変わらないが、新型コロナウイルスに対する心配から、予約をキャンセルしたり、来店時期を延ばすという客の動きが少しみられる。今後、そういう客が増えることになれば、全体の来客数、売上にも影響することになる。
	×	商店街（代表者）	・小売業が落ち込むことに加えて、関連する企業にも影響が出始めることになるため、今後、消費がますます落ち込むのではないかと懸念している。
	×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスが収まる気配はなく、見通しも立たない状況にあることから、店舗は何も対策を打たず、ただ疲弊していきただけである。長引けば長引くほど傷口が大きくなり、死に絶える商店街が出てくるのが懸念される。店舗支援も重要だが、商店街の存続支援も必要であることを忘れないでほしい。商店街がなくなると、地域が荒廃し、崩壊することになる。地域を守るうえでも、ぜひ商店街を大切に思っただきたい。
	×	一般小売店〔土産〕（経営者）	・新型コロナウイルスが半年ほどで収まるとは思えないことから、今後の景気は悪くなる。今後のことを見込んで、土地を150坪ほど売却したが、会社を守るためには全く足りない状況である。
	×	一般小売店〔土産〕（経営者）	・新型コロナウイルスの終息まで、まだ長い時間が掛かるといわざるを得ない状況のため、今後も感染拡大が続くことになる。観光業にとっては大変厳しい状況が、これからも数か月、年単位で続くことになる。新型コロナウイルス前提での旅行を考える必要があり、景気が回復するにはしばらくの時間を要することになる。
	×	百貨店（販売促進担当）	・新型コロナウイルスの影響による自粛要請が解除される見通しが不透明なため、この状態はしばらくの間続くことになる。景気回復にはかなりの時間が掛かる。
	×	スーパー（店長）	・新型コロナウイルス終息の見込みがないことから、今後の景気は悪くなる。
	×	スーパー（企画担当）	・緊急事態宣言の発令中、スーパーは好調だが、他業種は悪くなるばかりである。
	×	スーパー（企画担当）	・緊急事態宣言がこの先も継続していくようであれば、雇用及び所得の維持が崩れ、景気の底割れも懸念される。そうした状況になれば、食品の購買力も低下していくことになると考えざるを得ない。
	×	スーパー（役員）	・新型コロナウイルスの影響で収入が減ってきている人が増えている。店内での万引きも増えている。
	×	コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大が止まらないため、今後も景気の悪い状況が続く。
	×	コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルス終息の見通しが立たないことから、今後の景気は悪くなる。
	×	コンビニ（エリア担当）	・キャッシュレス・消費者還元事業が終了することに加えて、新型コロナウイルスの影響がますます大きくなることが懸念される。外販に加えて、店内の売上減少も見込まれる。
	×	衣料品専門店（店長）	・自粛を求めるよりも都市封鎖をするなど、確実な対応を取ってもらわないと、今後の計画すら立てられない。このままでは、毎日不安ななか、倒産を待つだけである。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	家電量販店（経営者）	・東京オリンピック開催を控えて、テレビ関連の売上増を見込んでいたが、集客イベントの開催自粛を継続せざるを得ない状況にあるため、前年の売上を大きく割り込むことが見込まれる。
	×	家電量販店（店員）	・新型コロナウイルスが収束しない限り、客足は戻ってこない。
	×	乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルスの影響が長引きそうなので、今後が心配だ。
	×	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（経営者）	・今後について、予測のできない状況となっている。
	×	その他専門店〔造花〕（店長）	・新型コロナウイルスの影響により、経済活動が大幅に縮小しており、5月以降も回復が見込めない。
	×	高級レストラン（スタッフ）	・当分の間、自粛不況が続くことになる。飲食店は、今後も薄利のランチやテイクアウトが中心になるとみられるが、なるべく早く、給付金や助成金を受給して、持ちこたえたい。一方、飲食と観光においては、コロナアフターの景気回復を見込んだ楽しそうな企画戦略が必要となる。
	×	高級レストラン（スタッフ）	・企業への補償が全く打ち出されないなか、先行きのみえない不安が高まっており、個人消費の落ち込みに一層の拍車がかかることが懸念される。
	×	スナック（経営者）	・こんなにも新型コロナウイルスの影響が大きくなるとは想像もしていなかった。4月は、3月と比べても景気が悪い。新型コロナウイルスが早く収束すれば営業も再開できるが、6月頃まで続くことになれば、40年間続けてきた店も廃業せざるを得ない。
	×	観光型ホテル（経営者）	・新型コロナウイルスのまん延がいつ収束するのかも分からず、経済活動の再開も見通せない。観光産業の復興は時間とともに困難になっていく。新型コロナウイルスの感染拡大防止には最大限協力したいが、緊急融資で借入れた資金の返済について、今後、国から何らかの対応を早期に行ってもらえないと、事業の継続が困難な状況となる。そのため、今後の景気の見通しは大変悪い。
	×	観光型ホテル（スタッフ）	・新型コロナウイルスの感染拡大防止の取組として、5月末日まで臨時休業することになった。6月以降の新規予約はほとんどなく、キャンセルの連絡が大多数となっている。
	×	旅行代理店（従業員）	・新型コロナウイルスの影響により、今後の景気は悪くなる。
	×	タクシー運転手	・新型コロナウイルスの影響で、ゴールデンウィーク明け以降も緊急事態宣言が続くようなことから、この先については、良くて4月と同様の状況が続くことになる。現在、タクシーが8時間稼働しても、5000円ほどの売上まで落ち込んでおり、今後、入出がますますなくなれば、タクシーの売上は一層減少することになる。
	×	タクシー運転手	・当面、売上の回復は望めない。
	×	タクシー運転手	・新型コロナウイルスの影響はまだまだ続く。収束したとしても、元どおりになるまでかなりの年月が掛かることになる。タクシー乗務員は、給料も大幅に下がっており、ほかの職業への転職を考えている者も多く、このままの状況が続くようだと、会社の存続にもかかわってくる。
	×	タクシー運転手	・新型コロナウイルスの終息がみえないなか、観光業、サービス業を中心に経営がおぼつかない状態となる。新型コロナウイルスが早く終えんするような強力な施策が望まれる。
	×	タクシー運転手	・今の状況は、先のみえない大変厳しい状況である。この先の会社の存続も厳しい状況であると危惧している。
	×	タクシー運転手	・国民1人への10万円の支給がいつになるのか、この状態がいつまで続くのか、不安でならない。中国や韓国のように、新型コロナウイルスの沈静化が報道されるようになることを期待している。
	×	通信会社（企画担当）	・現在の業務制限が大きく緩和される見込みがないため、収益にも大きな影響が生じることになる。
	×	観光名所（職員）	・新型コロナウイルスの影響で来客数、売上共に壊滅的な状況となっている。終息のめどが全く立っていないため、今後の先行きも不透明である。国には、観光事業者向けの補償制度の設立と終息後のいち早い経済対策の実行を望む。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	美容室（経営者）	・今後に向けての明るい展望がみえない状況であるため、当分は厳しい状況が続く。今後も予約制限、営業時間短縮の期間延長を考えているが、最悪の場合は休業も視野に入れて対処方法を考えておく必要がある。
	×	美容室（経営者）	・先行きがみえないと実感していることから、今後も景気は悪くなる。
	×	美容室（経営者）	・新型コロナウイルス収束の見通しが全くないことから、今後の景気は悪くなる。
	×	その他サービスの動向を把握できる者〔フェリー〕（従業員）	・新型コロナウイルスの感染拡大により、現在のみならず、今後数か月は観光客が減少することが見込まれる。
	×	住宅販売会社（経営者）	・新型コロナウイルスの終息のめどが全然立たないため、これから先は非常に厳しい状況が続く。
	×	住宅販売会社（経営者）	・最近発表された政府の景気対策では、経済活動がすぐに順調になることを期待できないため、今後、景気はますます悪化することになる。
企業 動向 関連 (北海道)		-	-
		-	-
		食料品製造業（従業員）	・新型コロナウイルス終息の見通しが立たないことから、今後も外食の回数が減少し、自宅で食事をする回数が増加する傾向は変わらない。そのため、今後も食料品スーパー向けの出荷は好調を維持することになる。
		建設業（経営者）	・公共工事については、土木、建築にかかわらず、受注、施工共に例年のパターンどおり動いている。一方、建築の民間工事については、今後、受注面などで新型コロナウイルスがどのような影響を及ぼすのか分からないが、現場で新型コロナウイルス感染者が出ることになれば、工事中止の事態となり、工程、原価に大きな影響を及ぼすことになる。
		建設業（役員）	・足元の受注状況から当面はフル稼働の見通しであるが、新型コロナウイルスの影響に対する懸念が日増しに高まってきている。政府の緊急事態宣言を背景に、工事中断も視野に入りつつあるため、今後の状況によっては、出来高が上がらず、工期延長で費用負担は増すといった事態を招きかねない。
		司法書士	・不動産業関連会社や建設業関連会社の休業がいつまで続くのか見通しが立たない。新型コロナウイルスが終息するまでの期間によって変わってくるため、今後の経済状況についての判断は難しい。
		コピーサービス業（従業員）	・現状はまだ影響の出していない業種も、この先少しずつ影響が出てくることになる。取引先も口をそろえている。
	×	食料品製造業（従業員）	・緊急事態宣言を受けて、人の動きが止まっているため、業務用商材の動きがますます落ち込むことになる。
	×	家具製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの終息がみえないなか、景気の減速はしばらく継続する。家具産業などの不要不急な産業はこれからも落ち込みが止まらなると考えざるを得ない。世界的にも未経験の領域に突入する恐怖すら感じる。
	×	出版・印刷・同関連産業（従業員）	・新型コロナウイルスの影響で、今後の景気は悪くなる。
	×	金属製品製造業（従業員）	・今後、新型コロナウイルスの影響がますます大きくなる。欧州からの住宅用輸入材の荷動きが滞るなどして、住宅着工が減少することも懸念される。
	×	建設業（従業員）	・例年であれば、新規工事が発注され、景気が浮揚する時期に当たるが、今年は新型コロナウイルスの影響で発注手続きが滞ることになる。受注できたとしても、緊急事態宣言下では労務者の確保がままならず、工事に着手できない状況になることが見込まれる。
	×	輸送業（支店長）	・新型コロナウイルスの影響がいつまで続くかにもよるが、今後、建築工事の中止が道内でも相次ぐことになれば、建築資材の物流も停滞することになる。
	×	通信業（営業担当）	・新型コロナウイルス感染拡大に伴う自粛など、営業活動への影響はしばらく続くことになり、今後の業績への影響は少ない。
	×	金融業（従業員）	・新型コロナウイルスが終息しない限り、経済活動は大きな制約を受けるため、道内景気は3か月前と比べて悪くなる。
×	司法書士	・新型コロナウイルス終息の見通しが立たず、経済活動の再開時期も不明なことから、当面景気が良くなることはない。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	その他サービス業〔ソフトウェア開発〕（経営者）	・現在、稼働している作業は、新型コロナウイルスの流行前に始まったもので、新型コロナウイルスが騒がれるようになってからは新規案件が全く出てこなくなった。このままいけば、3か月後の仕事量は激減することになる。
	×	その他サービス業〔建設機械レンタル〕（総務担当）	・新型コロナウイルスの影響がほぼ全業種に及んでおり、今後のマイナスの影響は計り知れない。
	×	その他サービス業〔建設機械リース〕（支店長）	・新型コロナウイルスの終息がみえないことから、観光、飲食以外の業種でも景気悪化が懸念される。
	×	その他非製造業〔鋼材卸売〕（従業員）	・新型コロナウイルスの影響で、必要な商材の入手が困難となっており、この先の仕事に対して、対応が困難なケースが発生することが懸念される。そうなれば、仕事をストップせざるを得ない。
雇用 関連 (北海道)	-	-	-
	-	-	-
		職業安定所（職員）	・有効求人倍率が6か月連続で前年を上回り、引き続き業種全体にわたって人手不足の状況にある。
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、全国的に外出自粛、営業自粛を求められている影響もあり、景気が急速に冷え込んでいる感が否めない。3月の月間有効求人数が前年比マイナス10.5%となるなど、3か月連続で前年を下回っており、今後の動向を注視する必要がある。
	×	人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスの収束が見通せない。人の動きが正常に戻るまで、企業業績の回復を望めないことから、今後の景気回復を期待できない。
	×	求人情報誌製作会社（編集者）	・いまだに新型コロナウイルス収束のめどが立たないことから、飲食やサービス業のみならず、ほとんど全ての業種に影響が波及し、仕事を失う人、仕事に就けない人が増えてくることになる。
	×	求人情報誌製作会社（編集者）	・新型コロナウイルスの終息がみえない限り、求人数は増えない。また、終息がみえたとしても、すぐインパウンドが戻ることはならないため、景気回復には相当の時間が掛かることになる。
	×	求人情報誌製作会社（編集者）	・新型コロナウイルスの終息がみえてこない限り、生活関連品以外の消費がますます落ち込むことになり、事業の継続が難しくなってしまう事業所が増えることが懸念される。
	×	求人情報誌製作会社（編集者）	・新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐには、日常の人の動きを大きく自粛する必要があるため、通常の経済活動は行いたくてもできない。新型コロナウイルスがいつ収束するのか、全く見通しが立たず、長引けば長引くほど、景気が悪くなる。
	×	職業安定所（職員）	・休業や解雇の相談が増えてきていることから、景気への影響が、これからますます深刻になる。
×	学校〔大学〕（就職担当）	・解雇や雇止めを行っても企業の経営悪化に歯止めが掛からず、体力のない企業の倒産や連鎖倒産が現実のものになってきている。国会議員や道議会議員、市議会議員の働きもみえず、トップのリーダーシップが感じられるのは知事のみである。何事にも対応が遅すぎる。	

2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (東北)	-	-	-
		スーパー（経営者）	・緊急事態宣言が継続していれば変わらないが、緊急事態宣言が解除され元の自由な状態に戻れば、気分的な部分も含め上向いてくるとみている。
		コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスは、まだまだ不透明だが、少しずつ終息に向かっているという希望を持っている。
		衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスが終息に向かえば、来客数も増えて消費が戻ってくる。
	衣料品専門店（店長）	・現状が底だとすれば今よりは少しずつ回復していくとみているが、通常に戻るには1年くらいは掛かる。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		家電量販店（従業員）	・現金10万円の一律給付の効果で、新型コロナウイルスが落ち着けば大きく出てくると思うが、5月から支給が開始されたとして、5～6月は良い方向に行くのではないかと。それ以降は政府が追加策を出してくれれば継続する可能性は大にある。
		観光型ホテル（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況によるが、終息してくれば休業している今よりは良くなるとみている。しかしながら、売上は前年比50%くらいになると予想される。
		その他住宅投資の動向を把握できる者（住宅展示場運営会社）	・外出、営業自粛の要請が長引くことを予想しているが、3か月後は現在よりも店舗の稼働日数が確保できるとみているので、景気が回復すると考えている。
		一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・新型コロナウイルスが終息すれば変わるかもしれないが、終息しないようならば売上40%増加という現在の状況で推移するとみている。
		百貨店（売場主任）	・先が見えない状況。客と従業員の安全確保と、自粛緩和や経済活動とのバランスがどうなっていくのか、どのように対応していけば良いのか判断が難しい。
		百貨店（買付担当）	・新型コロナウイルスの全国的な終息がみえなければ変わらない。
		百貨店（経営者）	・現状では平常営業への戻りは未定である。来店不要のオンラインへのシフトを進めるが、店舗売上をカバーするには至らない。今は、客との関係づくりの維持に取り組んでいくしかない。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスが依然終息していないので、まだしばらくは現在の良い状態が続くとみている。流通業界ならではの状況なのかなと思っている。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの終息次第であり、現段階では予想できない。
		スーパー（企画担当）	・新型コロナウイルス特需というか内食需要が高まっているので、ここしばらく食料品は好調に推移しており、この先も続く可能性がある。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスが沈静化し、人の動きが少しでも活発になれば良くなる。
		コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルス関係の自粛がいつまで続くかによって状況が変わるが、全く予想がつかない状況である。今後の緊急事態宣言の継続状況により変わってくる。
		衣料品専門店（経営者）	・観桜会や夏祭りの中止やスポーツの大会も全て中止で、観光客もなく祭り用品や土産品の売上が全く見込めない。
		乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルスの影響で個人客の販売量がかなり落ちている。
		住関連専門店（経営者）	・新型コロナウイルスの終息を待たなければ経済が回らないので、そのときを待つのみである。
		その他専門店〔靴〕（従業員）	・良くなる要素はない。新型コロナウイルスの終息を願うのみである。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響は読めないが、現状のままで推移するとみている。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・新型コロナウイルスの終息によって社会情勢が改善し景気が回復することになっても、業界の売上に直結することはなく変化は見込めない。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・新型コロナウイルス感染症が落ち着いてくれば、ある程度消費も戻ってくるとの期待感を持っている。
		観光型旅館（スタッフ）	・新型コロナウイルスが終息しないことには変化はないと考える。新型コロナウイルス終息後に、ある程度観光助成などでの利用は見込めるが、一時的なもので終わるのではないかと。
		タクシー運転手	・来月で新型コロナウイルスが終わりを迎えたとしても義務教育の夏休みが短縮になりそうなことから、家族連れの外出費額が伸びないと推察される。
		通信会社（営業担当）	・しばらくは新型コロナウイルスの影響によりテレワーク関連以外の客の購買意欲が余りない状況が継続するとみている。
		通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響が2～3か月で改善するとは想像できない。販売量の前年比減少分は、いずれ店舗で購入するというよりも、オンラインで購入を済ませているので、反動で需要の波が来るとも考えられない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		観光名所（職員）	・周りの状況や報道を見ても、良くなる兆しが見えない。新型コロナウイルスの新薬やワクチンが開発されれば状況も変わるかもしれないが、2～3か月では難しいとみている。
		競艇場（職員）	・いつ再開するのか分からない状態にある。3～4月は営業0日なので先が見えない。5月以降の営業についても現在未定である。
		美容室（経営者）	・ほとんどが固定客なので、決まったサイクルで訪れる。
		スーパー（店長）	・緊急事態宣言のなか、スーパーという業態特有の来客数増、売上増が続いている。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの沈静化が進めば、現状の特需も収まり通常に戻る。
		スーパー（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染防止関係で、営業時間の短縮や入店規制等、行政指導で環境は厳しくなると予測される。客の収入面での減少の影響が出てくる可能性も視野に入れるとやや悪くなるとみられる。
		コンビニ（エリア担当）	・東北各地の夏祭り中止が既に決定されており、夏の消費低減が予測される。
		コンビニ（エリア担当）	・緊急事態宣言解除の延長懸念もある。
		家電量販店（店長）	・白物家電に関しては、故障、買換えの需要は確実にあるのだが、今後新型コロナウイルス問題により景気後退が予想される。たまたま特需がきていたが、景気後退になるのではないかと考えている。
		乗用車販売店（従業員）	・画期的な新型コロナウイルスへの対策があれば別だが、終息がみえないなかでの事業活動となれば、前年10月の消費税増税もあり、今以上の受注量は見込めない。受注量が見込めないとすれば、当然登録にならないので売上高は見込めない。
		乗用車販売店（本部）	・このまま外出自粛が続くようだとサービス入庫客の大幅減も想定される。既に車検の延長措置を利用する客も相当数いて、更に増加見込みである。
		通信会社（営業担当）	・緊急事態宣言に伴う営業活動の制限が響いており、経済活動再開状況にもよるが、2～3か月後に宣言前の状態に戻ることは難しいものと想定している。
		住宅販売会社（経営者）	・法人用建築用地の契約が未期限延期になっている。
		その他住宅〔リフォーム〕（従業員）	・新型コロナウイルスの感染拡大が落ち着くまで訪問の延期が増えている。積極的な営業を自粛する。
	×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの流行は短期で終わりそうにない。今年一杯くらいはいろいろと影響があるとみている。
	×	商店街（代表者）	・例年多くの集客がある5月の各種イベントも中止になり、また年間最大イベントの8月のねぶた祭りも中止となることが決定した。集客及び客の流れもどんどん悪くなっていくことが予想される。
	×	商店街（代表者）	・緊急事態宣言が出され商店街のイベントも中止となっている。新型コロナウイルス感染症が終息しない限り、このような状況が続く商店街にとっても大打撃である。
	×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの影響は長期化するとみている。
	×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの終息がみえない不安感がある。
	×	一般小売店〔書籍〕（経営者）	・当県は感染者がいないので、大きなダメージはないが、不要不急の外出を控えるという動きがある以上、全体的な商況は厳しい状態が続くとみられる。
	×	一般小売店〔酒〕（経営者）	・新型コロナウイルスが落ち着いて飲食店が平常になるまでは悪い状況が続く。飲食店を辞める店も多いので良くなるとは考えられない。
	×	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・新型コロナウイルスの問題が解決しない限り経済はストップしたままで、絶望的な状況である。4月一杯で、歴史のあるラーメン屋やお豆腐屋が店仕舞いしている。また、街の中では夜逃げも始まっており、非常に大変な状況になっている。
	×	一般小売店〔酒〕（経営者）	・まだまだ感染者が出ているこの状況で、数か月先の景気など見通せる訳がない。今月、来週、今日の状況も分からない不安の中で経営を続けていくのは精神的に本当にきつい。今月末の支払日に満額支払ができる取引先がどれだけあるのかを考えると不安でたまらない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	一般小売店〔医薬品〕 (経営者)	・客は買いためをしており、需要を先食いしているという認識であったが、それを裏書するように、連休が近くなるにつれて来客数、客単価も悪化してきている。例年なら連休が迫るにつれ売上が大幅に伸びるところだが、今年はそうっていない。
	×	一般小売店〔寝具〕 (経営者)	・新型コロナウイルスの影響のため、どうにも動くことができないでいる。
	×	スーパー(経営者)	・5月は緊急事態宣言が継続され、経済、社会活動は更に停滞し、赤字企業、倒産、休業等の企業も増え、収入や所得がなくなる方も激増し、生活環境は厳しさを増し、消費はますます悪化するとみている。一部輸入食品の未入荷も始めている。代替商品含め、メーカー、生産者、物流業者と協力し合い、必要な食品の安定供給に一層尽力していく。1日も早く実効性の高い新型コロナウイルス感染防止対策、終息化対策を集中して進めてほしい。
	×	スーパー(経営者)	・新型コロナウイルスの影響は不透明である。
	×	スーパー(経営者)	・新型コロナウイルスショックは継続している。緊急事態宣言を延長するとの報道もあり、マインドシェアは非常に落ちている。新薬、ワクチンの開発を待つより先に地元経済が疲弊し、デフレに陥っている状況である。
	×	スーパー(営業担当)	・新型コロナウイルス終息の見通しが立たないなか、地元産業の拡販期にマイナスの影響が出れば、地域経済の破綻にも影響しかねない。
	×	コンビニ(経営者)	・新型コロナウイルスの終息がはっきりみえないなか、当店の立地条件では在宅勤務が増え、各種町の行事の中止が相次ぎ、先がみえない状況である。現在時短営業をしているが、土日の休業も考えている。
	×	コンビニ(経営者)	・新型コロナウイルスの感染者はまだ出ていないが、外出自粛により観光客も訪れないため悪くなっていく。
	×	コンビニ(経営者)	・これからどれくらいで下げ止まるか分からず、不安である。
	×	コンビニ(経営者)	・新型コロナウイルスや自粛要請にも左右されるが、しばらく厳しい日々が続く。景気の悪化も避けられないのでコンビニを利用する人も減る。力尽きてやめるオーナーが続出するのではなかろうか。
	×	コンビニ(経営者)	・この2～3か月で新型コロナウイルスが終息することはありえない。
	×	コンビニ(経営者)	・新型コロナウイルスの影響が大きい。
	×	コンビニ(エリア担当)	・新型コロナウイルスによる外出自粛が続く限りは厳しい。
	×	コンビニ(店長)	・いろいろな業種で仕事が減っており、客の懐も寒いということもあり、また会社も100%の人員で出社してこないというような状況なので、仮に緊急事態宣言が明けても元に戻るには1年以上掛かるのではないかと、あるいは元のようなサイクルに戻ることはないのではないかと懸念がある。見通しは非常に暗い。
	×	衣料品専門店(経営者)	・緊急事態宣言延長の可能性が出ているなかで、どこまで景気が後退するのか先がみえない。
	×	衣料品専門店(店長)	・新型コロナウイルスの感染拡大が終息しないと、仕事用であるいは結婚式用のニーズは非常に厳しい状況が続くと予想している。
	×	衣料品専門店(店長)	・新型コロナウイルスの終息がいつになるか分からないため景気低迷が続き、更に消費が冷え込む。
	×	衣料品専門店(総務担当)	・新型コロナウイルスの終息がみられず、要請に対応することにより営業ができない。
	×	乗用車販売店(従業員)	・連休明けまで自粛期間になっているが、その後も新型コロナウイルスの感染が縮小するとは考えにくい。よってまだしばらくはこの状況が続く。
	×	住関連専門店(経営者)	・新型コロナウイルスの影響で電話での営業活動しかできないため、終息しない限りは景気は改善しない。
	×	住関連専門店(経営者)	・新型コロナウイルスが落ち着かないうちは良くならない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	その他専門店〔酒〕 (経営者)	・少なくとも地方では休止や閉めた飲食店は再開や居抜きで入ることはないとみている。見込みが立ったとしてもかなり長期にわたり影響が出てくる。経済への影響を軽減するための直ちに使える緊急措置が必要。しかし、現在の措置は返済期間や担保といった条件がネックになり非常に使いにくく、限定的にししか使えない。皆不安が募っている。
	×	その他専門店〔食品〕 (経営者)	・新型コロナウイルスの終息がみえず、先の景気は悲観的な見方しかできない。
	×	その他専門店〔白衣・ユニフォーム〕(営業担当)	・まだまだ先がみえずに困惑している。たとえ落ち着いたとしても以前のような生活には戻れない気がする。新しい時代が来ると思われるのだが、果たしてそれに対応していけるのか、不安ばかりが先行している。売上に関して言えば望むべくもない状況である。
	×	高級レストラン(経営者)	・新型コロナウイルスが終息しても景気が元に戻るとも思えない。相当厳しい状況が続くことが予想される。
	×	一般レストラン(経営者)	・新型コロナウイルスの終息が見込めない以上、厳しさは更に増すのではないかと。今はどん底なので、これ以上下らないという意味では変わらないという言い方もできるが、飲食店以外の業種にまで悪い影響が広がっていくことが予想される。事業継続が非常に厳しい状況である。
	×	一般レストラン(経営者)	・東日本大震災のときとは違って復興が目に見えてこない。新型コロナウイルスの終息が一番の解決策になる。
	×	一般レストラン(経営者)	・新型コロナウイルスのワクチン等ができない限り人が外に出てこないで、現在のひどい状況は当分続く。
	×	一般レストラン(経営者)	・既に新型コロナウイルスの影響でまともに生活すらできない人が増えていることを考えれば、終息したとしてもそれまでの打撃が痛過ぎて外食しようとする余力が当分はないことが予想できる。
	×	観光型旅館(経営者)	・新型コロナウイルスによる混乱は2～3か月で収まることはないかとみている。
	×	旅行代理店(経営者)	・先が全くみえない。新型コロナウイルスの終息がみえたとしても、旅行が戻ってくるのはそこから3か月後になるので非常に厳しい。インターハイの中止も決まり、イベントも軒並み中止になっているので悪いとしかいえない。
	×	旅行代理店(従業員)	・2～3か月先に新型コロナウイルスが終息し、通常どおり営業できているかは不明である。終息に向かったとしてもまずは域内需要が復調するにとどまり、終息を迎えなければ需要の復活は難しい。さらに、宿泊施設や運輸機関等の倒産件数が増加することが想定され、業界全体の景気回復には時間を要する。
	×	旅行代理店(従業員)	・新型コロナウイルス感染症が終息しなければ回復の兆しはなく、悪化傾向に変わりはない。
	×	タクシー運転手	・新型コロナウイルスの影響で先がみえない。解決してもすぐに回復するとは考えにくい。
	×	タクシー運転手	・新型コロナウイルスの終息がはっきりみえず、日常生活を含めて他の事業者も先の展開がみえない状況であり、我々も先の状況がみえない。
	×	通信会社(営業担当)	・新型コロナウイルスの終息がみえないため状況は深刻度を増し、景気はもっと悪くなる。
	×	通信会社(営業担当)	・今後、新型コロナウイルスショックの影響がかなりのダメージとなる。ワクチンの適用時期が約1年後と予想されているが、終息時期は未定であり、当面は景気の悪化に歯止めが掛からない。
	×	通信会社(営業担当)	・客先への訪問が積極的にできない限り、加入者の増加は望めない。また、インターネット等の申込みはあるものの、自宅内での工事が伴うため工事前にキャンセルになるなど、思うようには対応ができない。
	×	通信会社(営業担当)	・新型コロナウイルスの終息には時間が掛かるとみている。
	×	テーマパーク(職員)	・営業を再開できるかが未定である。
	×	観光名所(職員)	・新型コロナウイルスがこういった形で終息するのかがみえない状況にある。生活に関係がない観光は景気回復においても後回しにされると考えており不安である。最終的にこのように落ち着くという答えがみえない限り景気は回復しないと考えている。
	×	遊園地(経営者)	・当初計画どおりの営業施策をとる予定ではあるが、新型コロナウイルスの状況次第で消費が戻ることは期待できない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	美容室（経営者）	・新型コロナウイルスの影響はいつまで続くか見当が付かない。今より更に悪くなる可能性も残っている。
	×	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・もはや存続できない会社や商店が多数あるため、数年間は大不況時代になると予想している。
	×	設計事務所（経営者）	・新型コロナウイルスの状況により様子は大きく変化する。最悪の場合、建築設計業界としては案件の遅延や中止が多く発生し、予想売上の確保がおぼつかない状況になる可能性が高くなる。会社を運営するためのダンピングも重なり、リーマンショックよりも厳しい経済状況に陥る。
企業 動向 関連 (東北)	-	-	-
		建設業（従業員）	・新型コロナウイルスの終息時期によって見通しは変わってくるが、あと1～2か月で終息すると想定した場合、新型コロナウイルスショックへの経済対策による公共投資増の可能性は十分考えられる。その場合は公共工事を中心に発注の前倒し等も予想される。一方で民間企業の設備投資の多くは凍結が予想される。
		通信業（営業担当）	・客の前向きな反応を見逃すことなく、今後も寄り添った客対応を継続していく。
		その他非製造業〔飲食品卸売業〕（経営者）	・外食に出掛けても問題ない、ホテルで会合を開いても問題ないという状況がどのように訪れるのか見通せない。
		その他企業〔企画業〕（経営者）	・新型コロナウイルスの終息が全くみえないなかで、受注依存型の当方としては打つ手がなく、現況が継続すると覚悟している。
		食料品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスが終息しないと観光客も来ず大きなダメージとなる。
		食料品製造業（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響により、更なる業績の悪化が見込まれる。
		電気機械器具製造業（企画担当）	・新型コロナウイルスの影響は今後更に半導体業界を悪い方向に向かわせると予想される。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・新型コロナウイルスの終息がみえないので、経済は回復せず、悪化していくと予想している。
		建設業（企画担当）	・建設現場においては機械化や自動化が進んできているとはいえ、まだまだ従来型のマンパワー・集積によるところが大きい。今後、新型コロナウイルス感染が拡大した場合、職人の確保が難しく、代替案のない事態に直面する可能性もあるとみている。
		通信業（営業担当）	・テレワーク化や学校のオンライン授業検討によって、モバイルルーターやタブレットなどの相談が増えている。ただし、取引先の先行き不安により、受注に至るかは厳しい。
		金融業（営業担当）	・新型コロナウイルスの長期化で多くの業種に悪影響が及んでいる。
		金融業（広報担当）	・新型コロナウイルス禍の長期化が予想され、大規模観光イベントの中止も相次いでいるなか、観光業界を始めとした人の流れが2～3か月で回復することは想定しづらい。一方、営業自粛が長引いた事業者の運転資金や生活資金が枯渇するシナリオについては現実味が高い。
		広告業協会（役員）	・いつ緊急事態宣言が解除され、新型コロナウイルスが終息に向かうのか分からない状況で、2～3か月先の広告業界の景気を示すのは難しいが、既に8月の祭りも中止が決定されており、例年並みの通常の状態に戻るにはかなりの時間を要する見込みである。
		司法書士	・現状、不要不急に属する業種についての需要減は致し方ない。
		コピーサービス業（従業員）	・客が店を閉店させたり、出先を閉鎖したりして、当社が設置している機械が戻ってくるケースが最近出てきている。メンテナンスする機械の減少は売上に響く。新型コロナウイルスの終息が見えないだけに先行きに不安がある。
		その他企業〔協同組合〕（職員）	・新型コロナウイルスの感染拡大の影響から、海外向け新規案件の受注量は減少し、部品調達の納入も困難となっている。
	農林水産業（従業者）	・新型コロナウイルスがいつ収まるのか見通せず、これから果物の収穫時期に入っていくが、売行きが非常に悪くなるのではと心配している。	
	農林水産業（従業者）	・さくらんぼ観光果樹園の来客数減による市場への供給増、新型コロナウイルスの流行による店舗売上減等により、さくらんぼの価格が大幅に下落することが予想される。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	食料品製造業（経営者）	・仮に緊急事態宣言が5月7日に解除されたとしても、旅行や出張などは期待できず、土産購入や飲食の売上の回復は当分の間期待できない。
	×	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・新型コロナウイルスが完全に終息しないとプラスには転じず、見通しは暗い。
	×	出版・印刷・同関連産業（経理担当）	・前月までの売上は例月の50%まで落ち込んでいた。この先の売上は、各種イベントの中止や新型コロナウイルス感染防止のためスーパーなどのチラシのキャンセルなども発生しており、例月の50%以下になりそうである。
	×	窯業・土石製品製造業（役員）	・新型コロナウイルスの影響で地域の経済活動が予想以上に停滞する。
	×	金属製品製造業（経営者）	・先が見えない状況で、販売の落ち込みはまだ底がみえない。
	×	輸送業（経営者）	・新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言の発出により、景気は更に悪化した。もともと前年の後半から貨物の荷動きが悪かったが、更に悪くなっている。また、燃油代が下がっていることもあり運賃の値下げ要請が出始めている。
	×	広告代理店（経営者）	・新型コロナウイルスが6月に終息したとしても、すぐに売上が戻るとは考えにくい。絶望的な状況である。新型コロナウイルス対策資金のスムーズな融資に期待する。
	×	経営コンサルタント	・新型コロナウイルスの終息がいつになるか分からないが、長引けば長引くほど、企業も生活者も回復力を失ってしまうことを心配している。
	×	公認会計士	・建設業もゼネコンの工事現場一時閉鎖などにより、来月以降、下請への影響が出てくる。また、緊急事態宣言が解除されて人出が戻らない限り、飲食業の経営悪化も止まらない。今後2～3か月先はもっと厳しくなるとみている。
	×	その他非製造業〔食料品卸売業〕（経営者）	・今のような新型コロナウイルスに対する政府の政策では、商売する人も一般の生活者も大変である。早く新型コロナウイルスから逃れて自由な行動ができ、自由に生活できるような状況を作らなければ需要は伸びない。これからますます大変になる。
雇用 関連		-	-
		*	*
(東北)		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・企業のイベントやキャンペーン等の販促活動はほとんど休止状態で、広告業界も混迷の極みである。ただし、テレワークやインターネット通販などのデジタル分野は活発で、それに合わせた業種の販促は少しずつ活性化してきている。
		人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルス関連の終息が見えないため、今より求人数が減る可能性が十分にある。
		人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスの終息がみえず、まだまだ在宅ワークが広がっているとはいえないので、もう少し現在の悪化傾向が続くとみている。
	×	人材派遣会社（社員）	・4月の同一労働同一賃金の施行に伴って派遣契約の期限を6月に寄せた経緯もあって、全ての派遣契約の期限が6月末であるため、契約継続を当然視していた契約が不透明になっている。
	×	人材派遣会社（社員）	・婦人服や靴などの専門商社、飲食業、旅行業、ホテル業に加えて、建設業も現場が不足して資金繰りが難しくなるとか、建設資材あるいは清掃業も人手のやり繰りがつかず現場が回り切れないというところに影響が出てきている。影響の範囲が一部の業界ではなく全体に広まってきている。
	×	人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスの影響で、外資はほぼ全滅。国内はメーカー系は全滅に近い状況となっている。
	×	人材派遣会社（社員）	・経済、企業収益低下傾向脱出の兆しが見えるまでは悪化の一途をたどる。
	×	人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルス禍の影響が不透明である。
	×	アウトソーシング企業（社員）	・新型コロナウイルスの影響はしばらく続く。
	×	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・新型コロナウイルス感染拡大の影響が続く。
	×	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・地域の祭りやイベントが早くても8月まで、ほぼ全て中止となっている。景気が上向きタイミングは全く見通せず、秋口まで落ち込みは続くともみている。
	×	職業安定所（職員）	・当初新型コロナウイルスの影響を訴えていた宿泊、飲食以外の、製造業など幅広い業種から新型コロナウイルスの影響による先行きの不透明感を訴える声が高まってきている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	x	学校〔専門学校〕	・新型コロナウイルスの影響が長引き、終息の見込みが立たないのであれば、景気の低迷は続く。

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由	
家計 動向 関連 (北関東)		コンビニ(店長)	・新型コロナウイルスの収束を願っている。	
		コンビニ(経営者)	・現状よりも新型コロナウイルスの感染が収束し、来客数も増えて、今よりは良くなる。	
		住関連専門店(仕入担当)	・新型コロナウイルス感染の状況次第だが、やや良くなるのではないかと。	
		観光型ホテル(経営者)	・希望を込めて、やや良くなる。楽観的予想では、8月には前年の50%、その後、年末にかけて毎月10%ずつ戻り、来年は2019年並みとみている。悲観的予想の場合、来年までは2019年比で50%である。いずれにしても、予測不可能な状況である。	
		都市型ホテル(営業担当)	・新型コロナウイルスの感染拡大が若干弱まって、新薬の開発、認可が進む見込みが多少出て、効果があれば、経済活動も戻り、やや良くなる可能性も出てくるのではないかと。	
		一般小売店〔精肉〕(経営者)	・まだ当分の間はこの状態が続くのではないかと。早く新型コロナウイルスが収束するような何かが見つかることを祈っている。政府の対応も待っている。	
		百貨店(営業担当)	・新型コロナウイルスの影響が、どこまで続くか見通しが立たない以上、景気の回復は見込めず、現状のままと判断している。	
		衣料品専門店(店長)	・給付金をもらっても、消費者の収入が少なくなることに変わりはなく、先行きが見通せない。消費マインドが下がり、ますます厳しい状態が続くとみている。	
		衣料品専門店(統括)	・現状の新型コロナウイルス問題が、どこまで続くのかが心配である。	
		家電量販店(店長)	・景気が読みにくい。	
		乗用車販売店(販売担当)	・この先、新型コロナウイルス騒ぎが収まらない限り、販売は見込めず、修理の売上も見込めない。良くなる要素がないので、変わらない。	
		都市型ホテル(副支配人)	・秋までの団体予約はオールキャンセルとなった。個人予約も全く動いておらず、全館休業となった競合ホテルもある。終息の見込みが立たない今は、極力経費を抑え、ただ耐え忍ぶことしかできない。	
		旅行代理店(所長)	・現在、全面的な自粛状態のため、これ以上下がることは考えたくないが、収束時期が見えないことに加え、収束宣言が出たとしても、効果が見え始めるまでにはタイムラグがあるので、多少時間を要する。	
		百貨店(営業担当)	・今後3か月先までの大型催事やイベントは全て中止となっている。営業再開も依然として不透明な部分が残る。今月も相当悪いが、状況次第では更に悪くなる可能性がある。	
		スーパー(商品部担当)	・新型コロナウイルスの影響が長引くことで、消費を抑える傾向に変わりつつあり、現状を維持していくことは難しくなりそうである。	
		自動車備品販売店(経営者)	・身の回りではプラスになる話題はほとんどない。新型コロナウイルスの影響で、じわじわと低迷しており、身に迫ってくるようである。	
		x	商店街(代表者)	・国から支給される支援金の10万円は、生活必需品を取り扱う店での買物に回ってしまうので、物販店に回る分は少ない。
		x	一般小売店〔家電〕(経営者)	・今後、皆の給料がどうなるのか。休業が出ている業種によっては、全くどうしようもない状況が続いているので、この先は悪くなる。
		x	一般小売店〔青果〕(店長)	・新型コロナウイルスで緊急事態宣言が出てから、取引先の約6割が営業を休んでいる。この状態がこのまま続くようであれば、大変なことになるのではないかと。
		x	百貨店(営業担当)	・新型コロナウイルスの早期収束は期待できず、当面は厳しい状況が続くとみている。
	x	百貨店(店長)	・新型コロナウイルスの影響で、悪くなる。	
	x	スーパー(経営者)	・新型コロナウイルス関連で収入が減るので、悪くなる。	
	x	コンビニ(経営者)	・新型コロナウイルスの影響で、来客数が全くとってよいほど減ってしまっている。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	コンビニ（経営者）	・大きく売上が落ちるなか、5月末まで続くということが、大変不安である。新型コロナウイルスの先が見えず、不安のなかで営業している。従業員の感染リスクも不安材料で、感染防止策としてマスクや薬剤、シールド等の経費も収支を圧迫してきている。このまま続けば、人件費の抑制なども考えていかなければならない。
	×	衣料品専門店（販売担当）	・新型コロナウイルスに対する安心感を植え付けられるような環境が整えばまた違うが、出口、いわゆる収束が見えない限りは、客の不安だけが残る。このまま横ばいとは考えづらく徐々に悪くなる一方ではないか。それこそ1つでも明るい材料、人を安心させるだけの情報が出てこない限りは、このまま悪くなっていく。
	×	家電量販店（営業担当）	・新型コロナウイルスが終息しない限り、改善することはない。
	×	乗用車販売店（経営者）	・新型コロナウイルスの影響がいつまで、どこまで続くか分からないが、経済のダメージが大き過ぎて、地域や、それ以上に日本はどうなってしまうのが本当に心配である。
	×	乗用車販売店（販売担当）	・皆が思っていることだとは思いますが、新型コロナウイルス騒ぎが沈静化するか収束しないと悪くなる。当店は周りが観光地なので、客がほとんど来ない状態で、勤めている人も休業や失業等、3～4月に入って悲惨な状況が続いている。これから先、いつごろ収束するかが見えないので、何か月もこの状態が続くとすると、本当に壊滅的な状況になってくる。
	×	乗用車販売店（統括）	・新型コロナウイルスが収束しても、すぐには戻るような気配がない。
	×	住関連専門店（店長）	・新型コロナウイルスの影響で、除菌関連品を中心に販売は伸長しているが、貯蓄が続くのも数か月が限界だと感じる。
	×	その他専門店〔靴小売業〕（経営者）	・新型コロナウイルスの状況次第なので、現状では判断できない。
	×	その他専門店〔燃料〕（従業員）	・新型コロナウイルス感染拡大がこのまま続き、先が見通せないなか、更に影響が大きくなる。
	×	一般レストラン（経営者）	・これは世界的な状況であり、しばらく続く。来客数は半端なく激減するのではないか。
	×	一般レストラン（経営者）	・2～3か月では新型コロナウイルスショックは収まらないと考える。
	×	一般レストラン（経営者）	・収束する気配がなく、先が見えないだけに対応が難しい。
	×	一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	・新型コロナウイルスの終息が不透明である。
	×	スナック（経営者）	・新型コロナウイルスの収束めどが立っていないため、先行きが不安である。また、収束後も、客が平常には戻らないのではないかと不安がある。
	×	その他飲食〔給食・レストラン〕（総務）	・新型コロナウイルスの収束が見えないなかで、様々な影響が長期化すると懸念される。公共施設の再開時期の繰り延べだけでなく、テレワークや在宅勤務の定着化等により、事業所での食事提供スタイルが変化していくことも考えられる。
	×	都市型ホテル（経営者）	・新型コロナウイルスの影響により、予約が皆無である。
	×	都市型ホテル（スタッフ）	・新型コロナウイルス感染拡大の影響で、全く先が見通せない。4月は宿泊稼働も15%に届くかどうかという状況である。宴会、会議もほとんどない。宅配弁当のサービスを始めて、問合せや予約はあることが唯一の明るい材料である。
	×	旅行代理店（経営者）	・新型コロナウイルスの収束が見えないため、悪くなる。
	×	旅行代理店（従業員）	・新型コロナウイルスの収束時期が分からない。
	×	タクシー運転手	・新型コロナウイルスがいつまで続くか分からない。
	×	タクシー（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、この先も悪いとみている。
	×	タクシー（役員）	・国の対応が最悪な状態では、現状がいつまで続くか見通しが付かない。
	×	通信会社（経営者）	・緊急事態宣言下なので、当社からの営業活動は自粛している。また、先行き不安から、客の消費意欲も感じられない。この状況がいつまで続くのか、見通しも立たないので、非常に不安である。
	×	通信会社（経営者）	・新型コロナウイルスの終息は見えない。
	×	通信会社（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、悪くなる。
	×	通信会社（社員）	・新型コロナウイルスの自粛要請がいつまで続くかによる。解除されても即活動できないと思われるため、悪くなる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響の長期化が予想されるため、当面景気の改善は期待できない。
	×	通信会社（総務担当）	・新型コロナウイルス感染の収束予測になってしまうが、2～3か月で収束して通常の経済活動ができるようになるとは考えにくい。
	×	通信会社（局長）	・現時点で5月末までの休校延長が決まったり、支払の延長希望が出ているなど、回復の見込みが薄い。
	×	テーマパーク（職員）	・緊急事態宣言が解除されても、当面は旅行やレジャー控えが想定され、従来のような来園者数は期待できない。
	×	ゴルフ場（総務担当）	・新型コロナウイルスが今後2～3か月では収束しないと仮定すれば、悪くなる。いずれにしても、新型コロナウイルスの今後の動静次第である。
	×	競輪場（職員）	・新型コロナウイルスの影響で、客がどのように動くか全く読めない。開催そのものできない状況にあり、他場でも大変苦慮している。
	×	美容室（経営者）	・新型コロナウイルスで影響を受けない業種は何一つないのではないかと。個人での頑張りではもう無理で、残念ながら心が折れそうである。
	×	美容室（経営者）	・今はただじっと新型コロナウイルスが過ぎ去るのを待つだけである。スタッフの給与は持ち出しでしのぐが、専従者までは回らない。
	×	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・新型コロナウイルスの終息が見えない。
	×	設計事務所（所長）	・新型コロナウイルスが収束しない限り、景気回復は見込めない。政府が金融対策を講じないと大恐慌もあり得る。
	×	設計事務所（所長）	・新型コロナウイルスで大きな打撃を受けている業種が多く、景気の下降が予測される。
	×	住宅販売会社（経営者）	・新型コロナウイルスが収まる様子がなく、この状況はしばらく続く。
	×	住宅販売会社（経営者）	・やはり、この新型コロナウイルス問題が解決しないと、景気は回復しないのではないかと。早く新薬でも出て、経済が落ち着いてほしい。
	企業 動向 関連 (北関東)	-	-
-		-	-
		化学工業（経営者）	・今の落ち込んだ状態から、それほど簡単には戻らないとみている。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	・2～3か月では新型コロナウイルスが収束しないので、受注量、取引先の様子等、やや悪い状況が続く。
		窯業・土石製品製造業（総務担当）	・新型コロナウイルスで、公共事業に影響が出てくるのではないかと。
		その他製造業〔消防用品〕（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響が、まだしばらくは続くともみている。
		輸送業（営業担当）	・通常なら今後、夏場家電のエアコン、扇風機や、バーベキュー用品、レジャー用品等の物量が増える予定だが、新型コロナウイルスの収束が見えない状況で、景気が悪化し、消費も落ち込んで物量が減りそうである。好材料としては、原油安となり、燃料コストが下がっていること、世間の物量が減ることで車両確保がしやすくなったことだが、先行きは大変不安である。
		不動産業（経営者）	・新型コロナウイルスの終息が見込めないが、今後、緊急事態宣言の影響で、移動制限のかかる可能性があるとなると、仕事自体ができなくなる可能性もある。
		司法書士	・この辺りの企業は、皆、孫請くらいの企業である。これらの社長が、仕事が止まっているという話をしており、この状況がしばらくは続くので、やや悪くなるのは仕方ないのではないかと。
		社会保険労務士	・夏のボーナスは厳しい状況になるだろうし、休業要請が長引くと、家賃だけでなく社会保険料の負担も耐えられなくなる恐れがある。
×		金属製品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、これから製造業がどうなるかという不安があるだけで、具体的なことは分からない。とても心配している。
×		金属製品製造業（経営者）	・新型コロナウイルス流行のため、国内建設業が休業しつつあり、近いうちに、昇降機の組立ても止まりそうである。ただし、昇降機の親会社からは、今のところ休業の話は来ていない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	一般機械器具製造業（経営者）	・2～3か月先も新型コロナウイルスの影響が収束しているとは思えない。現状、影響が出ていない産業分野へも悪影響が広がると予想している。
	×	電気機械器具製造業（経営者）	・今のところ生産はしているが、今後6～7月辺りには全く生産ができなくなるほど受注が極端に落ち、かなり厳しくなる。営業が仕事を取りに全く回れないので、受注がどんどん減っている。
	×	電気機械器具製造業（経営者）	・新型コロナウイルス対応で、取引先は5月6日まで休日となっている。今後の予測がつかない。
	×	輸送用機械器具製造業（経営者）	・新型コロナウイルスによる外出自粛要請以降、ディーラー来場者が大きく減少している。また、米国では外出禁止令によって行動を制限されているため、販売活動に大きな影響が出ており、自動車メーカーの生産停止で部品受注にも影響が出ている。
	×	建設業（開発担当）	・現政権誕生後、公共工事は順調に推移してきたが、新型コロナウイルスの問題で、先行きは大変心配せざるを得ない状況である。しかし、人の命は地球よりも重いことを考えれば、経済の停滞は仕方がないのではないかと。今は、命が一番に考えるべきときである。新型コロナウイルスの問題では、我が国は誇れる国ではない。今後を考え、日本人全員でもう一度、自分や人の命を一番に考えて行動を取っていくべきである。経済の停滞は二の次でよい。
	×	建設業（総務担当）	・先が見えないため、民間への投資も抑えられるとみており、かなり落ち込むと予想している。
	×	不動産業（管理担当）	・新型コロナウイルスの収束が見えないため、今後も作業の延期や中止が大いに見込まれる。取引先の経営状況の悪化も予想されるため、長年の取引でも縮小や解消等、売上のマイナス要因が多い。
	×	広告代理店（営業担当）	・新型コロナウイルスの終息が見えない限り、経済は止まった状態ではないか。
	×	経営コンサルタント	・新型コロナウイルスの影響が、更に確実に広範な業種に及び、売上や受注の減少などのダメージが深刻になっている。観光地、商業施設、イベント関連はもちろん、特に個人営業の店はほぼ全業種で厳しくなる。このタイミングでの廃業も急増の気配である。
	×	その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・受注量が更に悪化するのではないかと。客も先行きが見えず混みとしていて、新規の投資をする状況にない企業が増えてきている。業績も一層悪化する。
雇用 関連 (北関東)	-	-	-
	-	-	-
		人材派遣会社（経営者）	・飲食店等ではテイクアウト、持ち帰りを全面的に進めて営業しており、店舗での販売は、コンビニ程度である。配送関係のスタッフ募集も見受けられており、賢明な策を考えて、小規模企業が頑張っている。
		人材派遣会社（経営者）	・早く新型コロナウイルスが収束しないと仕事が安定しないので、困っている。
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルス関連の影響により、先行き不透明感から、現状が継続する。
		人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルス収束の見通しが立たない以上、状況は改善しないと思われる。
	×	人材派遣会社（管理担当）	・クライアントからの派遣要請がないため、通常なら種類の製造派遣が増える時期だが、要請は減少している。
×	学校〔専門学校〕（副校長）	・新型コロナウイルス感染症の影響による緊急事態宣言が、今後いつ解除され、経済が安定するか心配である。	

4. 南関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (南関東)		旅行代理店（販売促進担当）	・4月の現状が底ではないかと感じている。業界の状況も、周りもそのように受け取っているため、今月と比べると2～3か月後は間違いなく良くなる（東京都）。
		美容室（経営者）	・大方新型コロナウイルスが収束に向かうのに5～7月まで掛かる。それを過ぎれば普通の生活に戻る。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響が若干小さくなっていく。また、それを期待している（東京都）。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		百貨店（売場主任）	・新型コロナウイルスが収束し、緊急事態宣言が解除され、きちんと百貨店が営業できれば、今よりはましになってくる。ただし、これが一遍に全て終わるというわけではなく、徐々に環境が良くなる（東京都）。
		百貨店（広報担当）	・店舗が段階的に営業を再開すれば、来客数は足元よりは増加する。ただし、消費者の価値観が変化しており、完全な回復までどれくらい時間が掛かるかは全く見通しが立たない（東京都）。
		百貨店（販売促進担当）	・基本的に、新型コロナウイルスの感染拡大に向けた取組は長期にわたり実施していくことになるが、その状況下でもできる経済活動を緩やかに開始していき、最悪の現状からは少し良くなると思っている（東京都）。
		百貨店（計画管理担当）	・現在新型コロナウイルス感染症対策の影響により、小売業は休業等を余儀なくされておりどん底の状態だが、ウイルスへの対策が進み、感染者数が減少すれば、業績も回復することが予想される。その一方で、取引先、商品の供給等、不透明なことも多く、以前のような商環境に戻るには時間を要することも想定される（東京都）。
		百貨店（店長）	・3か月後には、規制を緩和しながらの企業活動を行うことができていると予測している。まずは必需品の食品領域からの復活はあるものの、一旦今のスタイルがそこそこ定着したこともあり、海外の状況を見ても、洋服や雑貨といったぜいたく品の復活には、しばらく時間が掛かるものと思われる（東京都）。
		家電量販店（店長）	・外出自粛疲れによる反動が消費マインドを押し上げる。しかし、世界的な景気低迷で、企業では間違いなくコストカットが行われる。冬のボーナスも減額は免れない。したがって、大きな業績回復は見込めない（東京都）。
		一般レストラン（経営者）	・各国で新型コロナウイルスの新たな感染のスピードが遅くなり、封鎖を解除する国や地域が増える。治験により治療薬の効果が次第に明らかになり、未来に対する安心感が生まれることにより消費行動が復活する。各種助成金やセーフティーネットによる企業への貸付けが実施されることにより、経営が保全される。
		通信会社（管理担当）	・新型コロナウイルスの影響は、外に出られないことによる消費の落ち込みである。一部の失業者を除けば、巣籠りすることでお金を使っていないだけである。多くの方は外食を我慢し、ゴルフにも行けないのだから、その分消費活動は活発になるとと思われる。
		ゴルフ場（経営者）	・3密の状況がない業種に関しては、人々の自粛も限界が来ているので、多少は上昇する可能性がある。
		その他レジャー施設 [ボウリング場]（営業担当）	・5月7日から営業再開の予定なので、休業期間の売上ゼロよりは当然良くなる。しかし、団体客の来場はまだしばらくは見込めないと思われるため、以前のように戻るには程遠い（東京都）。
		一般小売店 [和菓子]（経営者）	・新型コロナウイルスの収束がまだ見えていないので、景気は回復しない。
		一般小売店 [家具]（経営者）	・今の悪さがこのまま変わらず続く。新型コロナウイルスが収束すれば、多少購買意欲が生まれるのではないかと（東京都）。
		一般小売店 [祭用品]（経営者）	・5月になっても新型コロナウイルスが収束する気配が見えない。
		一般小売店 [傘]（店長）	・来客数、販売量共に減少し、どん底の状態がしばらく続きそうである。
		一般小売店 [茶]（営業担当）	・新型コロナウイルスが収束しないことにはどうしようもない。一応、新茶の時期ではあるので、品物の準備などはしているが、果たして客はどうだろうか。ホテル関係の需要が始まることを期待している（東京都）。
		百貨店（総務担当）	・先行きが余りにも不透明であり、この先どうなるか全く判断ができない（東京都）。
		百貨店（総務担当）	・5月中に営業再開できるか不透明である。営業再開となった場合でも、新型コロナウイルスの鎮静化までには時間が掛かることが見込まれる。当面、自粛対応が続くことから、本格的な消費回復は遠く、また、商品供給もすぐには戻らないことから、しばらくは厳しい状況が続く（東京都）。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		百貨店（営業担当）	・先が見えない状況であり、当分回復の見通しは立たない。特に、食品以外の商品群では国内ブランド、海外ブランド共に生産ラインが止まっており、秋冬商材の手配も厳しく、店舗の営業確保が困難である（東京都）。
		百貨店（営業担当）	・休業等で収入減となった企業も多く、新型コロナウイルス感染者が落ち着き、緊急事態宣言が解除されても、景気回復には長期間を要すると想定する（東京都）。
		百貨店（販売促進担当）	・5月7日以降も緊急事態宣言が継続すると思われ、解除後も新型コロナウイルス問題がすぐに解決することはなく、客の外出自粛が続くことや、取引先も大きく影響を受けていることから、しばらくは悪い状況が続く。また、今後は販促方法や催事、イベントの開催方法など、従来とは運営方法を大きく変える必要も考えられ、それに伴う影響も大きい。
		百貨店（店長）	・先行き不透明であることから、実際に緊急事態宣言が解除されたとしたら多少改善するかもしれないが、予断を許さない（東京都）。
		百貨店（企画宣伝担当）	・新型コロナウイルスの感染状況により、消費マインドや行動範囲などが縮小するので、それに伴う社会的影響の大きさにより変わる。
		スーパー（経営者）	・新型コロナウイルスの状況が変わらなければ、このままだと思われる。
		スーパー（経営者）	・この先の新型コロナウイルスの収束状況によって大変変わってくると思うので、まだ先が読めない部分があるが、今月と同様に、家庭内で消費する巣籠り需要がまだしばらく続くのではないかと思われるため、変わらない。
		スーパー（店長）	・3か月先の予測についても、新型コロナウイルスが収束するかしないかで景気は大きく左右される。3か月後については、収束しなければ今のまま変わらないのではないかと（東京都）。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの影響で一時的に業界の状況が上向しているだけなので、収束すればどんだの経済状況となり、節約生活を強いられる。景気自体は当面厳しい状況が続く（東京都）。
		スーパー（営業担当）	・内食化傾向が進んでいるが、今後は更にその傾向が進み、食料品、生活必需品の売行きは、更に高まっていく（東京都）。
		スーパー（仕入担当）	・緊急事態宣言が続くようであれば、同じような状況が続く。
		コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスの収束が見えないなかでは、外出自粛が継続されると考えており、テレワークや週末の外出自粛により、売上は厳しい状況が続く（東京都）。
		コンビニ（商品開発担当）	・なかなか回復できない（東京都）。
		衣料品専門店（統括）	・緊急事態宣言の延長、テレワークの推進により、来客数が大幅にアップする可能性が見いだせない。
		乗用車販売店（経営者）	・自動車の整備は順調に入っているが、販売が残り芳しくない。3か月前よりも5割減っている。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（団体役員）	・新型コロナウイルスの長期化が懸念される（東京都）。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの収束時期が景気に大きく影響する。家賃、人件費が大きいのし掛かっている（東京都）。
		一般レストラン（経営者）	・緊急事態宣言が解除されるまでは、飲食店は8時には店を閉めなくてはならない。宣言の解除後はどうなるのか、この先の予測がつかない（東京都）。
		一般レストラン（スタッフ）	・新型コロナウイルスの収束の見通しが立たない。
		都市型ホテル（スタッフ）	・新型コロナウイルスが収束するとは思えない。
		旅行代理店（従業員）	・現在の最悪の状況が続く（東京都）。
		旅行代理店（営業担当）	・新型コロナウイルスが収束しない限り景気は回復しない。東日本大震災よりも厳しい状況である（東京都）。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスに対するワクチン若しくは特効薬ができない限り、現状がしばらく続く。多少は景気が良くなっていくのではないかとと思うが、今の状況はまだしばらく変わらない（東京都）。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		通信会社（営業担当）	・緊急事態宣言解除の状況にもよるが、多チャンネル、OTT、インターネットへの需要は高まっており、これ以上悪くはない。
		通信会社（経理担当）	・テレビ、インターネット接続サービスは、余り変わらないと予測している。高齢の加入者の割合が高いので、新型コロナウイルスに罹患することがなければ、変化は少ないはずである。
		設計事務所（経営者）	・勤務状態が在宅に変わっただけで、打合せの回数も内容も特に変わっていない。国の状況もあり、相手企業があつてのことなので、相手次第になってしまうが、現在のところ、変わるということを予想できない。
		設計事務所（所長）	・新型コロナウイルス対策はめどが立たない。また、めどが立ったとしても進むかどうかも見当がつかず、今のままが続いていく（東京都）。
		住宅販売会社（従業員）	・新型コロナウイルスは2～3か月先ではまだ収束していないと思われるため、景気は悪いままで変わらない。
		住宅販売会社（従業員）	・来場者がほぼいなくなっているため、今後も景気は悪いままで変わらない。
		一般小売店〔米穀〕（経営者）	・経済の動きが止まっているので、先が見えず、取引先も閉店に至るところが多く出てくる（東京都）。
		スーパー（販売担当）	・販売量の動きを見ていると、新型コロナウイルスの影響のなかでも、食品については前年並みか前年を上回る販売量になっているが、衣料品や住居用品などは、客が食品を買うために他の物を買ひ控えているのか、販売量が伸びない。この傾向はまだまだ続く（東京都）。
		スーパー（経営者）	・新型コロナウイルスが少し落ち着き、平常時に近くなると思われる。
		スーパー（総務担当）	・このまま緊急事態宣言が延長された場合、更に来客数や購買力の強さは見受けられなくなると思われるが、解除後に景気が回復してきても、一般消費者への給与に反映されてくるのはもっと遅くなる。客が買物を楽しむのはそれからになるので、小売業については回復がかなり遅くなるのではないかと。必要最低限の物だけの販売という形が続く。
		スーパー（ネット宅配担当）	・今が良すぎるので、落ち込むことは明確である。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で来客数は変わっていないが、客単価だけが大幅に伸びている。2～3か月後は逆に落ち込む。
		家電量販店（店長）	・現在はステイホームが合言葉となって「おうち時間」が増え、それに伴う需要があるが、今後新型コロナウイルスが収束すると、反動でアウトドアに需要が移るのではないかと。
		乗用車販売店（営業担当）	・先が見えない不安があるので、自動車購入は優先順位としては低い。
		乗用車販売店（店長）	・新型コロナウイルスの影響が続く。
		その他専門店〔ドラッグストア〕（経営者）	・新型コロナウイルスが収束しないと、商品を販売していても客がなかなか来てくれない。来客数も減っているため、これから先また悪くなるのではないかと。
		一般レストラン（経営者）	・既にどの飲食店も9割減くらいになっており、当店もその範囲で落ちている。今後は客が来ることはないが、同業他社がどんどん潰れていき、結果的に心理的な不況が更に深まる。ただし、もう既に売上は落ちるところまで落ちているので、これ以上急速に悪くなるというよりは、企業がなくなっていくという感じがする（東京都）。
		通信会社（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が完全に終息しない限り、消費は回復しない（東京都）。
		通信会社（社員）	・モバイルについて、在宅ニーズが高まるなか、MNO3社はユーザー支援の一環で一定の通信量を無償化している。MNOと比べ通信速度が遅いMVNOでは、一定の通信量を無償化することは難しく、結果としてMNOがユーザーを縛ることにつながるのではないかと危惧している。固定回線については、在宅ニーズが落ち着いた後、申込みが落ち着くと考えられる（東京都）。
		通信会社（経営企画担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大に伴う更なる影響が見込まれる（東京都）。
		観光名所（職員）	・新型コロナウイルスの収束がいつになるかまだ分からない。早く収束するよう期待している（東京都）。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		パチンコ店（経営者）	・リーマンショック以上の景気悪化で、政府の支援策も追い付かず、厳しい状況が当分続く。夏場に向けて新型コロナウイルス感染が収束に向かうようであれば、やや持ち直していくのではないかと期待している。
		設計事務所（職員）	・新型コロナウイルスによる緊急事態宣言が延長される可能性が高い。既存業務の進捗もさることながら、発注の延期も見受けられる（東京都）。
		その他住宅〔住宅管理・リフォーム〕（経営者）	・今の段階ではいつ頃良くなるかということは想像できない。その時がはっきり分かるには、もう少し時間が必要である。
	×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスがいつの時点で収束に向かうか全く見当がつかないが、現状では外出自粛がかなり長い間延長されていくのではないかと。これによって商売は危機的状況になっている。このまま長引くようであれば、商店街の店の廃業あるいは倒産も考えられるので、非常に心配している。
	×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの収束状況、若しくは緊急事態宣言の解除時期にもよる。いずれにしても速攻で良くなる要素は見当たらない（東京都）。
	×	一般小売店〔家電〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、客との面談など、こちらからの声掛けができないので、本当に先が見えない。客から良い話も聞けないし、当店のような商売は、こちらからのアプローチ、提案などをしていかなければならないが、客に会って話すということができないので、どんどん悪くなっていくような気がする。政府が休業要請をするなら、そういうことも考えてもらいたい（東京都）。
	×	一般小売店〔家電〕（経理担当）	・今は自店でできることを考えてやるしかない。今後も、新型コロナウイルスがいつ収束するか、また、収束後にどのようになっていくのか、とても心配である。
	×	一般小売店〔家電〕（経理担当）	・自粛の期間も延びそうだし、商品も部品も品薄状態である。修理の依頼が来てもこたえられるかどうか皆目見当がつかない。エアコンについては、暑くなると待たなしになるので、そこそこの在庫は確保している。
	×	一般小売店〔食料雑貨〕（経営者）	・緊急事態宣言以降、店舗を休業している。2か月なら耐えられるが、それ以上は退店せざるを得ない。ロックダウンしてほしかった。
	×	一般小売店〔印章〕（経営者）	・新型コロナウイルスがいつ収束するかによる。1日も早く収束してほしいが、逆に収束後の方がダメージが大きくなるのではないかと懸念している。私たち全員が健康で過ごせることを願っているが、厳しい世の中になったものである。
	×	一般小売店〔文房具〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大に歯止めが掛かる様子もなく、一段と景気が落ちていくのは明らかである（東京都）。
	×	一般小売店〔生花〕（店員）	・新型コロナウイルスの影響で、最初は、営業を自粛するか続けるのか、本当にどうしたらいいかよく分からなかった。とにかく新型コロナウイルスが早く収束することだけを祈っている（東京都）。
	×	一般小売店〔文具〕（販売企画担当）	・今月は現時点で売上が前年比141%、粗利でも123%と好調ではあるが、これは一時的なもので、大きな案件があったからである。現在、じゅう器関係、特にスチール家具等の案件が全て止まっている。今後数か月は投資等が少なくなり、案件がぐっと減ると思われるので、売上は断然下がる。
	×	一般小売店〔茶〕（営業担当）	・イベントの開催が未定の状態が続いており、不安である。
	×	百貨店（売場主任）	・新型コロナウイルスの影響で減収、失業者の増加が予測されるなか、営業再開しても生活必需品以外のぜいたく品と捉えられている商材を販促していくことは厳しいと推察される（東京都）。
	×	百貨店（総務担当）	・現在、新型コロナウイルスの収束が見えないなかで、仮に緊急事態宣言解除後、食料品売場以外の売場がフルオープンできたとしても、消費に対するマインドの低下は否めない。
	×	百貨店（販売促進担当）	・百貨店の商売はハレの行事に伴うニーズが多く、それらの行事や人と会う機会の自粛が継続する間は、景気の悪化傾向が増していく（東京都）。
	×	スーパー（総務担当）	・新型コロナウイルスの収束のめどが立たない。
	×	スーパー（販売促進担当）	・新型コロナウイルスの収束次第で変わってくる。現状では見通しは分からないが、緊急事態宣言解除後も不振は継続すると予想している。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	スーパー（仕入担当）	・新型コロナウイルスの収束は先が見えず、倒産する業界が数多く出る。我々スーパーも感染の恐怖から退職者が出ており、ますます人手不足に陥る。
	×	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの収束見込みが不透明である（東京都）。
	×	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が今収まることはないと感じ、客はスーパーに集まっており、コンビニは開店していても売上増は見込めない状況が続いている。
	×	コンビニ（経営者）	・近隣の公園の封鎖、買物を含め、自粛の影響を受けている。
	×	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスによる休業及び閉店、いろいろな経済活動、流通も全て止まっているので、それが復活するのにどれくらい掛かるのか分からない。
	×	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスがある程度収まるまでは、経済活動もできないだろうし、今の状況は変わらないため、更に悪くなる。半年後、とんでもないことが起きるくらいに感じている。我々みたいところはどんどん倒産してってしまうのかという恐怖さえ感じている。
	×	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスが落ち着くまで、耐えていく。
	×	衣料品専門店（経営者）	・学校が連休明けからきちんと再開できるかどうか分からないので、スクール用品が全く売れない。また、当店では催事用グッズが大変売れるのだが、夏にかけてのイベント、夏祭り、花火大会がないので、その売上が全く見込めない。6月頃には秋の催事の準備があるが、そのめども立たないということで、今年いっぱい低迷するのではないかと。町中が大変困っている。
	×	衣料品専門店（店長）	・全国に対する緊急事態宣言があり、商品生産、物流が滞っているため、季節商材が後るにずれてきている。来客数が大幅に減少しており、新型コロナウイルスの収束が見込めない限り、景気の大幅な悪化は避けられない。
	×	衣料品専門店（店長）	・緊急事態宣言の解除により今よりは良くなるが、自粛ムードは依然として続くように思われる。特に、当社の取扱商材が着物、ドレス、毛皮等、高付加価値型のため、業績回復までは時間を要す（東京都）。
	×	衣料品専門店（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響により、少なくとも1～2年はこの状況が続く。チェーン店以外の個人商店は全てが廃業し、自己破産など、倒産に追い込まれる。当店もそのうちの1つとなる。
	×	衣料品専門店（役員）	・外出自粛要請はまだこの先も続きそうであり、我慢するしかない。
	×	家電量販店（店長）	・新型コロナウイルスの収束後、一時的に上向き可能性があるが、実体経済の底が見えない限り、景気は悪い。
	×	家電量販店（店長）	・企業活動が落ち込んでいるので、夏のボーナスが減ったり、なくなることで、消費が冷え込む可能性が高い。必要な物は売れても単価ダウンは避けられない（東京都）。
	×	家電量販店（店長）	・新型コロナウイルスの影響がまだまだ収まりそうにない。
	×	家電量販店（経営企画担当）	・新型コロナウイルス対策で、緊急事態宣言、ステイホームが続く間は、回復は期待しない。従業員の安全対策、雇用維持、会社の存続のための手立てを優先する（東京都）。
	×	乗用車販売店（経営者）	・納期が通常2～3か月掛かるため、今月の納車はほぼできている。今月の販売不振は6～7月に大きく影響する。
	×	乗用車販売店（経営者）	・新型コロナウイルスによる影響がまだしばらく続くと思われるので、すぐに景気が回復するとは思えない。
	×	乗用車販売店（販売担当）	・新型コロナウイルスの影響はまだ2～3か月先まで続く。観光用の車、新車関係の整備を含め、今後については相当悪くなると予測している。当然、客からの依頼や人員確保のための面接などは、現段階では休止又は延期ということになっている（東京都）。
	×	乗用車販売店（店長）	・販売量と購買意欲の低下がより加速する。
	×	乗用車販売店（総務担当）	・新型コロナウイルスが収束しても、世の中の景気は最悪な状態が続く。買い控えが続く、苦しい経営も続く。
	×	乗用車販売店（渉外担当）	・新型コロナウイルスを起因とする事業活動の縮小が広範に及んでいる。
	×	乗用車販売店（営業担当）	・先が見通せないとの理由で、客が高額な買物を控えている（東京都）。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	住関連専門店（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響による経済の失速は避けられず、生活必需品や医療関連以外の消費の落ち込みは予測することすら難しい（東京都）。
	×	住関連専門店（統括）	・新型コロナウイルスの影響はまだ続く。したがって、売上等も大幅に減少する。
	×	その他専門店〔ドラッグストア〕（経営者）	・新型コロナウイルスが収束するとは思えないため、客の来店頻度は確実に減る。
	×	その他専門店〔貴金属〕（統括）	・現在、全ての店舗を閉めて売上ゼロの状況なので、これ以上会社の収入が減少していくことはないが、従業員などの給料を休業手当へ振り替えることで、個々人の収入が減少していくことが考えられ、新型コロナウイルスの収束がすぐに消費につながるとは考えにくい（東京都）。
	×	その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・先が見えてこない。少なくとも、新型コロナウイルスの感染予防に関する指標を明示してもらわないと、ゴールが見えてこない（東京都）。
	×	その他小売〔生鮮魚介卸売〕（営業）	・最悪の場合、廃業を考えている（東京都）。
	×	その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・新型コロナウイルスの感染予防策に関して、海外の事例を見る限り、現状の方策で収束するとは考えにくい。
	×	高級レストラン（営業担当）	・自粛解除日のめども立たず、特に宴会売上をメインとしている当社にとっては、V字回復は期待できない。新たな展開方法も検討せざるを得ない状況である（東京都）。
	×	高級レストラン（仕入担当）	・新型コロナウイルスのワクチンや特效薬ができるまで、外出自粛は続くと思われるので、再開できたとしても以前のような状態には戻らない（東京都）。
	×	一般レストラン（経営者）	・飲食店のため、新型コロナウイルスの影響は甚大で、このまま続けば倒産確実である。早く収束してほしいが、すぐには難しそうで、途方に暮れている（東京都）。
	×	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、飲食店は続けられるのかどうかも分からない。借入れは申し込むつもりだが、果たしてそれがもつのかどうかも分からない。
	×	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスが収束しない限り、景気は回復しない（東京都）。
	×	その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・自粛要請ばかりで、補償は少な過ぎるし、対応も遅い。先が見えなさ過ぎて対応できないので、皆お金を使わない（東京都）。
	×	その他飲食〔給食・レストラン〕（役員）	・新型コロナウイルス感染に伴う緊急事態宣言により学校給食、社員食堂とも一層の徹底化がなされ、利益が3月より更に悪化している。この状況が2～3か月先で回復している見込みはない（東京都）。
	×	都市型ホテル（経営者）	・新型コロナウイルスの影響はまだまだ深刻になることが予想される。さらに、近隣の大型コンベンション施設では、中等症の患者のために1000床受け入れ、病院として使うということもある。その後の風評被害等を考えると、当ホテルはこのまま経営していくのは難しく、休業状態に至るのではないかと、このような状況が続くと、各ホテル共に経営が難しくなり、倒産するところも出てくるのではないかと危惧している。国の更なる対策をお願いしたい。
	×	都市型ホテル（支配人）	・先行きが見通せない。8月頃までこのような状況が続くと、事業継続が困難になる。
	×	都市型ホテル（スタッフ）	・新型コロナウイルスが収束しない限り、この状況は変わらない、あるいは一層悪くなっていく。ホテルとしても経営、存続の危機に陥っているのが現状である。
	×	都市型ホテル（スタッフ）	・新型コロナウイルスの感染がいつ頃収束するかにもよるが、全く先が見えないので、非常に不安である。このままではかなり厳しい状況になる。
	×	都市型ホテル（スタッフ）	・今のところ春の客は秋に移動している。宴席に関しても秋に移動しているが、移動した先の宴席も、新型コロナウイルスの収束時期によっては全てなくなってしまう可能性がある。そうしたことから先行きが全く見えない。
	×	都市型ホテル（スタッフ）	・新型コロナウイルスの収束が全く見えないなか、感染拡大防止の観点から、4月下旬よりホテル全館休業となり、更に厳しい状況である。再開したところで急速な業績の回復は見込めず、先行き不透明な状態が続く。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	都市型ホテル(スタッフ)	・5月に関しては現状の予約数が前年比で9割減っている。先々も新型コロナウイルスが収束するとは思えず、今後も予約数、単価が見込めない(東京都)。
	×	旅行代理店(経営者)	・新型コロナウイルスが収束しない限り、景気回復の見込みなどは全くない。
	×	旅行代理店(従業員)	・新型コロナウイルスの感染減少、収束やワクチン完成などの要素がない限り、旅行業界に未来はない。
	×	旅行代理店(従業員)	・新型コロナウイルス収束の見込みがない限り、悪くなる一方である(東京都)。
	×	旅行代理店(従業員)	・旅行業界の景気は新型コロナウイルスがいつ収束するかによるが、国内、海外共に改善の気配がない。また、収束しても当分は旅行を控える人が多いと予測している(東京都)。
	×	旅行代理店(営業担当)	・新型コロナウイルス感染収束の見通しがつかない状況では、景気は悪化するばかりで、回復は期待できない。
	×	旅行代理店(総務担当)	・当初は8~11月に延期を希望する客が多かったが、11月のツアーも取消しとなり、今年度中のツアー取消しを決定した客も多いので、悪くなる(東京都)。
	×	タクシー運転手	・新型コロナウイルスの影響で、タクシー業界是最悪である。例年に比べ4分の1~5分の1と、今までと比べ物にならないくらい落ち込み、この先が不安である。誰のせいでもないが、影響は大きい。
	×	タクシー運転手	・新型コロナウイルスの感染が収束するまでまだ時間が必要とみられるため、景気是最悪となる。自己破産する人が多くなる(東京都)。
	×	タクシー運転手	・緊急事態宣言が解除されるまでは、仕事に出てもタクシーを利用する客がほとんどいない。駅や待機所で利用者を待っても、仕事らしい仕事ができない。売上も今までの半分以上で、私たちの生活そのものが成り立たない。不安になる。
	×	タクシー運転手	・緊急事態宣言の発令後は、前年同月比で売上が80~90%減っている。東京駅のタクシー乗り場の待ち時間は、平均でおおむね2~3時間となっており、非常に厳しい状況である(東京都)。
	×	タクシー運転手	・6~8月の猛暑で新型コロナウイルスが激減してはくれないかとささやかな希望を持っているが、報道等では秋から冬にかけて再流行があるのではないかと専門家の意見がある。来年の東京オリンピックに関しても、開催できるかは五分五分だと言われており、全てが新型コロナウイルスの収束に掛かっている(東京都)。
	×	タクシー(団体役員)	・新型コロナウイルス感染の先行きが見えない状況では、景気回復は望めず、たとえ通常の経済活動が復活してもV字回復は困難と思われる。
	×	通信会社(経営者)	・新型コロナウイルスの影響がいつまで続くか見えない状況であり、世間の自粛ムードによる落ち込みが継続される可能性が高い。生活も不安定になることが予想され、提供サービスが生活インフラとしての最低限のサービスに縮退することが懸念される(東京都)。
	×	通信会社(経営者)	・新型コロナウイルスの収束時期が不透明なので、先行きは分からない(東京都)。
	×	通信会社(営業担当)	・先行きの見通しが立たない状況がしばらく続くものと思われる。
	×	通信会社(管理担当)	・新型コロナウイルスが収束するまでは、半年、1年以上は掛かるとみている。
	×	通信会社(局長)	・新型コロナウイルスの影響はしばらく続く(東京都)。
	×	通信会社(営業担当)	・新型コロナウイルスの影響により、悪化することはあっても、良くなることはあり得ない。
	×	通信会社(営業担当)	・新型コロナウイルスの影響で、全ての循環が悪くなり、これから確実に景気が悪くなる(東京都)。
	×	通信会社(総務担当)	・新型コロナウイルス感染予防対策の影響が大きく、経済活動全般が落ち込みから回復できない(東京都)。
	×	ゴルフ場(従業員)	・新型コロナウイルス感染防止のため、外出は自粛するべきだと思うが、どうすれば自粛が必要なくなるか。特効薬がない限り、収まらないように思っているので、時間が掛かる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	ゴルフ場（経理担当）	・緊急事態宣言が解除されても、新型コロナウイルス感染対策は継続する必要があり、ゴルフ場内レストランや喫茶店利用機会の減少による客単価下落は避けられない。東京オリンピックの延期に加え、国内外を問わずプロゴルフツアーが延期又は中止となっている。ゴルフ機運の低迷は必至であり、景気悪化と併せて、悪影響が強く懸念される。旺盛なゴルフプレー意欲を持つ来場者の多くは感染重症化リスクが高い高齢者層であり、ゴルフ場における感染リスクが強く意識されれば、更なる業績悪化は避けられず、業容を維持できない事業者が頻出する可能性がある。
	×	競輪場（職員）	・サービス業はなかなか簡単に上がることはない。
	×	その他レジャー施設 [ボウリング場]（支配人）	・今後、新型コロナウイルスの感染者が減少したとしても、以前のような3密を前提とした経済活動は、すぐにはできないとみている（東京都）。
	×	その他レジャー施設 [総合]（広報担当）	・大型イベントの開催見込みが立っていない。開催できたとしても、客の大型イベントに対する意識が変わってしまっているかもしれない、すぐに元どおりには戻らないかもしれない（東京都）。
	×	美容室（経営者）	・早く新型コロナウイルスが収束してもらいたい。
	×	その他サービス[学習塾]（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、校舎自体を閉鎖して自粛しているため、売上は激減し、辞める生徒数も増加している。少し希望は持てないような気がする。
	×	その他サービス[立体駐車場]（経営者）	・緊急事態宣言は期間が延長されそうだし、延長されなくとも、客が来ない。
	×	その他サービス[保険代理店]（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で多岐にわたって売上が激減する。どのように影響するか想像もできない。
	×	その他サービス[学習塾]（経営者）	・春の集客時期に営業自粛をしているので、確実に業績が悪化する。
	×	設計事務所（経営者）	・現在保有している仕事は今月で全てなくなってしまふ。営業展開ができないため、新しい物件や新規情報は皆無で、先が全く見えない。社員への支払、その他を考えると、今後どうしたらいいかと非常に考えてしまふ。
	×	設計事務所（経営者）	・民間は新型コロナウイルスが一段落するまで発注予定が立たないと考えている。官庁も新型コロナウイルス対策優先で、建築関連の発注は当分の間期待できない。
	×	設計事務所（所長）	・新型コロナウイルスの影響から、客からの発注が相当悪くなっている現状がある。キャッシュフローも非常に悪くなり、実収がほとんどゼロに落ち込む。
	×	住宅販売会社（経営者）	・早く新型コロナウイルスの感染が収まらないと景気は戻らない。特に、このような時こそ経済波及効果の大きい住宅が売れる対策を必要としている。
	×	住宅販売会社（従業員）	・新型コロナウイルスの影響がいつまで続くかにより変わると思うが、この状況が続くと不動産価格が下がり、今ある在庫を早期販売しないと値崩れが起こる可能性がある。現在は販売に力を注いでいる。今後、新しい商品を増やし、在庫の入替えを行っていく予定である。
×	住宅販売会社（従業員）	・受注が大幅に落ち込むこの状況がしばらく続く。	
×	その他住宅[住宅資材]（営業）	・新型コロナウイルスの収束まで全く見通せない状況が続く（東京都）。	
企業 動向 関連 (南関東)			
		食料品製造業（経営者）	・今が最悪期だと思うので、徐々に動き方が分かってきているような気がする（東京都）。
		電気機械器具製造業（経営者）	・ゴールデンウィークが明けたら新型コロナウイルス騒動も下火になるだろうと期待している。そうでないと会社が持たない（東京都）。
		建設業（従業員）	・新型コロナウイルスの影響で2～3か月先もどのような変化があるかまだ不透明である。
		輸送業（総務担当）	・荷主の国内出荷量が低迷していることに加え、輸出量が全くない。今後も現状が続くと予想している。
		不動産業（従業員）	・新型コロナウイルスの影響は長引くとみている（東京都）。
	その他サービス業[映像制作]（経営者）	・新型コロナウイルス収束の時期が見えず、政府の対策も長く続くとは思われないので、今の最低の状態がこれからも続く（東京都）。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他サービス業〔情報サービス〕(従業員)	・緊急事態宣言がいつ解除されるか不明である。
		食料品製造業(経営者)	・新型コロナウイルスの終息宣言が出されるまでは人の集まる会合がなく、特注の入る見込みもなく、売上を維持するのは難しそうである。
		出版・印刷・同関連産業(営業担当)	・新型コロナウイルスの影響がどこまで広がるかにもよるが、今月から飲食関係などのショップカードや法人の名刺といった手渡しするものが少なくなってきている。また、得意先の病院では、今まで患者が入院するときに来ていた注文が、ぱたりと途絶えている。自宅待機になったのか、そうした部分で需要がなくなる見通しである(東京都)。
		化学工業(従業員)	・中国からの先行きの受注は新型コロナウイルスの影響が少なくなってきているが、国内受注は大幅に減少している。
		プラスチック製品製造業(経営者)	・新型コロナウイルスの影響で、医療品容器の受注が落ち込むことはなさそうだが、化粧品容器に関しては新企画が先送りされたり、受注がカットされたりで、落ち込みは必至である。
		金属製品製造業(経営者)	・今後の景気は新型コロナウイルス次第である。収束を願うばかりである。
		通信業(広報担当)	・新型コロナウイルスの感染拡大が止まるまで、徐々に影響は大きくなる見込みである(東京都)。
		金融業(従業員)	・緊急事態宣言発令による外出自粛や休業要請に伴い、多くの事業者が苦境に立たされている。実際に、取引先から資金繰りの相談が急増しており、明るい見通しはない(東京都)。
		金融業(役員)	・外出自粛がいつまで続くのか不透明感がある。また、客のマインドの変化により、以前の売上を確保できるのか不安感がある。様々な業種で今後の販売形態の変更を迫られると危惧している。
		その他サービス業〔ソフト開発〕(従業員)	・現在、売上の減少は目立っていないが、これから影響があるかもしれない。
	×	出版・印刷・同関連産業(経営者)	・新型コロナウイルスの収束次第ではあるが、今後の見通しが立たない(東京都)。
	×	出版・印刷・同関連産業(所長)	・緊急事態宣言の解除次第ではあるが、集客を行う全ての活動が再開しないことには広告宣伝を行えないので、死活問題である。
	×	出版・印刷・同関連産業(営業担当)	・国内の新型コロナウイルスが収束しない限り、売上ダウンはこれからも続く。収束してもすぐには以前のような仕事量は見込めない(東京都)。
	×	化学工業(総務担当)	・新型コロナウイルスの収束次第である。V字回復を望むが、L字回復も危惧される。
	×	プラスチック製品製造業(経営者)	・今月は緊急事態宣言が出されているので悪いのは当たり前だが、2~3か月先は更に悪くなる。もしかすると、恐慌が起こるかもしれないとさえ考えている。
	×	金属製品製造業(経営者)	・新型コロナウイルスの収束までが長引くことにより、悪くなる。
	×	金属製品製造業(経営者)	・新型コロナウイルスが収束するまでは、今の状態が続くのではないかと心配している。国の指示に従い、皆が行動を1つにして、感染防止に努めなければならない。
	×	一般機械器具製造業(経営者)	・本来なら3か月内示が出るのだが、その内示がどこの客からも出てこない。想像を絶するほど悪くなるのではないか。
	×	精密機械器具製造業(経営者)	・5月から35%受注が減少する。6月以降は、車業界では6月危機の準備をせよという話が取引先からも出ており、不安である。
	×	その他製造業〔靴〕(経営者)	・新型コロナウイルスの影響で店が閉まっている。今後のことについては、新型コロナウイルスの収束次第である。
	×	その他製造業〔化粧品〕(営業担当)	・新型コロナウイルスの影響の行く末が見えない(東京都)。
	×	建設業(経営者)	・いろいろな対策、施策の問題が全然スピーディに実行されていないのが、日本の特徴である。このままでは中小零細企業は全て倒産するのではないか。早い対応を行政にお願いしたい。
	×	建設業(経営者)	・新型コロナウイルスの影響で悪くなる。
	×	建設業(経営者)	・大手企業が地元の小型物件にも手を出してきている。価格も経費分も取れない金額である。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	輸送業（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、納品先の休業が増加傾向にあるなか、一部商品の出荷が期日に間に合わず、取扱量の更なる減少が生じてきており、先行きの見えない不安感が増大している（東京都）。
	×	輸送業（経営者）	・試験などイベント関係の輸送の仕事が皆無になっている（東京都）。
	×	輸送業（経理担当）	・新型コロナウイルスの収束が見通せない。
	×	通信業（経営者）	・新型コロナウイルスの感染爆発が起こらないことを祈る。
	×	金融業（統括）	・新型コロナウイルスの影響がまだ続いており、売上についてもその他についても、悪い状況が当面続く。
	×	金融業（支店長）	・世界的な新型コロナウイルス大不況であり、自動車販売の大幅な落ち込みが予想される。自動車業界は裾野が広いいため、影響がばく大である。大手自動車メーカー、TIER1、TIER2など下請企業の業績悪化が予想される。
	×	金融業（総務担当）	・新型コロナウイルスの収束が遅れば、景気は更に悪化する（東京都）。
	×	金融業（営業担当）	・新型コロナウイルスによる影響が大きく、今後も依然として出口の見えない状況のため、ますます悪くなる。
	×	不動産業（経営者）	・動きがないので悪くなるのは必至である。このビルも賃料減額の要請が複数あり、管理会社が対応措置を考えているようである。いずれにせよ、新型コロナウイルスの収束を念じるのみである（東京都）。
	×	不動産業（総務担当）	・新型コロナウイルスの収束次第だが、飲食系テナントの家賃は30～50%の減額を考えている。期間は3か月程度と考えているが、延びることも視野に入れている。オフィステナントからも、少しずつ賃料減額要請が舞い込んできている（東京都）。
	×	広告代理店（従業員）	・新型コロナウイルスの影響で、8月くらいまでの予定していたイベントはほぼ中止である。
	×	広告代理店（営業担当）	・新型コロナウイルスの収束が全く見えないことから、将来も全く不安な状況である。
	×	広告代理店（営業担当）	・今の厳しい状況がしばらく続く（東京都）。
	×	税理士	・商店街の多くの飲食店は気付くと違う店に変わっている。新型コロナウイルスの影響で店が閉まっているのももちろん、新型コロナウイルスに関係なく元から経営が大変なようである（東京都）。
	×	社会保険労務士	・営業を自粛している店舗等が多いので、売上が立たず、資金繰りに困る会社が増える（東京都）。
	×	経営コンサルタント	・緊急事態宣言が解除されても、新型コロナウイルスの収束が見えない限り、活動に影響を及ぼすと思われるため、ますます悪化する。
	×	税理士	・新型コロナウイルスへの対応次第だが、とても早急に解決できるとは思えない。一部の食品、医療関係以外は、景気悪化から脱却するのに相当時間が掛かる。
	×	経営コンサルタント	・経済は当面ストップに近い状況が続くと想定される（東京都）。
	×	その他サービス業 [ディスプレイ]（経営者）	・新型コロナウイルスの影響が続く（東京都）。
	×	その他サービス業 [廃棄物処理]（経営者）	・原材料の枯渇及び生産製品の輸出規制等で、取引先工場の稼働率がますます落ち込む傾向がみられるため、当社の受注量も合わせて落ち込む。
	×	その他サービス業 [警備]（経営者）	・各取引先に確認しているが、先行き不透明である。
	×	その他サービス業 [ビルメンテナンス]（経営者）	・全ては新型コロナウイルスに左右される。収束するのか、長期戦になり売上減少と社員の雇用維持でどのくらい消耗するのは不確定だが、悪くなることは間違いない（東京都）。
	×	その他サービス業 [ソフト開発]（経営者）	・新人の配属や次の仕事が見えない（東京都）。
雇用 関連		-	-
(南関東)		人材派遣会社（営業担当）	・新型コロナウイルスに関連した緊急雇用対応で、雇用調整助成金申請対応を行う期間は、繁忙が継続する（東京都）。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		人材派遣会社（営業担当）	・既存就業者の雇用は、維持が90%程度の見込みである。新型コロナウイルスの収束状況によって募集は戻る（東京都）。
		民間職業紹介機関（経営者）	・新型コロナウイルスによる経済活動の低迷が、企業の生産、販売に影響し、しばらくは縮小が続く。現時点では多くの業種で活動が鈍る（東京都）。
		人材派遣会社（営業担当）	・全世界的な景況悪化が見込まれ、リーマンショックを超える景況悪化がほぼ確実視されている（東京都）。
		求人情報製作会社（営業）	・自粛が長引けば長引くほど、景況悪化につながる（東京都）。
		求人情報誌制作会社（営業）	・経済が回らないと求人も動いてこないで、その辺りがどう出るかによる。
		求人情報誌製作会社（所長）	・経済が動き出すまでには時間が掛かる。
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの動向によるが、自粛が長引けば経済活動に支障を来し、企業の採用活動がなくなる（東京都）。
	×	人材派遣会社（社員）	・現状の改善はまだ先になる見通しで、緊急事態宣言も延長されると思われ、取引先の業務縮小も継続されると予想している。宣言が解除されたとしても、5月中旬までは縮小延期の決定や、しばらく様子見という意見も多く、解除後も、一気に元に戻るとは言えない。一方、雇用確保は必要であるが、雇用調整助成金等の援助の有無、時期が不透明ななか、当面厳しい状況が続く（東京都）。
	×	人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスの影響が長引けば、現在何とか持ちこたえている企業も人員削減をせざるを得なくなる。
	×	人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスがまだ収束していないと思われる（東京都）。
	×	人材派遣会社（社員）	・緊急事態宣言の影響で休業補償対象となっている派遣社員が全体の70%近くに上ることから、6月末での派遣契約満了が大幅に発生することが予想される（東京都）。
	×	人材派遣会社（支店長）	・派遣は大半が3か月更新だが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う経済的損失を考慮して、6月末で派遣契約を打ち切る企業が増えると予測される（東京都）。
	×	人材派遣会社（営業担当）	・緊急事態宣言の解除がどうなるか不透明な上、解除後も自粛が続くことが予想される（東京都）。
	×	人材派遣会社（営業担当）	・この先も、今と同様に求人数の伸びは限られると想定される。
	×	求人情報誌制作会社（広報担当）	・通常の生活に戻らない限り、人との接触があるような商品の復活は難しいのではないかと。そして、新型コロナウイルスが収束し、感染のリスクがなくなるには、まだまだ時間が掛かる（東京都）。
	×	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの影響により悪くなる。
	×	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの影響により、当分の間は求人を控える事業所が多くなると予想される。
	×	民間職業紹介機関（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が収束しても、景況回復には相当時間が必要である。人材採用は先行投資の意味合いが強く、来年以降も厳しい状況が続く（東京都）。
	×	民間職業紹介機関（経営者）	・動きが全くストップしており、先が見えない（東京都）。
	×	学校〔大学〕（就職担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大により、景況が悪化する（東京都）。

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連 (甲信越)		その他サービス〔葬祭業〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、3密を避けるため、葬儀業界でも自粛ムードだが、当社は設立当初から、家族葬、1日葬、直葬といった少人数形式でやってきたので、特に影響は出ていない。むしろ、客からも有り難がられている感である。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・客の外出が控えられているため、家の中の生活が多くなり、季節柄、エアコン等への消費が少し出てくるのではないかと期待している。
		高級レストラン（経営者）	・緊急事態宣言により、感染拡大に歯止めが掛かれば、徐々に景況回復に向かうかもしれない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		観光型旅館（経営者）	・全く状況が見えないが、2～3か月後はさすがに営業再開はしていると思われる。週末限定など期間を絞り、徐々に営業再開しているのではないかと。ただし、当社が残っているかどうかは分からない。あと6か月程度は何とか生き残れると思っている。
		百貨店（店長）	・全ては新型コロナウイルス次第なので予測出来ない。終息はなくても、営業できるようになれば多少上向くが、逆のリスクもあり、全く予測できない。
		コンビニ（経営者）	・スタッフなどの新型コロナウイルス感染が出ない限り、変わらない。
		コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスの収束のめどが立っていない。若干、感染者が減って来ているようだが、余り良い状況にはないので、今月とは余り変わらないのではないかと。
		衣料品専門店（経営者）	・この状態が3か月くらいは続きそうなので、期待できない。
		乗用車販売店（経営者）	・2～3か月先のイベントも軒並み中止が発表されており、新型コロナウイルス感染の終息が見えないため、回復は見込めない。
		スナック（経営者）	・営業自粛中で売上がないから、これ以上落ちるわけがない。緊急対策融資が速かったので有り難い。早く新型コロナウイルスが終息することを祈るばかりである。
		観光名所（職員）	・未曾有の感染症で、創業以来最悪の事業悪化を経験している。夏のハイシーズンまでには収まってほしいが、だらだらと長期化を懸念している。
		百貨店（営業担当）	・先行きは分からないが、新型コロナウイルスの感染状況の推移次第で変わる。急激な回復はあり得ないので、今の悪い状態が続く。
		スーパー（経営者）	・新型コロナウイルスが収束しないと、店の経営も安定しない。4月決算だが、恐らく前年並みか、令和元年台風19号の影響で10月から不動産収入がなくなった分、売上は下がる。
		家電量販店（店長）	・新型コロナウイルスの影響で、節約志向が高まる。
		その他専門店〔酒〕（店長）	・当店と取引のある飲食店も休業している店が増えている。休業のなかで5月6日が近づいており、今後、どのように再開するかが難しいと聞く。店を開けているところもテイクアウトでつないでいて、いわゆる水物はほとんど動いていない。今後も、テイクアウトで続けていくと思うが、決して良い状況ではない。今は一般個人客に加え、外飲みができず我慢している方に支えてもらっている。家庭内での消費が増えることは素晴らしいことで、当店もチャンスにしていきたいと思っている。ただし、店内でのトラブルがないように私たちがケアしていかないといけない。今後も長期的には今のような状況が続く。
		通信会社（社員）	・緊急事態宣言の解除時期や当県の感染者数の推移によって左右されそうである。世間がこういう状況なので、他社への乗換えなども減ってはいるが、上がり目は期待できない。
	×	商店街（代表者）	・人々の考え方が変わり、今までのやり方が通用しなくなるのではないだろうか。
	×	商店街（代表者）	・いろいろなスポーツ大会、特に、中体連、高体連の大会が中止になっている。本店では大会の試合用のユニフォーム等がかなり動くが、今年は期待できないので、大変悪くなってくる。
	×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルス終息が見えない戦いで、観光客がメインのため、1～2年は引きずりそうである。
	×	一般小売店〔家電〕（経営者）	・新型コロナウイルスの治療薬等ができない状態で、景気回復はあり得ない。今のままでは失業者、閉店する店舗、倒産する企業は増える一方である。
	×	一般小売店〔薬〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が拡大して、非常に経済が動かなくなっている。本場に国難である。早期の収束を祈りたい。しかし、現状では長期戦になると思うので、ここ1年は皆で我慢し、来年何とか良い方向に持っていきけるように、やっていきたい。後は政府が施策をきっちり取ってもらえればと思う。
	×	スーパー（経営者）	・飲食業がほぼ全滅で、店舗内テナントの賃料減額要請も多数ある。自宅待機や解雇されたという話も出てきている。
	×	スーパー（経営者）	・新型コロナウイルス感染拡大の影響で、経済自体がストップしている状況からは、改善しない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	スーパー（副店長）	・現在、休職中の職種も多く、今後、給料の減少や、雇用の継続等への不安要素が多くある。消費についても、生活必需品の買物が中心となり、嗜好品などの買物が控えられ、消費はどんどん低迷していく。
	×	コンビニ（経営者）	・仕事がなくなる人が増えて購買意欲が減り、売上の非常に厳しくなっている。景気はますます悪化する方向に向かっている。
	×	コンビニ（経営者）	・当店はコンビニなので、それほど落ち込んではいないが、周りを見ると、これから景気は悪くなる。
	×	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスがいつ収束するか分からないので、今後の売上が全く望めない。
	×	自動車備品販売店（従業員）	・現状では、2～3か月先も自粛ムードが続いており、来客数が見込めない。また、休業や時短勤務による収入減少により、客単価も下がってきている。
	×	その他専門店〔貴金属〕（営業）	・今ぎりぎり持ちこたえている多くの企業が、持ちこたえられなくなる。
	×	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの終息の兆しが見えない限り、その先は全く見えない。
	×	一般レストラン（経営者）	・緊急事態宣言による5月6日までの自粛要請の影響で、客足がたがた減っている。テイクアウトやデリバリー対策を始めるが、到底追い付かない。休業協力金の対象外で、更に厳しい。
	×	スナック（経営者）	・今、世界中がこの状況なので、先が見えない。本当にどこもかしこも困っている。いずれにしても見えないモノと戦うというのはとても大変である。
	×	スナック（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、今月10日を最後に、店を自粛休業している。一応、ゴールデンウィーク明けの5月6日までとしたが、到底それで収まるとも思えないので、6月いっぱい休業しなければいけないのではないかとみている。売上のない状態が続いており、先が全く読めない。
	×	都市型ホテル（支配人）	・宿泊の予約が入らない。新型コロナウイルスの終息が見えず、緊急事態宣言が解消されない限り、宿泊業に先は見えない。緊急特別融資も申し込んだが、従業員には更なる休業をお願いせざるを得ない。
	×	都市型ホテル（スタッフ）	・緊急事態宣言による自粛要請の延長が、ほぼ決まっているようだが、今月と同じか、更なる悪化が予測される。売上が増えるような形を取り入れても、消費マインドが非常に落ち込んでいるので、従来の売上確保が難しいが、確保できないと人件費が重くのしかかる。仮に今、終息し、回復したとしても、悪い状況下での回復なので、数か月は悪いままである。
	×	都市型ホテル（スタッフ）	・最も稼ぎ時のゴールデンウィーク期間が緊急事態宣言中となり、当社も全レストランを休業することになったため、5月の売上も前年比85%減となる予想をしている。
	×	旅行代理店（副支店長）	・近日に新型コロナウイルスが収束となっても、以前までの景気に戻るには、時間が必要だと思われる。現時点では、夏までの旅行は検討が中止の方向であり、10月以降の問合せは少し出てきているものの、収束の状況次第で、予測が付かない。回復についても、依然として予測不能である。
	×	タクシー運転手	・新型コロナウイルスが落ち着くまでは、悪い方へと進んでいく。
	×	通信会社（経営者）	・先が見えない現状で、経済的不安がますます増大していき、更に厳しさが増すとみている。
	×	ゴルフ場（経営者）	・新型コロナウイルスの影響は甚大であり、短期間で修復できるものではない。
	×	その他レジャー施設〔ボウリング場〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大が終息し、緊急事態宣言が解除されたとしても、今までの状態にすぐ戻るのか不透明である。政府より出される支援策等の充実に期待する。
	×	設計事務所（経営者）	・新型コロナウイルスの影響は大きく、景気回復してもすぐには建物への設備投資はないと思われるため、しばらくは仕事量が少なくなりそうである。
	×	住宅販売会社（経営者）	・新型コロナウイルス感染症の拡大が長期的に続く見込みのため、悪くなる。
企業動向関連		-	-
		-	-
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・現状では、どうしようもない。資金繰りに追われている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
(甲信越)		食料品製造業（総務担当）	・緊急事態宣言の解除時期により変わってくると思うが、1～2か月後で解除となれば、今の特需はなくなり、夏枯れの時期との相乗効果で、売上も低下すると思われる。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響により、先行き予測が難しくなっている。
	×	食料品製造業（製造担当）	・買物に出かける回数が減り、必要な物しか買わない行動が顕著で、売上、商品点数共に、このまま落ち続けるとみている。
	×	食料品製造業（営業統括）	・新型コロナウイルスが一向に衰える様子がない。緊急事態宣言も更に延長される見通しで、今のところ手の打ちようがなく、ますます深刻な状況になる。
	×	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・毎月の資金繰りが大変である。
	×	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・イベント等の中止で、印刷物がほぼゼロである。取引先の伝票、封筒類の印刷も出て来ない状況が今後も続く。
	×	一般機械器具製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの影響がどこまで続くか想定できない。また、終息後の回復についても速度感が不明である。
	×	電気機械器具製造業（経営者）	・全く見通しが見つからないため、悪くなる。
	×	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	・宝飾品は緊急事態宣言が一応の成果を上げて店舗が開き、経済が動き始めたとしても、消費者の購買意欲が戻るまでには更に数か月は掛かる。国内の展示会や催事、海外の展示会が開催されるのは8月以降の予定で、実際に商材が動くようになるのは、こうした大型展示会が開催されるようになってからである。それまで、取引先の動向を注意深く見ながら、企業がどこまで持ちこたえられるかが鍵である。
	×	建設業（経営者）	・新型コロナウイルスの収束が見えないので、今後の景気は分からない。
	×	金融業（調査担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大の悪影響が、今後も継続する見通しである。政府の数多い支援策の情報が、企業に十分届いておらず、情報提供など体制整備を早急に行うべきである。
	×	金融業（経営企画担当）	・ゴールデンウィーク期間中も観光業に関しては、どうしようもない状況が続くと考えられ、緊急事態宣言も5月6日に解除されるのか分からない。今後も厳しい状況が続くのではないかと。
	×	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・新型コロナウイルスの終息が見えないなか、広告出稿の自粛や取引先の新型コロナウイルス関連での倒産により、当社の債権回収も厳しくなる。
雇用関連		-	-
		-	-
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの感染状況が収束しない。
(甲信越)		*	*
×		人材派遣会社（営業担当）	・生活習慣の変化があり、いろいろなどころに波及する。
×		求人情報誌製作会社（経営者）	・今後も新型コロナウイルスによる緊急事態宣言や外出自粛が長引けば、社員、非正規社員の解雇にもつながっていく。
×		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの影響が終息する見通しが立たない状況で、長期化した経済活動の自粛により、企業が受けたダメージは、すぐには回復できると思えない。
×		職業安定所（職員）	・良くなる要素がない。

6. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連 (東海)		商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの影響もそろそろ収まるのではないかと考える。
		乗用車販売店（従業員）	・商品の動きも悪くなく問合せもあるため、外出自粛の影響なのか購入意欲が高まっていると考える。2～3か月後は景気は伸びる感触がある。
		一般小売店〔書店〕（営業担当）	・新型コロナウイルスが終息し営業活動が再開されれば、通常の受注量が戻ると期待する。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		百貨店（企画担当）	・新型コロナウイルスの対応で、食品以外のフロアは、乗客数の激減及び販売員の安全確保のため休業せざるを得ない状況が続く。5月7日以降に緊急事態宣言が解除されれば、食品フロア以外も営業することは可能であるが、取引先の販売員の安全確保の考え方により休業を継続する取引先があることも想定される。また、解除後すぐに消費者が生活必需品以外の購入に動くとは考えられない。
		百貨店（業績管理担当）	・新型コロナウイルスの影響が徐々に緩和し、臨時休業も解除される見込みである。
		スーパー（販売担当）	・店舗改装からの開店前のため、何ともいえない。
		スーパー（総務）	・新型コロナウイルスの影響が収束に向かうと見込まれるので、客足も戻ってくるのではないかと期待している。
		コンビニ（エリア担当）	・先行きは分からないが、これが続くとは考えたくない。
		通信会社（営業担当）	・今後、インターネット設備を機能アップするための受注増を期待する。
		商店街（代表者）	・今が底である。
		一般小売店〔結納品〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響はしばらく収まらないと考えるため、景気はこのまま悪い状態が続く。
		一般小売店〔果物〕（店員）	・3か月ほどでは変わらない。
		百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルスの終息はまだみえず、見通しが立たない。店が再開すれば来客はあるだろうが、必要品以外の物を購入するほどの購買力があるのか不安である。
		百貨店（計画担当）	・しばらくは今の状態が続くと見込む。緊急事態宣言が解除されても、すぐに客足が戻るとは考えにくい。
		スーパー（店長）	・今後、新型コロナウイルスが終息に向かうとしても、消費者のライフスタイルがまとめ買いに変わり、客単価は高い位置を維持するのではないかと考える。
		スーパー（販売担当）	・不要不急の外出自粛による内食の増加、充実は、新型コロナウイルスの影響が収束しても、2～3か月先くらいの短期間では変わらない。
		コンビニ（企画担当）	・新型コロナウイルスの終息する時期は全く予想がつかない。少なくとも5月末までは現状のままであり、更に継続する可能性がある。
		コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスの終息も余り期待できず、この影響による各種イベント、催事の中止や外出を控える動き等が続くことが見込まれ、現状を打破できるとは考えられない。
		コンビニ（商品企画担当）	・5月に予定されている緊急事態宣言の自粛明け以降も、外出控えにより消費は戻ってくる様子はない。あるいは、緊急事態宣言が延長されることにより、引き続きこの状況が続くことを懸念する。
		家電量販店（店員）	・必要な物ならば金額にかかわらず購入するという印象を受ける。結局のところ売上は変わらない。
		乗用車販売店（営業担当）	・政府による10万円の給付はあるが、新型コロナウイルスが終息しない限り、この先も変わらない。
		乗用車販売店（経営者）	・新型コロナウイルスの終息がみえないため、まだ状況は変わらない。
		その他専門店〔書籍〕（店員）	・このまま新型コロナウイルスが終息しなければ、客は外出できず巣籠り需要もあり、しばらくは来客数、単価共に動きは良いと考える。
		高級レストラン（経営企画）	・緊急事態宣言がいつまで続くか、新型コロナウイルスの終息がみえないと客は動かない。一方でテイクアウト需要は大きく、各店、各社が取組の実施により活路を見いだしている。
		一般レストラン（スタッフ）	・新型コロナウイルスが終息しない限り先がみえない。
		観光型ホテル（支配人）	・地域の学校も5月末まで休校、公共施設の休業、各催事も中止等、このまま自粛要請が出ている限り今の状態が続くものと懸念される。景気がどうのこうのという言葉さえ使えないのが本音である。
		旅行代理店（経営者）	・2～3か月では今の状態はまだ変わらない。新型コロナウイルスのワクチンが開発されたり抗体率が増えて、日常生活が戻らない限り国内旅行の見通しも良くない。テナント料や経費が負担になってくる。大手旅行会社は雇用調整助成金があるが、個人旅行代理店は補償が少ないため、長期戦を戦う支援を考えてほしい。せめてテナント料を補償してほしい。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		タクシー運転手	・最近の状況を見ると、新型コロナウイルスの外出自粛もあるが人出がなく、2～3か月で変わるような見通しもない。
		通信会社（企画担当）	・地域の景気という意味では間違いなく悪くなるが、放送・インターネット事業という意味では、在宅時間の増加から利用者が増える傾向にあり、特にインターネットの低価格メニューが増えている。
		通信会社（営業担当）	・3か月後は全く想像がつかなくなっているが、新型コロナウイルスが終息したところで、すぐに客が戻ってくるとは考えられない。
		美容室（経営者）	・新型コロナウイルスが終息しない限りどの業種も良くないが、高齢者の客が多い店は一層暇である。
		美容室（経営者）	・問題は新型コロナウイルスである。
		その他サービス〔介護サービス〕（職員）	・緊急事態宣言の緩和がいつになるかによる。
		商店街（代表者）	・ホテルの仕事は現在ほとんど止まっており、この先何か月かは、資金が流出し設備投資は期待できない。飲食店もポディブローのようにどんどん悪くなっていく。
		一般小売店〔生活用品〕（販売担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大が収まるまでは自粛ムードが続き、購入客が増えそうにない。
		百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルスの終息がみえない。また、終息後もすぐに回復に向かう状況にはない。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの影響がいつまで続くのか不安な中で、収入や貯蓄の減少により必要な物以外の購買には慎重になると考える。
		スーパー（店員）	・緊急事態宣言がゴールデンウィーク明けも延長になるのか、それとも経済を回すのかによって、食料品の買い出しの量が大きく変わる。ただし、この状況下では、少しぐらいのぜいたくという志向はないと考える。
		スーパー（商品開発担当）	・新型コロナウイルスの影響で全く先行きのみえない状態である。新型コロナウイルスの状況次第であるが、今の状況から判断すると、終息には時間が掛かり景気はやや悪くなるのではないかと懸念する。
		スーパー（営業企画）	・新型コロナウイルスが沈静化あるいは終息した段階では、経済活動の停滞による所得減で、景気はかなり厳しくなる。
		スーパー（ブロック長）	・新型コロナウイルスの緊急事態宣言の解除がいつになるのかは誰にも分からないが、解除されると、消費が百貨店や外食に向かい影響が出る。
		コンビニ（店員）	・新型コロナウイルスの影響で、トイレ、ゴミ箱、灰皿が使えなくなると来客数が減る。もし感染者が出れば休業につながるため、収束するまでいろいろな不安がある。
		コンビニ（商品開発担当）	・新型コロナウイルスによる影響がいつまで続くのか全く読めない。長くなればなるほど主要客層の業務停止による打撃が大きくなるのは明白である。非常に厳しい。
		家電量販店（店員）	・新型コロナウイルスがあと2～3か月で終息しても、経済への影響は大きく、立ち直るまでは数か月単位の時間を要するため、今後すぐに景気は良くならない。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（経理担当）	・売上高は前年比14.1%マイナス、来客数は前年比19.6%のマイナスである。
		都市型ホテル（総支配人）	・新型コロナウイルスの科学的解明、抗ウイルス薬の開発と販売及びワクチンの開発普及が経済活動の正常化には不可欠である。ニューヨークでは、営業中のホテルの客室清掃は、客の滞在後数日空けて、更にN95マスクを着用すると聞く。更なるコストアップが見込まれ、経営はより困難となると考える。
		タクシー運転手	・タクシー業界は先がみえない。新型コロナウイルスの影響がいつ終息するかで変わるが、ゴールデンウィークも帰省や旅行等も全くない状況で、先がみえず不安でならない。
		観光名所（案内係）	・外出自粛の効果が出て、早くワクチンができることを期待する。
		その他レジャー施設〔鉄道会社〕（職員）	・通勤通学者の利用を以前のとおりに戻せるかがポイントである。列車内では密集状態になるため、敬遠されるのではという不安がある。
		住宅販売会社（従業員）	・新型コロナウイルスの影響が長引くことを懸念する。
		その他住宅〔住宅管理〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で巣籠り生活の中、便利屋のような依頼が増えたが仕事は安定せず、今後が不安である。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他住宅〔室内装飾業〕（従業員）	・内装材の物流は問題なく動いているが、他の建材が供給されず工事が止まる可能性がある。また、マンションのオーナーから改装工事を受注していたが、新型コロナウイルスの影響で家賃支払猶予の要請があるのに着工するわけにいかないと言った。
		その他住宅〔不動産賃貸及び売買〕（営業）	・この調子が続くと、借り控えの範囲が広がり景気が悪くなる。
	×	商店街（代表者）	・客の購入意欲が戻らない限り、良くなることはない。
	×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスで病死する前に、新型コロナウイルス禍で間接的に死を迎える。
	×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの終息がみえず、通常の経済活動はしばらく不可能である。未曾有の大不況になると考える。
	×	一般小売店〔高級精肉〕（常勤監査役）	・先行きの見通しが見つからない。
	×	一般小売店〔生花〕（経営者）	・節約する生活に慣れ、消費が落ち込むことは間違いない。先行きが恐ろしい。
	×	一般小売店〔土産〕（経営者）	・改善の兆しは不透明である。
	×	一般小売店〔酒類〕（経営者）	・自粛、休業した飲食店の廃業相談を多く聞いている。家賃の支払が発生する5月末には多くの廃業が進むと考える。客の飲食店利用の回復は、すぐには期待できない。多くの飲食店は従業員の雇用維持も難しくなる。
	×	一般小売店〔土産〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響が僅か2～3か月で収束するはずがなく、耐えきれない企業の倒産と失業者の増加により、景気が急激に悪化するのには必至である。
	×	一般小売店〔贈答品〕（経営者）	・2～3か月先も今の状況が続く。客が外出自粛、テレワーク等をしていると、購入には足を運ばない。会社としても、2～3か月先まで今の状況が続いてもよい体制をとらなければならず、このまま景気は悪くなる。
	×	一般小売店〔和菓子〕（企画担当）	・新型コロナウイルスの拡大により、終息の目安が分からず先が分からない。
	×	百貨店（売場主任）	・現在は休業中であるが、新型コロナウイルスが終息しても急に客が戻ってくるとは見込めないため、給料がもらえるのかも不安である。給料がもらえないのであれば、買いたい物も買えないため、売上は厳しい状況が続く。
	×	百貨店（総務担当）	・緊急事態宣言が延長される可能性が高く、消費がV字回復を描くことは想定できない。また、日々の生活で困難に直面する人々も多くなることが想定され、消費に金が回るとは考えにくい状況である。
	×	百貨店（経理担当）	・需要が回復するためには、国内外での新型コロナウイルスの終息が前提となるが、終息までには3か月以上の時間を要すると考える。
	×	百貨店（販売促進担当）	・新型コロナウイルスの影響が更に拡大している可能性もあり、見通しが立てられない状況である。
	×	百貨店（販売担当）	・休業明けも売上がすぐに回復するとは見込めない。
	×	百貨店（販売担当）	・新型コロナウイルスが落ち着かなければ何ともならない。しばらく厳しい状況が続く。
	×	スーパー（経営者）	・新型コロナウイルスの状況次第で、見通しが立たない。
	×	スーパー（経営者）	・新型コロナウイルスが終息しそうにない。
	×	スーパー（販売担当）	・新型コロナウイルスの影響が長引く懸念から、店舗の営業休止が解除されない可能性が極めて高い。また、製造現場での新型コロナウイルス発生により、製造停止による品不足が懸念される。
	×	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスの影響で、販売先が休業要請を受けて長期休業していることと外出自粛で来店がほとんどないことで、とても先が見通せない。
	×	コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスの終息がみえない状況から、売上の改善は困難である。
	×	コンビニ（店長）	・外出自粛要請がいつ解除されるか、また、解除されても売上がいつ戻ってくるのか全く不透明である。
	×	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスの感染が収まったとしても、すぐに前年並みには戻らない。この状態が今年一杯は続くと思われている。
	×	コンビニ（本部管理担当）	・ゴールデンウィーク明けの緊急事態宣言解除はないと見込んでおり、最悪の状況が継続することを懸念している。
	×	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大が収まることを願うばかりである。少なくともアプローチはしやすくなる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	衣料品専門店（売場担当）	・新型コロナウイルスによる経済不安は、想像以上のものである。感染の第2波も世界では報道されるなか、悪化しか想像できない。
	×	家電量販店（フランチャイズ経営者）	・新型コロナウイルスの影響による逆トリクルダウンが顕在化するの、まだ先である。
	×	乗用車販売店（経営者）	・客離れから、今までにない最悪の状態が長期化すると懸念される。
	×	乗用車販売店（経営者）	・新型コロナウイルスの終息がみえず、先が見通せない状況下において、たとえ新型車が出たとしても購入促進にはつながらない。整備部門があるお陰で営業できているのが実態である。
	×	乗用車販売店（経営者）	・新型コロナウイルスの影響はこれから表面化してくる。長引くほどにダメージは大きくなる。
	×	乗用車販売店（従業員）	・緊急事態宣言も1か月くらいなら持つかと見込んでいたが、これ以上自粛傾向が続くと非常に厳しい。生産工場も生産調整のために休止しており、車が入って来ず売れる車もない状態になってきている。販売活動が滞ると資金繰りに不安が出てくるため、先行きが非常に不安である。法人客も車の購入を控え始めているのを聞くと、不況と言わざるを得ない。
	×	乗用車販売店（従業員）	・5月から販売体制が変更となるが、客に積極的に営業活動を展開できる状況にはない。また、客からも先行きが見えない状況で新車購入の気分にはなれないと、商談そのものを断られている。
	×	乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルスの状況次第である。
	×	乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルスの影響で市場は大幅に落ち込んでおり、売上が見込める要素がない。買い控えする客も多く、今後回復する兆しもない。
	×	乗用車販売店（営業担当）	・会社からの一時金回答額が前年より減った。雇用を守るためには仕方のないことだが、客の収入も減り、新車購入を見送ることを懸念する。
	×	乗用車販売店（販売担当）	・新型コロナウイルスの影響で新規の来客数が減少しており、工場もストップしているため先行きが暗い状況である。
	×	乗用車販売店（営業担当）	・ゴールデンウィークを前にしても、外出自粛が見込まれるため経済が回り始める兆しがない。車の生産工場は3月以来再開したが、輸入品のため港が封鎖されている限り入荷のめどが立たない。
	×	住関連販売店（経営者）	・設備投資の予算がキャンセルされ、財務状態が悪くなっている。
	×	住関連専門店（営業担当）	・新築住宅、新築マンションについては工事の延期で受注状況が延びている。今まで順調であったリフォーム工事や商業施設の改装工事も、中止及び延期が多くなっている。公共工事もストップしており、受注全体がストップしている。
	×	その他専門店〔貴金属〕（経営者）	・新型コロナウイルス対策のめどが立つまでは、悪化の一途をたどると見込まれる。緊急事態宣言が解除されても、一旦落ち込んだ景気の回復は非常に僅かな上昇カーブを描くにすぎず、少なくとも2020年度内は最悪と見込まれる。
	×	その他専門店〔雑貨〕（店員）	・新型コロナウイルスの終息にはまだまだ時間が掛かる様子である。また、終息宣言が出されても、経済の回復には時間が掛かる。
	×	一般レストラン（経営者）	・全く先が見えない。
	×	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスに対する政府の政策、財務省の感覚が非常に衰えている。国民のための経済政策が念頭にない。税金を徴収する場合の使い方、国民のためにどのように使うのかを考慮した経済政策を期待する。
	×	一般レストラン（従業員）	・新型コロナウイルスが終息しなければ経済は動かず、飲食店は生き残れない。
	×	一般レストラン（従業員）	・自粛要請が延長になりそうで、期待は持てない。
	×	その他飲食〔仕出し〕（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン、治療薬の普及次第であり、世界的普及が必須である。最低半年を見越して考えていかなければならない。社会が大きく変わる過程である。
	×	その他飲食〔ワイン輸入〕（経営企画担当）	・これまで賃金の伸びや低い失業率が景気を下支えしていたが、それらが一気に失われてしまった。客との会話でも、投資や積極的なプロモーションは控えたいという話題が多い。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	観光型ホテル（経営者）	・新型コロナウイルスの対策が今後どのように緩和されるか、5月上旬の状況によって変わってくる。このまま継続となると、5月は売上がない状態となる。新型コロナウイルスの感染状況と政府の判断によることが大きく、自社努力ではどうにもならない状況である。
	×	都市型ホテル（従業員）	・予約数から景気は悪くなると判断する。
	×	都市型ホテル（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン開発が望まれる。
	×	都市型ホテル（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響がどこまで続くかが不明のため、先々の予約まで入ってこない。
	×	旅行代理店（経営者）	・新型コロナウイルスの終息の見込みが立たない。
	×	旅行代理店（経営者）	・新型コロナウイルスの終息時期が見当もつかないため、取りあえず企業として存続できるように努力するのみである。終息しても、半年は旅行の仕事は戻ってこないと考える。
	×	旅行代理店（経営者）	・既に同じビル内の店舗で、増床を取りやめたり家賃の支払延期と滞納が始まっている。日銭商売の店舗においては自粛の影響もあるが、新型コロナウイルスが終息しない限りは中小零細も含め連鎖倒産が進んでいく。当社も一部営業店舗を閉め、撤退を余儀なくされており、経営継続のために奔走中である。
	×	旅行代理店（営業担当）	・ゴールデンウィーク中の外出自粛、5月7日以降も緊急事態宣言が延長されたら店の臨時休業を決めている。外商営業も、客からの訪問自粛もありアポイントのない先への訪問はできず、旅行の話すらできない状況である。収束の出口がみえるまでは、この状態が続く。
	×	旅行代理店（営業担当）	・客のほとんどが秋のシーズンに向けた旅行の計画も立てられない状況で、新たな受注は少ない。少ない受注も、新型コロナウイルスの終息という条件付きである。既に受注している案件を見守るのが精一杯である。
	×	タクシー運転手	・新型コロナウイルスが終息するまでは、景気が良くなる要素がない。
	×	テーマパーク（職員）	・新型コロナウイルスの影響は長引くのではないかと懸念する。
	×	テーマパーク（職員）	・新型コロナウイルスが終息するまで先がみえない。
	×	テーマパーク（総支配人）	・新型コロナウイルスの影響により、再度、臨時休業を実施中である。今後の状況から折をみて営業を再開する予定だが、即座に状況が好転するとは考えにくい。
	×	テーマパーク職員（総務担当）	・新型コロナウイルス対策のため、休園措置が延長となる可能性が高い。
	×	ゴルフ場（支配人）	・6～7月の予約数は前年同月比で激減している。現時点で新型コロナウイルス終息のめどが立たない以上、2～3か月先の見通しは暗い。
	×	パチンコ店（経営者）	・新型コロナウイルス対策の要請により全店休業状態である。
	×	その他レジャー〔スポーツレジャー紙〕（広告担当）	・新型コロナウイルスの影響は、当面収まらない。
	×	理美容室（経営者）	・外出自粛で人が集まらないようにしているため、金を使わない。
	×	美顔美容室（経営者）	・まだ新型コロナウイルスが収まらず、休業要請が延びるのではないかと懸念する。
	×	設計事務所（経営者）	・打合せもできない状態で、案件も延期又は中止である。
	×	設計事務所（職員）	・新型コロナウイルスの影響で景気は全く読めない状況である。新型コロナウイルスが終息するのは今年一杯掛かると見込まれるため、今年はずっと景気が悪い。
	×	住宅販売会社（経営者）	・新型コロナウイルスが終息したとしても、下がった景気はなかなか戻らない。今後、倒産が続出するのではないかと懸念する。
	×	住宅販売会社（従業員）	・新型コロナウイルスの出口がまだみえず、政府の対応も不十分である。今言われていることも本当に実行されるのか、不安しかない。来場者数の回復も5月は見込めない。新規でない既存客の底上げ充電の時期となる。
	×	住宅販売会社（従業員）	・新型コロナウイルスが終息したとしても、消費者のマインドが上がらないことや中小の事業者の倒産による不安により、建築業界が疲弊することを懸念する。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由	
企業 動向 関連 (東海)		通信業（総務担当）	・この自粛で、中小企業の倒産はできる限り救済して何とか生き残れば、終息後は皆一斉に活動できる。これによって景気は絶対に良くなる。	
		その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	・新型コロナウイルスも少しは落ち着き、ある程度は回復が見込まれる。新製品の完成を進めるよう努力しているが、商品化には少し時間が掛かる。社会のエネルギーの根幹である原油相場の落ち着きがポイントと考える。	
		一般機械器具製造業（経営管理担当）	・受注量、販売量の見込みが変わらない。	
		電気機械器具製造業（経営者）	・新型コロナウイルスが2～3か月先も終息せず、終息したとしてもその後の設備投資には時間が掛かるため、状態としては悪いまま変わらない。	
		輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	・全く見通しが立たない。新型コロナウイルスの状況次第であり、完成車メーカーがどれだけ稼働するかである。	
		輸送業（エリア担当）	・状況の好転が見通せない。	
		不動産業（経営者）	・5月は例年同様に晴天の日が多くなるとの予報であるが、今後も新型コロナウイルスの影響が続き電車利用が減少する間は、今月同様に厳しい景気状況が継続し、売上は大きく悪影響を受ける。	
		化学工業（営業担当）	・一般化学薬品については在庫調整が入り、容器の出荷量は減少する見込みである。引き続き消毒液関係の特需は増える見込みだが、トータルではマイナスを見込む。	
		化学工業（総務秘書）	・新型コロナウイルスの終息後に反動の好景気があると見込むが、この2か月のダメージがなかったことにはできない。	
		窯業・土石製品製造業（社員）	・車関係の生産量の大きな落ち込みが素材産業に波及し始めており、今後更に受注量が少なくなる。	
		一般機械器具製造業（営業担当）	・引き合い、受注はゼロに等しい状況だが、今後さらに、既に受注しているプロジェクトがキャンセルになったり、延期する可能性が高い。	
		電気機械器具製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で生産の調整、あるいは今後の落ち込みが考えられる。自動車関係についても、受注量の変更、納期後ろ倒し等のいろいろ話が出ている。	
		輸送用機械器具製造業（品質管理担当）	・新型コロナウイルスの影響がいつまで続くかが分からない。	
		輸送業（エリア担当）	・個人の通販利用は増えているが、自宅待機が解除になればそれは収まってしまふ。生活必需品以外は減少するため、全体の需要はマイナスになる。	
		行政書士	・荷主自身の販売力の低下が貨物の減少につながる。	
		×	食料品製造業（営業担当）	・取引先も営業しておらず、商品の流通が止まっている。新型コロナウイルスが落ち着いても平常営業に戻せるか困惑している。
		×	パルプ・紙・紙加工品製造業（顧問）	・現状も景気は悪いが、新型コロナウイルスの影響がいつまで続くか不透明であり、景気の悪い状況が更に続くことが懸念される。
		×	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響で景気がどんどん悪くなる。いつ終息するかも分からず、今の状態が続くと個人消費も下がり金が回らない状態となる。雇用も悪くなり、リストラされても再就職先が見付からない状態となる。
		×	鉄鋼業（経営者）	・輸出入の停滞による製造業全体での売上悪化が今後深刻化するため、3か月後、半年後の方が今よりも悪くなる。
		×	金属製品製造業（経営者）	・客先が休業したり、先行き不透明で販売量が落ち込むことが想定される。
	×	金属製品製造業（従業員）	・建設工事が中断となる場所が増えてきており、その影響が出るのは何か月か先になるだろうが、影響の出方がどうなるのか全くみえない。	
	×	電気機械器具製造業（営業担当）	・当分は減少傾向になると考える。	
	×	電気機械器具製造業（企画担当）	・サービス業や飲食店のような壊滅的な状況にはない。生産が継続できれば致命的な打撃は避けられると見込むが、この状態が長期化すれば、ダメージも大きくなると懸念する。	
	×	電気機械器具製造業（総務担当）	・通信機器の更改、高度化の工事を一時停止するという機運が徐々に高まってきている。新型コロナウイルスの終息が見込めないと、業績の予想が難しい。	
	×	輸送用機械器具製造業（管理担当）	・新型コロナウイルスの影響で自宅待機が続けば、更に悪くなる。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	建設業（役員）	・新型コロナウイルスの影響による大手自動車メーカー系企業の休業・縮小もあり、客のマインドが落ちている。5月以降の見込み客もない。夏のボーナスへの影響があれば、更に動きがなくなり厳しい状況になる。
	×	建設業（経営者）	・政治家の政策は行き当たりばったりで方向性がみえないため、景気は良くなるらない。
	×	輸送業（経営者）	・今は消費者のろうばいによる購入増のために物量が維持されているが、企業の投資案件に伴う物量は確実に減少しており、運ぶ物がなくなってくると懸念される。
	×	輸送業（従業員）	・新型コロナウイルスの影響で、客からの依頼は延期や中止といった案件が多い。新型コロナウイルスが終息しない限り、この流れは変わらないと考える。
	×	輸送業（エリア担当）	・新型コロナウイルスという、不確かかつ先行きのみえない外的要因が発生したことによる景気の見通せなさ、大きい問題である。この外的要因がなくても、景気の後退感の前年の秋頃から発生していた。新型コロナウイルスにより、更に拍車がかかり景気が急激に落ち込む。
	×	通信業（法人営業担当）	・会社も個人も、心が沈んでいる。社会として新しいステージに新たな挑戦をする気力がない。政治不安もある。補助金や給付金頼みでは何も始まらない。
	×	通信業（法人営業担当）	・早い段階での強力な経済の底上げがない限り、どこまで落ち込んでいくのが先がみえない。インフラを含む強烈的な雇用創出をしない限り、上昇機運がみえない。知恵あるリーダーが知恵と力を出す時である。庶民は死力を尽くして生き残っていかねばならない。個人も企業も人であるから、人に頼るのではなく人の知恵に期待するしかない。
	×	金融業（従業員）	・今の状況は多業種にわたり、大変な状況となっている。これから先は新型コロナウイルスが終息するかしないかで大きく変わるが、数か月先では回復する見込みがない。
	×	金融業（企画担当）	・新型コロナウイルスの影響の収束が見通せないで景気は良くなるらない。当面は厳しい状況が続くと見込まれる。
	×	不動産業（経営者）	・先行きが見えないなかで積極的な不動産購入は控えられ、買い控えが進む。
	×	広告代理店（制作担当）	・新型コロナウイルスの終息はこの先もみえないため、県内の客も停滞し、打つ手のない状況で予測がつかない。
	×	新聞販売店〔広告〕（店主）	・緊急事態宣言が出てから、ますます折込チラシが減少している。
	×	公認会計士	・新型コロナウイルスの影響は出口がみえない。政府の政策は経済への即効性が薄く、県や市の新型コロナウイルス対策も効果的なものが少ない。
	×	会計事務所（職員）	・今は受注があるが、夏以降は受注が減少する見込みというところがある。新型コロナウイルスが終息してもイベント等が即座に再開されるとは考えられないため、まだまだ悪化の方向にある。
	×	会計事務所（職員）	・新型コロナウイルスの緊急事態宣言の期間は5月6日までであるが、いまだ感染の拡大が続いている。終息するまでは、このまま景気の低迷した状態が続くと考える。
×	その他サービス業〔ソフト開発〕（社員）	・4月末で契約を打ち切られる者も発生しており、客先においても新規案件が立ち上がるような雰囲気ではない。	
雇用関連		-	-
(東海)		民間職業紹介機関（支社長）	・求人数は減少している。先行き不安で一旦ストップという会社もある。
		人材派遣会社（企画統括）	・新型コロナウイルスの終息時期がみえないなか、中途採用や派遣社員の利用は抑制的になっていく。
		民間職業紹介機関（窓口担当）	・雇用について、現状でも未曾有の状況だが、先の見通しが全く立たない状況下で中小企業の貸付金や補償金の給付などが後手になっており、企業の経営・存続の危機も今後出てくる懸念が大いにある。また、この先更に悪化する可能性も十分に考えられる。
		学校〔専門学校〕（就職担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大や緊急事態宣言の影響で採用試験の中止が頻発している。特に医療系資格養成課程において、先の見通しがつかない状況である。
	×	人材派遣会社（経営企画）	・新型コロナウイルスによる経済活動の冷え込みや影響が、更に顕在化すると見込む。
	×	人材派遣業（営業担当）	・新型コロナウイルスにより、変わらず経済全般が停止状態で、全く先行き不透明である。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	人材派遣会社（社員）	・緊急事態宣言が解除されれば緩やかに上向き可能性があるが、解除されない限り、企業業績は右肩下がりとなるため、景気が悪くなる。
	×	人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスが早く終息しないと、この状況は変わらない。
	×	人材派遣会社（営業担当）	・新型コロナウイルスが終息するまでは、景気の更なる後退が見込まれる。
	×	人材派遣会社（営業担当）	・主要客の自動車メーカーで、新型コロナウイルスの影響による委託先の年間予算削減の動きが始めており、2～3か月後は多くの部署で同じ動きが取られる可能性がある。
	×	人材派遣会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの終息のめどが立たない状況の中、希望が見いだせない。
	×	アウトソーシング企業（エリア担当）	・自動車生産関連において、1～2か月前の受注・生産を行うため、新型コロナウイルスの影響が出始めた頃を考えると、先行きの生産においても不透明である。
	×	求人情報誌製作会社（営業担当）	・大手企業のみならず中小企業でも求人はクローズ傾向である。余波は広がっていくと懸念される。
	×	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・新型コロナウイルスによる社会活動の自粛は当分続くと思込まれる。
	×	職業安定所（所長）	・新型コロナウイルスの終息がみえない。
	×	職業安定所（職員）	・失業者はまだ多くはないが、新型コロナウイルスの終息が見通せず、長引けば倒産による失業者が急増する。
	×	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの影響が収束する見込みがない。
	×	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの終息時期による。早期には終息しないとしても、落ち込み具合が大きくなればなるほど回復に時間を要する。
	×	職業安定所（次長）	・新型コロナウイルスの終息時期が見通せないなかで、中小企業を中心として、経営の持続に限界を感じている企業の声が多くなっている。
	×	職業安定所（次長）	・新型コロナウイルス感染拡大の影響で、店舗休業及び利用客の減少による採用抑制により、求人保留や取消しとする事業所が目立ってきている。今後、更なる悪化が懸念され、注視していく。
	×	職業安定所（次長）	・新型コロナウイルスの影響で休業が長く続くと、離職者が多数発生するのではないかと懸念している。
	×	民間職業紹介機関（営業担当）	・回復の兆しがみえてこない状況で、現在の事業をいかに切り盛りするか集中せざるを得ないため、景気回復に要する期間は長期化するおそれがある。

7. 北陸（地域別調査機関：一般財団法人北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連 (北陸)		コンビニ（店舗管理）	・新型コロナウイルスの感染拡大が多少は落ち着き、自粛もある程度は緩和されている。
		一般レストラン（統括）	・先のみえない新型コロナウイルスの感染拡大だが、世界的には中国などを始め、先週から外出自粛を解く方向に動いており、経済復興を始めている。現時点で日本は5月6日まで外出自粛が続くが、その後は少なからず世界情勢に足並みをそろえる動きもあるかと考えるため、3か月後は現状よりやや上向きの状況に向かっているとみている。
		百貨店（営業企画）	・たとえ新型コロナウイルスが少しずつ終息に向かったとしても、元どおりの状態に戻るのには時間が掛かると考える。
		スーパー（店長）	・外出自粛が継続しても現状より大きく伸びることはないと思っている。
		衣料品専門店（店舗運営）	・生活必需品以外に対する消費の冷え込みはしばらく続くと考えている。
		自動車備品販売店（役員）	・新型コロナウイルスの終息、又は感染者数の減少次第で大きく変化するので判断できないが、このまま続くようなら更に悪化すると考える。
		住関連専門店（役員）	・先行きが不透明な経済への不安がある。現在は生活必需品の確保に家計の消費が動いている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他専門店〔酒〕 (経営者)	・取りあえず今が最低だと思っているが、この後も新型コロナウイルスによって、どうなるか分からない状態が続くので、今よりも悪くなる可能性もあるし、これから少しずつ良くなっていくという希望的観測もある。2～3か月先の予想がつく人は、日本中、世界中を探してもいないと考える。
		一般レストラン(店長)	・新型コロナウイルスの影響がいつまで続くか分からず、いつ営業が再開できるか分からない。
		旅行代理店(所長)	・新型コロナウイルスの終息宣言が出るまでは、回復の兆しが見込めない。
		タクシー運転手	・まだまだ良くなる傾向がみえず、先行きは全く不透明で、悪い状態がまだまだ続くともみている。
		通信会社(営業担当)	・新型コロナウイルスが終息するまで通信キャリアの意向に沿う形でしか販売できない可能性があるため、先がみえない。
		美容室(経営者)	・新型コロナウイルスの感染を恐れずに営業ができるようになるには、今年一杯掛かると考える。
		住宅販売会社(従業員)	・人と人とのつながりが分断されており、当社の営業手法は通用しなくなっている。新型コロナウイルスの終息を待って営業できるのか、今は新しい営業手法を試しながら地道な活動を続けるしかない。
		一般小売店〔書籍〕 (従業員)	・誰もが感じているとおり、現状と変わらずか悪くなるかだと考える。先がみえない状態が続くとみている。
		スーパー(総務担当)	・新型コロナウイルスの影響により消費が落ち込む。
		コンビニ(エリア担当)	・客の買物の仕方は変わらないかもしれないが、雇用の不安から消費意欲は下がる可能性がある。
		家電量販店(店長)	・新型コロナウイルスの感染拡大により、来客数は激減しそうである。
		家電量販店(本部)	・まだまだ自粛ムードは継続しそうである。治療薬やワクチンが開発されない限り、今までの生活には戻れず、景気回復は見込めない。
		通信会社(営業担当)	・新型コロナウイルスの影響で営業時間が短縮となり、来客数も明らかに少なくなっている。景気が良くなる要素が見当たらない。
	×	商店街(代表者)	・今年計画されていた大規模再開発計画も、新型コロナウイルスの影響でどうなるか分からない。この状況で支援してくれる金融機関があるはずもなく、先が全く読めない状況である。
	×	商店街(代表者)	・いつまで続けられるか体力勝負のところがあり、先は見当が付かない。
	×	商店街(代表者)	・5月末まで県立学校の休校がほぼ決まり、事実上5月も店頭販売再開のめどが立たない。6月以降も大型イベントの中止が決まっており、秋の行楽シーズンまでには終息をと願うばかりである。ネット通販の売上は前年比で130%と好調のため、経営を維持できる売上確保に向け、努力を続けていきたい。
	×	一般小売店〔精肉〕 (店長)	・今月中旬から他のフロアがクローズになっていたが、4月27日からは食品フロアもクローズしている。来月6日までクローズの予定となっているが、その後は未定ということで、どんどん延びるようであれば、まだまだ悪くなってくると考える。早く終息すればという感じである。
	×	一般小売店〔事務用品〕 (店員)	・新型コロナウイルスの終息が見込めない。
	×	百貨店(売場主任)	・緊急事態宣言の期間が5月7日以降も延びるのか、あるいは延びないとしても制約付きの解除になるのか、全く分からない状況である。回復には時間が掛かると考える。
	×	百貨店(販売促進担当)	・仮に新型コロナウイルスが終息しても、生活必需品を優先する動きは否めない。主軸のアパレルが更に打撃を受けるため、3か月程度で回復するとは考えられない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	百貨店（販売担当）	・仮に5月初めに営業を再開できたとしても、客の心理的に、すぐ来店して各種購入が増えるとは考えられない。化粧品や肌着などの必需品、ギフトや商品券などの購入は、反動で一時的には増加を見込んでいる。しかし、当面の外出制限があるなか、旅行用品や旅行に関連するお出掛けファッションが回復するとは見込めない。百貨店にとって全体の数値を押し上げる衣料品は当面苦戦が予測される。当面の利益確保のため春物や初夏商材は、在庫処分による値下げが拡大し、秋までクリアランスセール化する可能性がある。1品単価、客単価共に下がり、利益率も下がる負のスパイラルが当面続くともみている。
	×	スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの終息までは消費の拡大は考えられない。
	×	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で近くの学校が休校になり、来客数が激減している。
	×	コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスの終息がみえない。
	×	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルス終息までの期間が読めない。5月は例年であればゴールデンウィーク中の売上が多く、潤う月になるが、昨今の状況からゴールデンウィーク中も自粛の流れが続き、客の行動も限定的である。今までに経験したことのない前年割れが起これと考える。4月は前年比で50%程度の地区もあり、致命的な状況が今後も続きそうである。
	×	衣料品専門店（経営者）	・店の再開のめどは立たないし、再開しても当分客は戻ってこないと考える。大変厳しい状況である。
	×	衣料品専門店（総括）	・2～3か月で終息するとは見込めない。
	×	家電量販店（店長）	・新型コロナウイルスの終息がみえず、セールやチラシ配布の自粛もあり、前年の売上に対する対策が打てない。また、取引メーカーとの商談もできず、キャンペーン等の計画も行えない。
	×	乗用車販売店（経営者）	・街中の閑散とした様子やメーカーの工場生産停止等の状況から、しばらくは悪い状態が続くと考える。
	×	乗用車販売店（従業員）	・現状では当分終息する感じがしない。
	×	その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・まずは全国の緊急事態宣言、県からの休業要請の解除等により営業を再開しないといけない。しかし、県内での新型コロナウイルスの感染が引き続き拡大傾向にあるため、たとえ営業が再開したとしても商業施設への警戒感が緩むのは当面先になると考える。
	×	高級レストラン（スタッフ）	・営業を再開しても、特に県外団体客の利用などは回復に時間を要すると考える。
	×	スナック（経営者）	・新型コロナウイルスの終息次第だが、現状では見通しが立たない。開店はできないが、このままの状態で閉店したくない。このままではお先真っ暗である。
	×	観光型旅館（経営者）	・新型コロナウイルスの終息がみえず、先行きが見通せない。夏以降もこのような状況が続けば、運営自体に影響が出てくる。
	×	観光型旅館（スタッフ）	・新型コロナウイルスの影響により宿泊者は大幅に減少している。4月23日に観光ホテルに対して営業自粛の協力要請が出たこともあり、5月の休業が決定している。
	×	都市型ホテル（スタッフ）	・新型コロナウイルスの影響で営業再開の時期がみえない。人件費や賃借料の負担が大きい。雇用調整助成金の入金も遅く、足元の資金繰りに間に合わない。賃借料の交渉にも時間が掛かり、支払に苦慮している。売上がない今の状況で先の景気の見通しは立たない。
	×	タクシー運転手	・今日現在、当地の県立高校が5月末まで休校となり、緊急事態宣言がまだ続くという恐れがある。
	×	通信会社（職員）	・直接的な影響は少ない業種ではあるが、新型コロナウイルスの感染拡大による先行き不安のため、解約や休止の申請及び相談が増えてきている。長期的なサービス対応をせざるを得ない状況である。
	×	通信会社（店舗統括）	・この状況が終息に向かわない限り販売数は増えない。
	×	通信会社（役員）	・緊急事態宣言が続く場合、営業自粛が続き、新たな契約が見込めない。
	×	テーマパーク（役員）	・現在の新型コロナウイルスの感染状況では終息の兆しがまだみえないことから、3か月先も現状と変わらず厳しい状況が続くと考える。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	パチンコ店（経理）	・新型コロナウイルスの終息はみえず、ますます悪化していくと考える。
	×	その他レジャー施設 [スポーツクラブ] （総支配人）	・新型コロナウイルスの終息が見通せず、売上は半減している。固定費、中でも特に人件費が回収できる状況では全くない。
	×	住宅販売会社（従業員）	・社会が前向きになるのはまだまだ先と考えている。
	×	住宅販売会社（従業員）	・住宅展示場を閉鎖したため、更に人の動きが止まっており、集客が難しい。
	×	住宅販売会社（営業）	・新型コロナウイルスの感染拡大に終息の見通しが立つまでは、改善要素は皆無である。
企業 動向 関連 (北陸)	-	-	-
	-	-	-
	-	-	-
		食料品製造業（経営企画）	・新型コロナウイルスの影響が更に深刻化し、財布のひもがどんどん固くなるのではないかと考える。
		精密機械器具製造業（役員）	・今月以降、製造業に対する新型コロナウイルスの影響は更に大きくなっていくとみられる。緊急事態宣言も延長され、先行きが不透明ななか、当社の扱う製品は必需品であるため、新学期シーズン等の再需要に期待したい。
		輸送業（役員）	・新型コロナウイルスによる影響がある。
		不動産業（経営者）	・今は問合せや相談といった話が全く出しておらず、しばらく止まっていくのではないかと考える。
		税理士（所長）	・緊急事態宣言が出て1か月も立たないが、従業員が休んだりいるいるすることで何とか事業所として体をなしている。企業や事業所向けの支援が分かりづらい、あるいは受けられないという状況が続いている。2～3か月たつと事業所が消えていくのではないかと懸念がある。事業所が消えると新型コロナウイルスが終息しても、景気の回復がおぼつかないのではないかと心配している。
	×	繊維工業（経営者）	・このような状態が続くと、5～6月は更に厳しい状況になると考える。今年の後半については、皆目先がみえない状況である。
	×	プラスチック製品製造業（企画担当）	・世界規模での新型コロナウイルスの感染拡大は当分続くと考え。完全に終息するまでは経済の回復も非常に厳しいものとみられ、住宅着工や建設業界のみならず、経済全般での大きなマイナスの影響が避けられない。
	×	金属製品製造業（経営者）	・受注がどんどん減少し、客の工場が停止したり臨時休業になったりしている。
	×	一般機械器具製造業（総務担当）	・新型コロナウイルスの影響で設備投資がストップしている。また、営業活動もできないので大変厳しい状況である。
	×	一般機械器具製造業（経理担当）	・現状での受注状況は、数か月前に注文を受けたものであり、足元でキャンセルや納期変更の影響が出てきているが、この先の注文に関しては、明らかに減少してきており、数か月先の生産減少は避けられない状況である。
	×	建設業（経営者）	・建設業界は、新型コロナウイルスの影響で非常にダメージを受けている。土木工事業についてはそれほどでもないが、発注の手控えなどがあり、景気が悪くなると考える。
	×	建設業（役員）	・新型コロナウイルスの終息の見込みは薄いと考える。
×	通信業（営業）	・新型コロナウイルスの感染拡大が続いている今の状況をみれば、企業活動への影響が更に増大することは明らかである。従来の提案営業ができるか心配である。	
×	金融業（融資担当）	・新型コロナウイルスの終息の見通しが立っておらず、経済活動はしばらく止まったままである。仮に休業要請等が解除され、経済活動が動き出しても平常時に戻るには時間を要する。	
×	金融業（融資担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大を受けて緊急事態宣言が発令され、不要不急の外出の自粛や営業自粛の要請により、幅広い産業で売上が減少している。影響が長期化することも考えられ、今後新型コロナウイルスの影響による倒産の増加も危惧している。	
×	新聞販売店 [広告] （従業員）	・4月は新型コロナウイルスの影響で、折込広告の申込みが相次いでキャンセルとなっている。チラシ印刷後のキャンセルも多く、緊急事態宣言の発令や県内のクラスタの発生等で事態が悪くなるたびにキャンセル件数が増加している。終息が宣言されるまで、先のみえない状況である。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	司法書士	・今はまだ受託していた仕事が続いているが、不動産業者からは全く仕事がないと聞く。
雇用 関連 (北陸)		-	-
		人材派遣会社(役員)	・新型コロナウイルスの影響で求人募集も少なく、景気が良くなる見えない。
		人材派遣会社(社員)	・緊急事態宣言の解除がどうなるか次第のところもあるが、求職者並びに派遣先が新たな雇用に向けて、それほど活発な動きにはならないと考える。新型コロナウイルスの完全な終息まで僅かな動きがあるだけではないか。まだまだ不安材料が多すぎる。
		職業安定所(職員)	・新型コロナウイルスの終息が、現段階ではまだはっきりしていない。
		-	-
	×	求人情報誌製作会社(編集者)	・景気の見通しが全く立たない。
	×	新聞社[求人広告](営業)	・全てが止まっている。新型コロナウイルスが収まったとしても、すぐに企業の活動が再開し、回復するかは不明である。
	×	新聞社[求人広告](担当者)	・新型コロナウイルスの終息がみえたとしても、その間に停滞、消失したものを取り戻すために要する期間が分からない以上、良くなる見通しはない。
×	職業安定所(職員)	・新型コロナウイルスの感染拡大防止の影響で、求人数が大幅に減少している上に、採用計画の見直しのため求人取消しも多くなっている。雇用調整助成金の問合せも増加している。	
×	民間職業紹介機関(経営者)	・新型コロナウイルスの影響が大きく、倒産や休業等での収入減の人が増え、消費も冷えて景気は悪化に向かうと考える。	
×	学校[大学](就職担当)	・企業が通常の業務を行えない。	

8. 近畿(地域別調査機関:りそな総合研究所株式会社)

(- : 回答が存在しない、* : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (近畿)		コンビニ(店員)	・新型コロナウイルスの感染が終息に向かえば、乗客数も戻る。
		百貨店(売場主任)	・今月は店が閉まっているため、現在が底だと感じている。緊急事態宣言が解除され、店の営業が再開すれば、多少はましになるはずである。ただし、以前の売上に回復するまでには、相当な時間を要すると予想される。客の外出の抑制、取引先の生産調整や経営悪化などが不安要素として残り、営業が再開されても相当な厳しさが予測される。
		百貨店(企画担当)	・確実なことは何もないが、大阪府民の感染防止に向けた取組が功を奏し、3か月先には感染者数の拡大に歯止めが掛かると期待したい。そうなれば、感染防止を常に意識しながらではあるが、日常生活を少しずつ取り戻すことができる。
		百貨店(商品担当)	・新型コロナウイルスの感染がピークを過ぎ、社会全体が回復の希望が持てるようになるまで、景気の回復は見通せない。まずは緊急事態宣言が解除されることが、何よりの経済の活性化策となる。
		百貨店(服飾品担当)	・店舗の営業再開の条件が分からない状況であるが、海外、特に中国関連の小売の回復ぶりをみると、感染の終息とともに大きく回復が進むと予想される。ただし、現在の休止時期の影響で、商材不足や生産の遅れにつながり、投資環境も悪くなることから、完全な回復には時間が掛かると予想される。
		百貨店(販促担当)	・今よりも悪くなりようがないため、少しは改善することを望む。数か月は非常体制の下で、できるだけ経費を抑えて推進していく。今後は生活に役立つ商材を提案していくなど、状況に応じた戦略が必要となる。
		百貨店(外商担当)	・政府の緊急事態宣言や各自治体の自粛要請により、新型コロナウイルスの感染も徐々に落ち着いていく。それに伴い、少しずつではあるが営業活動も再開することができる。
		百貨店(マネージャー)	・新型コロナウイルスの影響が終息に向かう。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		コンビニ（経営者）	・数か月後には、今の最悪な状況を脱していることが予想されるが、以前と同じレベルに戻るまでには、半年ぐらいは掛かりそうである。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が少し収まれば、テレワークも隔日ぐらいになると予想されるため、来客数も徐々に増えてくる。
		衣料品専門店（営業・販売担当）	・2～3か月後に新型コロナウイルスの感染が終息していれば、売上も増加する。
		衣料品専門店（販売担当）	・新型コロナウイルスの感染が少し落ち着き、外出許可が出れば来客数も少しずつ増えてくるため、早く終息することを願っている。
		家電量販店（人事担当）	・緊急事態宣言が解除されても、急に事態が改善するとは思えない。その一方、初夏に入ってもテレワークが続いている場合、各部屋にエアコンなどの季節商材が必要となるため、販売量の増加が期待される。
		観光型ホテル（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が終息することを期待している。
		旅行代理店（営業担当）	・緊急事態宣言の延長次第ではあるが、今と比べれば、少しは回復すると予想している。
		タクシー運転手	・新規感染者数はピークを過ぎて、減りつつある。それに伴い、今後2～3か月先には企業活動が徐々に平常に戻ることを期待している。
		美容室（店員）	・結婚式関係の予約が夏以降に延期となっているため、その頃に少し需要が増える見込みがある。
		住宅販売会社（経営者）	・新型コロナウイルスの感染も、終息の兆しが出てくる頃となるため、少なくとも今月に比べれば良くなる。
		一般小売店〔花〕（経営者）	・現状よりも悪くなりようがないほど、今が最悪である。
		一般小売店〔珈琲〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響は長期化しそうである。
		一般小売店〔野菜〕（店長）	・新型コロナウイルスの感染がどう落ち着くかによるが、更に悪くなる可能性もある。個人店舗は特に厳しく、休業要請があるわけではないが、非常に厳しい状態である。
		百貨店（売場主任）	・衣料品メーカーが夏物商材の生産に着手できておらず、順調に営業を再開しても、売れる商品がない。インポートブランドについても世界規模で生産が止まっているため、慢性的な品不足に陥ると予想する。
		百貨店（販売推進担当）	・緊急事態宣言が解除されたとしても、少なくとも上半期については、集客に結び付くような販促活動やイベントの実施は困難である。当面は全館で営業が再開されても、必要最小限の営業活動を粛々と続けていくしかない。
		百貨店（店長）	・緊急事態宣言が解除されれば、多少は消費マインドが上向くと予想されるが、ワクチンの開発など、現在の状況が好転する材料がなければ、しばらくは今の状態が続く。
		百貨店（特選品担当）	・今後の新型コロナウイルスの影響が全く見通せない状況であり、このタイミングでは何ともいえない。ただし、営業再開後の客の動きは休業前とは大きく変化し、店舗での買物はかなり少なくなることが予想される。また、今まで以上にし好品に対する興味が少なくなり、最低限の生活必需品の購入が増えると予想される。
		スーパー（経営者）	・いつ緊急事態宣言が解除されるか分からないが、徐々に行動制限や休業要請が緩和されても、人々の行動が急に元に戻るとは思えない。また、企業業績の悪化による所得の減少や雇用情勢の変化で、節約ムードが確実に高まるため、4月ほどではないにせよ、家庭での食事の機会が以前よりも増えると予想される。
		スーパー（店員）	・2～3か月で新型コロナウイルスの感染が終息してくれればよいが、不透明である。従業員は毎日恐怖を感じているので、売上よりも、夫婦や家族連れで買物に来るのはやめてほしい。
		スーパー（企画担当）	・新型コロナウイルスの感染は沈静化し、通常に戻ると予想される。
		コンビニ（店員）	・新型コロナウイルスの感染終息が見通せない限り、景気の回復はあり得ない。
		衣料品専門店（店長）	・新型コロナウイルスの感染はいまだに衰える兆しがなく、緊急事態宣言の延長が予想されるなか、来月や再来月、3か月後については、まだまだ先行きが見通せない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		家電量販店（店員）	・商品の特性上、壊れた場合の買換え需要はあるが、新規の購入は減少している。ただし、近隣の同業者の閉店が来客数の増加につながっている。あとはピークタイムの契約率が上昇すれば、現状は維持できそうである。
		家電量販店（店員）	・新型コロナウイルスの影響は、2か月では回復しないと予想される。
		乗用車販売店（販売担当）	・新型コロナウイルスの感染が鈍化しても、経済活動の回復はもう少し先になると考えている。しばらくは悪い状況が続く。
		住関連専門店（店員）	・給付金が出れば家具を購入したいという客の声もあるため、恐らく当業界の景気が落ちることはない。
		その他専門店〔宝石〕（経営者）	・現在の新型コロナウイルスの影響は、日本国内はもちろん、世界中で収まるまでには時間が掛かるため、6か月程度は今の状態が続く。
		その他専門店〔ドラッグストア〕（店員）	・緊急事態宣言の解除後は、需要と供給が良いバランスとなれば、売上の増加も見込める。
		高級レストラン（スタッフ）	・まだ当分はこの状況は変わらないため、耐えるしかない。
		一般レストラン（企画）	・外出の自粛要請は緩和されると予想しているが、自粛そのものは続くため、6月までは厳しくなる。仮に、夏まで今の状況が続けば、経済全体が取り返しのつかない状態に陥ると心配している。
		都市型ホテル（フロント）	・新型コロナウイルスの感染者数が減ったとしても、まだまだ回復には時間を要する。
		都市型ホテル（総務担当）	・緊急事態宣言の効果がどの程度出るかにもよるが、宣言の延長ということになれば、現在の状態が長期化すると懸念される。
		都市型ホテル（管理担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大が終息に近づけば、また需要が復活する。
		通信会社（社員）	・新型コロナウイルスの感染の終息時期が読めず、先の見通しが立たない。
		通信会社（企画担当）	・新型コロナウイルスの影響で、アミューズメント機器の販売のめどが立たない。
		その他レジャー施設〔複合商業施設〕（職員）	・世界経済の低迷が長期化するリスクがある。
		その他レジャー施設〔球場〕（経理担当）	・4月も新型コロナウイルスの影響で、プロ野球やイベントの全てが中止となり、来場者は0人である。3か月後の状況も不透明となっている。
		その他レジャー施設〔飲食・物販系滞在型施設〕（企画担当）	・今後の自粛要請の動向次第であるが、2～3か月では観光業界での回復は限定的と予想される。当社は屋外施設であるため、少し回復を期待したいが、現時点では楽観できない。
		その他住宅〔情報誌〕（編集者）	・新型コロナウイルスの感染終息のめどが立たない限り、回復の期待は低い。
		百貨店（外商担当）	・自粛期間の延長により、企業経営や家計の状況はより深刻となる。
		スーパー（経理担当）	・緊急事態宣言の解除後は、景気の悪化が鮮明になり、節約志向がかなり強まる。家計の引締めは、まず食費から始まる傾向が強く、売上の低迷が予測される。
		スーパー（社員）	・現在の外出自粛が長引けば、飲食業界を始めとする失業や労働時間減少の動きが広がり、スーパー業界にも悪影響が及ぶと懸念している。
		スーパー（管理担当）	・小売や流通だけを単独で見れば、一時的には良くなるとしても、周辺は悪化の一途をたどっており、今後も我慢の状況が続くのは必至である。
		コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスの影響は、かなり長期にわたって続きそうである。
		家電量販店（営業担当）	・なかなか仕事がしにくい雰囲気になっている。
		その他専門店〔医薬品〕（経営者）	・連休中もステイホームとなっており、厳しい状況である。現状をみても、全く先が読めない。
		その他小売〔インターネット通販〕（オペレーター）	・新型コロナウイルスの感染が終息するか、品不足の商品の供給が増えない限り、良くならない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		通信会社（社員）	・日本全体で経済活動が縮小し、景気の悪化が進めば、地方経済の悪化と収入の減少が加速する。それに伴い、ケーブルテレビサービスの解約などにもつながることが予測される。ただし、インターネット主体の社会へのシフトが進む可能性も高まっているため、今後は先読みをした対応が重要になってくる。
	×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの影響で先がみえず、かなり厳しい。
	×	一般小売店〔衣服〕（経営者）	・過去に経験のない状態で、この状況が数か月続けば、間違いなく倒産する。
	×	一般小売店〔時計〕（経営者）	・2～3か月先のことを考える余裕はなく、来月のことも分らない。命の危険があるため、人の動きを止めなければならないという状態は、まだまだ簡単には終わらない。当然ながら、来客数の増加を期待することはできないが、家賃を始めとする固定費は必要であり、営業できるイメージがもてない。店の存続できるかということが、今のテーマである。
	×	一般小売店〔貴金属製品〕（従業員）	・新型コロナウイルスの感染が収まらない。
	×	一般小売店〔鮮魚〕（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響で、先行きは真っ暗である。
	×	一般小売店〔菓子〕（経営企画担当）	・1～3月の売上前年比を、各地区別に上位5店舗の平均で見ると、関西が86.7%で、関東が89.4%、中部が92.1%で、中国が83.2%となっている。新型コロナウイルスの影響により、先行きは全く不透明である。
	×	一般小売店〔衣服〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染がいつ落ち着くのか全く分からず、僅か数週間先でさえも予想ができない。1日も早い営業再開を目指しているが、今後は様々な業種で経営状態が厳しくなるなか、景気は想像以上に悪くなっていくと懸念している。とても不安である。
	×	一般小売店〔花〕（店長）	・新型コロナウイルスの影響は、先がみえない。
	×	一般小売店〔花〕（店員）	・新型コロナウイルスの影響で外出しなくなっているため、来客数は激減している、先行きがみえないため、このまま来客数は更に減り、売上も減少すると予想される。
	×	一般小売店〔呉服〕（店員）	・新型コロナウイルスの影響としかいいようがない。命にかかわる病気のため、今は我慢するしかない。
	×	一般小売店〔菓子〕（営業担当）	・当社の製品は高価なし好品であるため、新型コロナウイルスの感染が1日でも早く終息するのを待つしかない。
	×	百貨店（売場主任）	・緊急事態宣言の延長が確定的となったため、今後数週間は、不透明な状況が続くことが避けられない。
	×	百貨店（企画担当）	・現在の休業の状態が改善されたとしても、外出の自粛そのものは続くため、来客数は元に戻らない。また、いわゆる三密の回避で催事も中止となるため、売上の回復は難しいと予想される。
	×	百貨店（サービス担当）	・新型コロナウイルスの感染が終息する見込みは立たず、ゴールデンウィーク以降も終息宣言が出るかは不透明である。営業が再開できなければ、売上の確保が難しくなるため、非常に悪くなる。
	×	百貨店（マネージャー）	・新型コロナウイルスが終息しても、経済活動の回復はしばらく見込めない。
	×	百貨店（売場マネージャー）	・当社や取引先は、今まで経験したことのないダメージを受けている。今後は資金繰りの悪化や先行き不安から、ビジネスの規模やバランスを見直すような動きが活発化する。特に、倒産の増加や人員の削減の動きが雇用や所得面に与える影響は大きいため、新型コロナウイルスの感染終息後も経済へのダメージは続く。そして、インターネット通販へのシフトなど、個人消費やビジネスの方向性が大きく変わるきっかけになる。
	×	百貨店（営業推進担当）	・経済活動が再開できる状況になったとしても、相当な消費マインドの低下を覚悟しなければならない。現在はインターネット通販などが伸びているが、景気の後退を肌で感じるようになれば、それも続かない。新型コロナウイルスの感染終息が先の話とすれば、ウイルスとの共存下での消費刺激策が必要となるが、今のところは民間企業任せという感じが強く、消費喚起は期待できない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	百貨店（宣伝担当）	・緊急事態宣言が解除されても、取引先がすぐに稼働できるめどが立っておらず、以前の状態に戻るには時間が掛かる。またインバウンド売上が大きかったこともあり、施策の大幅な方針転換が必須の状況であるため、今後の働き方に不安を感じている。
	×	百貨店（マネージャー）	・世界的なサプライチェーンの崩壊により、数か月は景気が回復しない。
	×	スーパー（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で悪くなる。
	×	スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの影響で、今後は失業者が発生し、通常の消費も減少しそうである。
	×	スーパー（店長）	・事態が終息すれば、これまでスーパーでの買物に限られていた消費行動が解禁となるため、一気に消費が別の方向に向かうことが懸念される。今はスーパーがもうかっているという表現を耳にするが、今の緊迫した勤務状況や終息後の反動を考えると、決して楽観視できるものではなく、軽々しい表現はやめてほしい。
	×	スーパー（店長）	・経済が回っていないため、今後は企業の倒産や失業が増える。また、新型コロナウイルスの影響はしばらく続くことから、生活必需品を除いた商品の需要も、苦戦することが予想される。
	×	スーパー（店長）	・今後はワクチンが開発されるか、社会全体の免疫力が高まらない限り、経済の回復は見込めない。生活必需品関連といった、特定の業種以外は試練の年になりそうである。
	×	スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの感染の終息時期が不透明で、現状から変化するとは思えない。また、仮に終息したとしても、収入の問題があり、数か月後に家計に余裕が出るとは思えない。
	×	スーパー（販売促進担当）	・新型コロナウイルスの影響で、広い範囲の業種で売上が減少しているため、今後は飲食や観光業などの従業員を中心として、次々に買い控えが進むと予想される。
	×	スーパー（開発担当）	・新型コロナウイルスの感染による景気の下降は止まらず、いつになったら解消するのかまだまだ分からない。スーパーなどでは売上が増えているようだが、それ以外は直視できない状態となっている。
	×	コンビニ（経営者）	・まだまだ先がみえない。
	×	コンビニ（経営者）	・政府の掲げる政策については、中小企業を始めとする、全ての企業にとって充実した内容ではないため、企業の存続が危ぶまれる。
	×	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスの感染がいつ終息するか分からない。
	×	コンビニ（店員）	・今後はもっと厳しい状況になると考えている。コンビニで買うよりも、スーパーなどの割引率の高い店で買う人が増えそうである。自宅での生活も長期化しそうで、外出しない人が増えているため、少しの買物で来店してくれていた人も少なくなっている。店側も先が読めず、苦労しているようである。
	×	コンビニ（店員）	・新型コロナウイルスの感染が終息に向かわなければ、かなり悪くなる。
	×	衣料品専門店（経営者）	・10万円をひとまず配るといった短絡的な政策はやめてほしい。その予算を医療や薬の開発に投入した方が、経済も回るようになり、全てが良くなる。
	×	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチンが開発されるまで、外出の自粛と解除の繰り返しになると考えられる。インバウンドにも全く期待できず、真綿で首を絞められているようである。自然災害であれば復興特需があるが、感染症の場合は考えられない。
	×	家電量販店（経営者）	・新型コロナウイルスの感染終息がみえないなか、全体の需要も大きく低下することが予想される。
	×	家電量販店（店員）	・新型コロナウイルスの感染終息のめどが立たない限り、先が全くみえない。現場で働く社員は感染の瀬戸際に立ちおり、不安は募る一方である。
	×	家電量販店（企画担当）	・緊急事態宣言が解除されても、家計の収入が激減しているため、消費の回復は見込めない。
	×	乗用車販売店（経営者）	・短期間では新型コロナウイルス感染が終息せず、实体经济も急激に悪くなると予想される。
	×	乗用車販売店（経営者）	・新型コロナウイルスの影響により、自動車部品の販売が少なくなっている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	乗用車販売店（経営者）	・新型コロナウイルスによる休業などで、仕事や収入のない人が増えている。今後は更に失業者が増え、治安も悪化することが予想される。経済だけではなく、社会的なインフラも維持できなくなり、景気は悪くなる一方となる。
	×	乗用車販売店（販売担当）	・商談数が劇的に減少している。今後の案件もなくなってきている状況で、先がみえない。
	×	住関連専門店（店長）	・商談が激減している一方、消毒液や感染防止の備品など、新型コロナウイルス対策の臨時出費で、経費は増加している。休業要請が出ている業種ではないため、公的な支援も乏しい。自力で頑張るしかないが、厳しい状況が続くとしか考えられない。
	×	その他専門店〔スポーツ用品〕（経理担当）	・営業体制の回復には、時間を要する。
	×	その他専門店〔宝飾品〕（販売担当）	・今の時点では、販売機会の増加や外出の自粛の反動による売上増は、まだ期待できない。一方、同業者や取引先の倒産などは、これから増えてくると予想される。
	×	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（経理担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大による景気の悪化が、2～3か月で終息するとは思えない。
	×	その他小売〔インターネット通販〕（経営者）	・外出の自粛、休業などで、売上の減少が続く。
	×	その他小売〔インターネット通販〕（企画担当）	・営業再開のめどが立たないなか、商品の仕入先を始めとした、取引先の資金繰りも一層厳しくなるため、景気の変更が懸念される。
	×	一般レストラン（経営者）	・新規感染者数は減少しつつあるものの、社会全体が以前のように動き出すまでは、飲食店は平常には戻りにくい。それまでにはまだまだ時間が掛かる。
	×	一般レストラン（経営者）	・自粛生活が根付いているため、飲食店に入ることがためらわれそうである。新型コロナウイルスの感染も終息しているかどうか分からない。
	×	一般レストラン（店員）	・まだまだ新型コロナウイルスの影響が大きく、来客数は減少する一方となっている。営業時間が短くなった影響もあって売上が減っており、先がみえない。
	×	その他飲食〔ファーストフード〕（店員）	・新型コロナウイルスの感染拡大で、来客数はほぼゼロである。店舗としても、2～3か月先に景気が上向くとは思えない。
	×	その他飲食〔自動販売機（飲料）〕（管理担当）	・悪くなるというよりも、分からないといった方が正しい。家庭への給付金が、急に30万円から10万円になってしまうことも、非常に怖い。与党、野党に関係なく、政治家は知恵を出し、しっかりと働いてもらいたい。
	×	観光型ホテル（経営者）	・5月も休業を続ける予定であり、6月以降は様子を見ながら営業を再開するかもしれないが、恐らく土日だけの営業となる可能性が高い。
	×	観光型旅館（経営者）	・今、緊急事態宣言が解除されても、予約が戻ってくるのはいつになるのか分からない。
	×	都市型ホテル（スタッフ）	・宴会は6月の全てに加えて、7月の半分がキャンセルとなった。秋の大型宴会の一部も取消しとなり、終息する様子はない。宿泊もインパウンドはもちろん、国内客も自粛が続く見込みで、回復する気配が全くない。
	×	都市型ホテル（管理担当）	・新型コロナウイルスの影響で、宴会の準備ができないため、半年以上先の宴会や宿泊にもキャンセルが出ている。感染の終息後も、回復までにかかなりの時間が掛かりそうである。
	×	都市型ホテル（客室担当）	・新型コロナウイルスの感染終息後のV字回復に期待したいが、経済が破綻すれば、それも困難になる。
	×	旅行代理店（従業員）	・今後、新型コロナウイルスとどう向き合っていくのか、先が見通せない。
	×	旅行代理店（役員）	・既に5～7月のキャンセルも続出している。また、影響を受けている業種の範囲が広いいため、旅行需要が戻るまでには時間が掛かりそうである。
	×	旅行代理店（支店長）	・新たな経済政策が出され、その効果が広がると同時に、国民の間に希望がみえない限り、先行きの見通しは立たない。今の政治をみていると、今後2～3か月でそういった対応が行われるとは思えない。
	×	タクシー運転手	・緊急事態宣言は5月6日までであるが、感染の拡大懸念と経済への影響のバランスが難しい。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	タクシー運転手	・企業関係のハイヤー予約は全てキャンセルとなっている。
	×	通信会社（経営者）	・新型コロナウイルスの影響による受注減が進む。
	×	通信会社（企画担当）	・現状をみると、緊急事態宣言が解除されるという予測は立たず、改善に向かう見込みがない。
	×	テーマパーク（職員）	・ノーワークノーペイの理屈で考えると、今の状態が長くなるほど、生きるため以外に使うお金が減る。娯楽や生活を楽しむために出費をする気分になるまでには、どの程度の時間が必要なのか、今は想像もつかない。
	×	観光名所（企画担当）	・いつまでこの状態が続くのか、現状は先がみえない状況である。
	×	遊園地（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、休業を続けている。レジャー施設にとって、大型連休の休業をばん回することは、いかなる需要喚起策を講じても困難であり、明るい見通しは立てられない。仮に経済活動が再開しても、当面は様々な制約の下での再開となるため、本格的な回復は、経済活動の再開から早くても半年先になりそうである。
	×	競輪場（職員）	・新型コロナウイルスの感染終息時期が見通せないため、先行きの判断が難しい。仮に自粛が解除となった場合、その反動で売上が伸びる可能性はあるが、一度離れてしまった客が戻ってこないこともあり得る。現在はインターネットによる売上がかなり増えているが、解除後は急激に減る可能性もある。今は静観するしかない。
	×	競艇場（職員）	・新型コロナウイルスの感染防止のため、無観客での開催や、場外発売場の休館が続いている。インターネットや電話投票のみの発売となっており、本場分の売上は前年比で30%の減少が続いている。先の見通しが立たない状況である。
	×	その他レジャー施設 [イベントホール] (職員)	・新型コロナウイルスの感染が終息に向かっても、イベント業界への活動許可は最後になるため、先行きには資金繰りなどの難問が山積している。
	×	美容室（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で悪くなる。
	×	美容室（店長）	・新型コロナウイルスの感染の終息時期が全く読めず、先行き不透明である。
	×	その他サービス [学習塾] (スタッフ)	・オンライン授業がある塾への、生徒のシフトが予想される。
	×	住宅販売会社（経営者）	・非常事態への有効な政策がみられず、未来が見通せない。ビジネスは様々な部分でゲームチェンジとなる。
	×	住宅販売会社（従業員）	・現在は止まっている分譲マンションの販売が開始された段階で、消費者マインドの状態が判明するが、实体经济の落ち込みによるマインドの悪化が表面化すれば、マンション市況は更に落ち込む。
	×	住宅販売会社（総務担当）	・新型コロナウイルスの感染終息の兆しが出てくるまでは、来客数、受注共に落ち込む。
	×	その他住宅投資の動向を把握できる者 [不動産仲介] (経営者)	・新型コロナウイルスの影響で悪化が進む。
	×	その他住宅 [展示場] (従業員)	・大手ハウスメーカーからは、現場の工事を中止する動きも出ている。先行きは不透明で、不安を感じる。
×	その他住宅 [住宅設備] (営業担当)	・全ては新型コロナウイルスの感染の推移次第であるが、現在の見通しは暗い。点検訪問を拒否され、先延ばしとなっている物件の対応も不透明な状態である。	
企業 動向 関連 (近畿)			
		電気機械器具製造業 (宣伝担当)	・緊急事態宣言が解除されれば、今よりも消費は上向きになると予想される。2～3か月先も緊急事態宣言が続いているようであれば、景気は今以上に悪化している。
		その他サービス業 [店舗開発] (従業員)	・あくまで期待を込めての楽観的な意見であるが、従来のウイルスは高温多雨の自然環境が感染力を弱めてきたことから、5月以降は感染終息の一因になることが期待される。もしそうなれば、緊急事態宣言が解除される可能性もあるため、多少なりとも経済の回復につながる。
		金属製品製造業（開発担当）	・新型コロナウイルスの影響で今は忙しくなっているが、元々の繁忙期は暇になりそうである。
		電気機械器具製造業 (経営者)	・当社への問合せは増えているが、それは非常にまれな状態であるため、景気全体としての判断は分からない。
	金融業（営業担当）	・これから新型コロナウイルスの感染がどのように終息するのか、どの企業も不安が隠せない。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		新聞販売店〔広告〕 (店主)	・折込広告が激減している。新型コロナウイルスの感染が終息に向かえば戻ってくるとしても、どこまで回復するのは分からない。営業を停止している喫茶店などは、新聞の購読も停止している。この状況が続けば、当店がもたない。
		広告代理店(営業担当)	・新型コロナウイルスの感染の終息時期にもよるが、8月頃までのイベント中止が決まっているため、広告ビジネスに動きが戻ってくるのは、早くても秋以降となる。
		食料品製造業(従業員)	・家庭用の出荷増は継続的なものではなく、家庭内の備蓄に回っている部分もあるため、今後も増加が進む可能性は低い。一方、業務用は取引先がほぼ休業しているため、今の状態がしばらく続く。賞味期限の関係で、製品の一部を廃棄する事態も考えられる。
		繊維工業(総務担当)	・新型コロナウイルスの影響は、2～3か月先も続きそうである。そのため、靴下の販売量は減少すると予想している。
		出版・印刷・同関連産業(企画営業担当)	・緊急事態宣言が解除されても、各社のコスト削減の動きが加速し、印刷や各種制作費用は抑えられ、受注額は激減すると予想される。
		化学工業(企画担当)	・新型コロナウイルスの影響で、インスタントラーメンや袋に入った大手メーカーのパンの販売が増えており、中間原料の販売が好調である。ただし、食品以外も含めた売上全体で見ると、落ち込みが激しい。
		プラスチック製品製造業(経営者)	・重要な部品の流通状態が悪く、6月以降の生産調整の話が出てきている。
		電気機械器具製造業(営業担当)	・新規の引き合い件数が増えない。
		建設業(経営者)	・緊急事態宣言が解除されるかどうかによって、大きく変わる。ただし、延期や中止となった案件が、早期に再開されるかどうかは読めない状況である。
		建設業(営業担当)	・当面は新型コロナウイルスへの対応のため、想定外のコストが発生する。感染によって需要が増える医療や物流、食品関係の動きに期待したいが、今のところは低調である。
		輸送業(商品管理担当)	・新型コロナウイルスによる休業や時短営業で、客足や売上が減り、配達量も減少している。
		輸送業(営業担当)	・人混みを避ける傾向が続いているため、来店して家具を買う客は増えない。
		司法書士	・新型コロナウイルスの影響が大きく、不安な気持ちで一杯である。
		その他サービス〔自動車修理〕(経営者)	・新型コロナウイルスの感染終息は、まだ見通しが立たない。
	×	食料品製造業(営業担当)	・新型コロナウイルスの感染終息のめどが立たないため、しばらくの間、景気は悪くなる一方となる。
	×	繊維工業(総務担当)	・催事が行えないため、販売ができない状態である。
	×	繊維工業(団体職員)	・5月になれば、需要は更に減少すると予想される。
	×	木材木製品製造業(経営者)	・新型コロナウイルスの影響により、取引先もほとんど営業を中止しており、今後の回復にどれだけの時間を要するのか、先が読めない状態である。現時点で少し回復したとしても、継続的に良くなっていくとは考えられない。
	×	化学工業(経営者)	・連休までは注文が入っているが、連休明けの仕事が全くないという得意先が増えている。既に従業員を半分しか出勤させていない企業もあり、景気は急速に悪くなっている。
	×	窯業・土石製品製造業(経営者)	・今のところは以前と変わらないが、今後2～3か月以上先には、悪くならない方がおかしい。新型コロナウイルスの感染がどのように影響するかは読めないが、悪くなることは間違いない。
	×	金属製品製造業(経営者)	・自動車関連だけでなく、建設関連でも工事現場が休止となるなど、他の分野にも影響が広がっているため、今後は受注が激減していく。
	×	金属製品製造業(営業担当)	・新型コロナウイルスの影響で、建築関連の受注も減少している。
	×	一般機械器具製造業(経営者)	・石油や自動車の生産が回復しない限り、当社の業況は絶望的である。
	×	電気機械器具製造業(経理担当)	・新型コロナウイルスの感染が終息し、それまでの落ち込みの反動に期待したいが、業績が悪化している業種が多く、その期待は薄い。ただし、日本の基幹産業でもある自動車業界がけん引してくれるれば、少しは全体の流れが出てくるように感じる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	輸送用機械器具製造業（役員）	・新型コロナウイルスの影響により、先行きの見通しが不透明である。
	×	その他製造業〔履物〕（団体職員）	・新型コロナウイルスの影響により、全国に緊急事態宣言が発令され、ほとんどの百貨店や小売店が休業しているため、春夏物の受注がなく、秋冬物の商談もできない状態が続いている。感染の終息時期は不透明であり、今後も現在の状況が続くと予想される。
	×	建設業（経営者）	・現在、受注している工事以降の受注活動に苦慮している。業種にもよるが、客自身が大きなダメージを受け、設備投資の中止や延期が増えることが予想される。
	×	建設業（経営者）	・このまま外出の自粛が続けば、ほとんどの業種で収入が減り、失業者があふれ、消費は激減する。住宅の新築やリフォームといった高額な投資は、当分見合せとなりかねない。
	×	輸送業（営業担当）	・利益率の高い、製造業の荷物量が前年を大きく下回っている一方、利益率の低い通販の荷物が前年よりも多い。この状況は今後も続きそうである。
	×	通信業（管理担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大による自粛の影響で、景気は冷え込む。
	×	金融業（副支店長）	・今までの蓄えでしのいできた、個人事業主や家庭の収入の減少は、今後も続く可能性が高い。政府による支援をもう少し増やさなければ、景気の回復は見込めない。
	×	金融業〔投資運用業〕（代表）	・底がみえないことへの不安感がある。国民はひたすら耐えているが、政府の大胆な行動で若干でも留飲を下げられるような場面がなければ、絶望感から脱却できず、経済も落ち込む一方となる。
	×	不動産業（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響は、今後2～3か月は続くとも予想される。ますますテナントの解約が増え、賃料が下がるため、景気は悪くなる。
	×	広告代理店（管理担当）	・今後は、会社の規模縮小や倒産が起こり得る。
	×	経営コンサルタント	・新型コロナウイルスへの対応は長期的に取り組まなければならない。
	×	その他非製造業〔機械器具卸〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染は、まだまだ先がみえない状況であり、このまま数か月は悪化が続く。
	×	その他非製造業〔衣服卸〕（経営者）	・緊急事態宣言後は、企業として事業を続けてよいのかどうか迷う日々である。現場でも可能な限り交代で休ませているが、サプライチェーンを切るわけにはいかず、連日残業となりながら、社員のロイヤリティによって職場を維持している。ここで感染者が出た場合にどうするかなど、BCP対応を考えている状況ではないところが苦しい。先行きに明るい兆しは全くない状況である。
	×	その他非製造業〔商社〕（営業担当）	・取引先での設備投資の見直しなどで、受注案件が激減すると予想される。
	×	その他非製造業〔電気業〕（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染終息が見通せず、世界恐慌が起きる懸念もあるため、今後更に景気は悪くなる。
雇用 関連 (近畿)		-	-
		新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染が終息に向かえば、良くなる。
		民間職業紹介機関（職員）	・主にゼネコン各社が、新型コロナウイルスの感染対策を講じているため、現場は原則的に閉所となっている。これにより、建設関係の求人はゴールデンウィーク明けまで止まることが予想される。ただし、緊急事態宣言の延長の状況にもよるが、このまま現場の閉所が続くことは想定しにくいので、一定程度の求人の持ち直しが期待できる。
		*	*
		人材派遣会社（経営者）	・新型コロナウイルスの影響により、大半の経営者が先行きを見通せず、委縮している。今後、感染がどのくらい続くかにもよるが、徐々に企業のとう汰が進み、製薬会社などでは生き残る会社とそうでない会社にはっきりと分かれそうである。それに伴い、人材派遣の需要は一旦小さくなるものの、個別の動きは出てくる。
		職業安定所（職員）	・雇用調整助成金の相談が増加しており、様々な業種からの相談となっていることから、今後の雇用調整事案の増加が懸念される。
		学校〔大学〕（就職担当）	・過去に経験のない、未知の領域に突入している。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	人材派遣会社（役員）	・新型コロナウイルスによる外出自粛の長期化など、景気の良くなる理由が見当たらない。
	×	人材派遣会社（営業担当）	・特に、この2～3か月の悪化が一番大きくなりそうである。企業活動が再開されて軌道に乗るまでは、悪化の一途となる。
	×	人材派遣会社（営業担当）	・緊急事態宣言が解除される時期が分からない。失業者の増加や雇用の悪化がいつまで続くのか、終息の兆しがみえない。
	×	人材派遣会社（支店長）	・新型コロナウイルス問題が落ち着いても、一気に反転することはないと予想される。
	×	新聞社〔求人広告〕（管理担当）	・新型コロナウイルスの感染の終息次第であるが、専門家によると、終息にはワクチンの開発が必要で、これには最低でも1年以上は掛かる。終息についても、日本は中国のような独裁国家でないため、都市の封鎖や国民の外出禁止といった徹底的な対策は行えず、短期間での終息は難しい。昨今の自粛要請で、大阪では新規感染者、感染経路不明者共に減少傾向にあるが、関西経済を支えている中小企業の多くが資金繰りに窮している。特に、飲食関係などでは、倒産や廃業による失業が増えるおそれがあり、短期的には更に悪くなることが予想される。
	×	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・まだ新型コロナウイルスの影響は先行き不透明であるほか、東京オリンピックなどの明るい材料も見当たらない。
	×	職業安定所（職員）	・特に製造部門での求人が減少しているため、求人数の動きは悪くなる。
	×	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルス感染拡大の影響が終息する兆しはみられない。雇用環境に与える影響については、新規求人数の減少や事業主都合による離職者数の増加に、歯止めが掛からない状況が続いている。
	×	民間職業紹介機関（営業担当）	・21年3月の卒業生については、少し落ち着けば採用活動を再開する企業も出てくるが、採用人数は格段に減ることになる。また、22年3月の卒業生についても、夏のインターンシップを見送る動きがあるため、なお一層悪く感じている。
	×	民間職業紹介機関（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響が更に出てくる。今は就業中の派遣社員も、業績によっては延長されず、契約終了となる可能性もある。
	×	民間職業紹介機関（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響が、これから更に出てくる。
	×	学校〔大学〕（就職担当）	・報じられているように、企業の休業や収益の悪化により、株価もかなり下がっているため、今後の景気回復はかなり難しい。

9. 中国（地域別調査機関：公益財団法人中国地域創造研究センター）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (中国)		商店街（理事）	・2～3か月後には新型コロナウイルスの影響も今よりは緩和されている。
		競艇場（企画営業担当）	・2～3か月後に新型コロナウイルスが終息しているとは思えないが、2か月後にスペシャルグレードレースが開催されるため、売上が確保できる。
		一般小売店〔靴〕（経営者）	・7～8月には新型コロナウイルスが一定の落ち着きを見せる可能性があり、緊急事態宣言中よりは消費が見込まれる。
		スーパー（総務担当）	・月末に掛けて来客数が回復傾向にあり、今後は景気がやや良くなる。
		スナック（経営者）	・今のままでは、廃業するしかないが、今後は良くなる。
		商店街（代表者）	・客はなるべく最小限の買物をしており、一旦下がったものが急に回復することはない。
		一般小売店〔食品〕（経営者）	・新型コロナウイルスの終息状況によるが景気は変わらない。
		一般小売店〔洋裁附属品〕（経営者）	・新型コロナウイルスの終息時期が不透明で、今後も集客できるかどうか分からない。
		百貨店（経理担当）	・新型コロナウイルスがいつ終息するのか、この状況がいつまで続くのか全く分からない。
		百貨店（外商担当）	・現在の状況が継続すると思うが、緊急事態宣言の解除いかんで状況は大幅に変化する。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		百貨店（外商担当）	・早期に新型コロナウイルスが終息し、緊急事態宣言が予定どおり5月6日で解除されれば景気は回復に向かうが、現段階では先行きは不透明で、現状の厳しい状況が長期化する。
		百貨店（営業企画担当）	・今後の状況変化が不透明である。
		スーパー（販売担当）	・現在は新型コロナウイルスの特需で売上が増加しているが、2～3か月先は現状と変わらない。
		家電量販店（販売担当）	・夏の商戦に期待したいが、景気は変わらない。
		乗用車販売店（営業担当）	・新型コロナウイルスに対する危機感が強まりつつあり、終息し落ち着くまでは幾らあがいても回復は見込めない。
		乗用車販売店（店長）	・新型コロナウイルスが終息し、客の動きが出てこない限り景気は変わらない。
		乗用車販売店（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響で販売量は前年比約50%となっている。子供がいる家庭では食費などが増加し、車の購入が後回しになっている。また、飲食店勤務の客は仕事ができず、苦労している。こうした状況から年内は厳しい状況が続く。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（支配人）	・新型コロナウイルスの影響は当面続き、仮に、緊急事態宣言が解除されても、客の心理面からも改善までには至らない。特に広域からの来場の回復には数か月、インバウンド需要の改善までには1年以上掛かる。
		高級レストラン（事業戦略担当）	・新型コロナウイルスの終息時期が不透明でまだ先が見えない。
		一般レストラン（経営者）	・現在のほぼ売上がない状況が3か月後に回復すればまだ良い。売上回復まで生き延びていくことが大変な状況が続く。
		一般レストラン（店長）	・現状先行きが全く見通せず、どうなるかが分からない。4月22日から臨時休業を行っているが、いつまで続くのかが未定であり、営業を再開したとしても以前のような来客数は見込めない。飲食業などのサービス業はどうしても節約の最優先になってしまう傾向があるので、この不景気はしばらく続く。
		その他飲食〔サービスエリア内レストラン〕（店長）	・新型コロナウイルスの影響が続くため現状と変わらない。
		都市型ホテル（企画担当）	・現在が底のような状態であるが、現時点において感染者の動向が分からず、先は全く読めない。
		旅行代理店（支店長）	・第1四半期は新型コロナウイルスの影響を最大限受け、減収減益となる見込みだが、今後、新型コロナウイルスが終息すれば需要が回復し売上も増加する。
		タクシー運転手	・今が底かもしれないが、新型コロナウイルスの影響でしばらくは状況に変化はない。
		その他レジャー施設〔温泉センター〕（担当者）	・現状より悪くなることはないが、良くなるかも分からない。
		設計事務所（経営者）	・新型コロナウイルスがどのようになっていかに懸かっているが、終息が見えてくるまでは景気は今と変わらないか、より悪くなる。
		住宅販売会社（営業担当）	・3か月程度は新型コロナウイルスの影響が続くため景気は悪くなる。
		一般小売店〔印章〕（経営者）	・新型コロナウイルスの終息時期が不透明で景気はやや悪くなる。
		スーパー（店長）	・現在は新型コロナウイルスによる特需があるが、今後はやや悪くなる。
		スーパー（店長）	・店の周辺の飲食店やテナントで休業や閉店が増加しているため、景気はやや悪くなる。
		スーパー（販売担当）	・新型コロナウイルスの影響で来客数が減少しており、今後も客の自粛が続くため、景気は悪くなる。
		スーパー（営業システム担当）	・今までの出費の反動で最低限の買物しかなくなる可能性がある。
		コンビニ（副地域ブロック長）	・いつかは新型コロナウイルスも終息するが、経済活動、イベント、インバウンドなどでマイナス要因が続く。
		家電量販店（店長）	・新型コロナウイルスの影響で景気はやや悪くなる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		家電量販店（店長）	・新型コロナウイルスの影響は確実に続いているが、暑くなればエアコンの売上が上がってくるので、大幅に売上が減少することはない。ただ、問題は単価で、景気の悪化を受けて、機能豊富な高級タイプよりも機能を省いた普及タイプの構成比が上がると厳しくなる。
		都市型ホテル（企画担当）	・宴会、婚礼においては、3か月先以降の予約がキャンセル、延期となり、新規の予約は皆無となっている。さらに、緊急事態宣言が発令され、市内の大型ショッピングセンターやデパートなども休業となり、ホテル、旅館においても休業や新規予約受注の停止が始まっているため、景気はやや悪くなる。
		通信会社（経理担当）	・新型コロナウイルスの影響で先行きが不透明である。
		通信会社（企画担当）	・新型コロナウイルスが3か月後にどうなっているか次第だが、仮に終息していたとしても、通常の経済、営業活動まで回復するのに最短でも3か月以上は時間を要す。良くてせいぜい現時点と同じ経済、景気水準までしか戻らない。
		通信会社（総務担当）	・既に加入申込みをしている客から工事延期の連絡が出てきている。
	×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの影響で客が子供服を購入する余裕が全くない。新型コロナウイルスが終息しても元には戻らない。
	×	商店街（代表者）	・5月7日に緊急事態宣言が解除されればいいが、延長されると客が来ない日が続く、景気は悪くなる。
	×	一般小売店〔茶〕（経営者）	・全く先が見えない。海外の客との連絡はしっかりとれているが、輸送便が少なく、今後も悪くなる。
	×	一般小売店〔眼鏡〕（経営者）	・営業自粛を余儀なくされている店の倒産や廃業が増加する。
	×	百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルスの終息が見通せない状況であることに加え、現状の経済活動の縮小で客の収入が減少することが予想されるため、今後も客が消費を控える傾向になる。
	×	百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響が長期化するとかなり厳しい状況となる。たとえ終息へ向かったとしても客の動向や価値観が変わってくる。インバウンド客の購入も当面は期待できず、百貨店はますます厳しい環境となる。
	×	百貨店（営業担当）	・店が再開しても集客イベントは開催できず、景気は悪くなる。
	×	百貨店（売場担当）	・新型コロナウイルスの終息の兆しはなく、今の状況が継続する。
	×	百貨店（販売計画担当）	・新型コロナウイルスの影響がこれからも継続し、取引先の倒産が相次ぐ。
	×	スーパー（店長）	・三密を防ぐため、現在は客の少ない店で買物をする傾向が出てきているが、新型コロナウイルスが終息すると客が大型店等に戻るため、悪くなる。
	×	スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの影響が今後も続き、食料品等の需要はあるが、衣料品などが大幅に前年を割る。
	×	スーパー（店長）	・休業や外出自粛などで消費の落ち込みは大きい。今後、多方面に影響が出てくる。
	×	スーパー（販売担当）	・衛生用品や食品といった生活必需品の動向は良いものの、売上の主力である衣料品が非常に苦戦している。売上は前年比80%で、アパレル部門の不振が続く限り、景気は悪くなる。
	×	スーパー（業務開発担当）	・営業自粛や操業休止による自宅待機などが身近で相次いでおり、今までの節約志向とは違い、買いたくても買えないような状況が訪れる。
	×	スーパー（財務担当）	・キャッシュレス・消費者還元事業の終了や、新型コロナウイルスの影響による所得の減少により、消費が大幅に減少する。
	×	スーパー（管理担当）	・新型コロナウイルスの終息のめどが立っていない現在、今後自粛が消費に与える影響は読めないが、景気は明らかに悪くなる。
	×	コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスの影響で今後も来客数が減少する。
	×	コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルス対策の規制が延長される。
	×	コンビニ（支店長）	・新型コロナウイルスの影響が大きく、先行きが不安である。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスからの回復には時間が掛かる。
	×	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で繊維関係の工場が停止したり、職人が廃業したりする。
	×	衣料品専門店（代表）	・新型コロナウイルスの終息の時期が未知である。
	×	家電量販店（店長）	・新型コロナウイルスの影響で景気は悪くなる。
	×	家電量販店（企画担当）	・新型コロナウイルスの終息時期が不透明で、他業種の景気の不振や失業で販売量が減少するため、景気は悪くなる。
	×	乗用車販売店（営業担当）	・倒産する会社が増加し、法人、個人いずれも契約する客が減少する。
	×	乗用車販売店（統括）	・新型車が発売された軽四の売行きは良いが、登録車の落ち込みが大きく、今後も悪くなる。
	×	乗用車販売店（業務担当）	・新型コロナウイルスの先行きが不透明で明るい材料が全くない。
	×	乗用車販売店（店長）	・ボーナス商戦時期を迎えるが、高額商品を購入する意欲が客にあるかどうか不明である。現在の惨状を考慮すると買い控えが顕著に出てくる。
	×	乗用車販売店（営業担当）	・店に来店する客が、日ごとに減少してきているので、新型コロナウイルスが終息するまで景気は不透明である。
	×	自動車備品販売店（経営者）	・新型コロナウイルスの終息見通しが立たず、今後の方が怖い。中小企業、個人商店等がますます疲弊してくれば、今以上の落ち込みも考えられる。リーマンショックのときと違い落ち込みが極端である。
	×	自動車備品販売店（経営者）	・新型コロナウイルスの終息や緊急事態宣言の解除の見通しが不透明である。6月末まで新型コロナウイルスの影響が続くと、この先の経営は非常に厳しくなる。倒産や自己破産が増加すると、治安が悪くなる懸念される。そうなると、もう商売どころではなくなってくる。民間企業の現場は地獄化してくる。
	×	住関連専門店（営業担当）	・新型コロナウイルスがいつ終息するのか全く予測が付き、景気は悪くなる。
	×	その他専門店〔土産物〕（経営者）	・自粛が続き、観光客はおるか地元客さえおらず商売が成り立たない状況である。新型コロナウイルスの終息のめども立っておらず景気は悪くなる。
	×	その他専門店〔布地〕（経営者）	・新型コロナウイルスが終息しなければ明るい材料は何も出てこない。
	×	その他専門店〔時計〕（経営者）	・新型コロナウイルスの終息時期の予想が立たず、当分の間、販売の減少を覚悟しなければならない。
	×	その他専門店〔和菓子〕（経営者）	・新型コロナウイルスの完全終息までは回復は不可能である。
	×	その他小売〔ショッピングセンター〕（管理担当）	・新型コロナウイルスが一度に改善することはなく、更に悪化する可能性もあり、楽観視できない。テナントも含め厳しい状況が続いており、数か月で景気が改善することはない。
	×	一般レストラン（経営者）	・休業期間を延長する可能性もあり、最悪の場合、5月は営業しないことも考えられるため、売上がなくなる。補助金があっても、それだけでは家賃や人件費等の経費を補うことができず、店の存続が問われるようになってくる。
	×	一般レストラン（経営者）	・今回の飛まつ感染予防が長期間続き、最新の治療、医療体制が整うには時間を要する。政府の危機管理の拙さますます国民を苦しめており、個人消費の回復がない限り外食産業は復活しない。
	×	観光型ホテル（営業担当）	・新型コロナウイルスが終息しないと景気回復の見込みが立たない。
	×	都市型ホテル（総支配人）	・この先も新型コロナウイルスの終息の見通しが立たず、予約状況も大幅に落ち込んでいるため悪くなる。
	×	旅行代理店（経営者）	・この状況に対する解決策がない限り旅行に関しては何も望めない。
	×	タクシー運転手	・新型コロナウイルスの終息時期が不透明なため、業務の見通しが立っておらず、景気は悪くなる。
	×	タクシー運転手	・新型コロナウイルス次第だが、景気は悪くなる。
	×	タクシー運転手	・新型コロナウイルス感染拡大に対する対応策が確立されていないため、めどが立たない。
	×	通信会社（工事担当）	・新型コロナウイルスの影響で景気は悪くなる。
	×	通信会社（広報担当）	・休業や廃業の客が増加しており、回復の兆しがない。
	×	通信会社（営業担当）	・企業の倒産が増加することは明らかで、一旦雇用状況が悪くなる。その後の雇用の回復も先行き不透明のため、消費の低迷がしばらく続く。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	放送通信サービス（総務経理担当）	・新型コロナウイルスの影響が各所に出ている。在宅需要でインターネットの注文が多くなっているが景気とは関係がなく、今後は新型コロナウイルス長期化による料金延滞等で売掛金回収に影響が出てくる。
	×	テーマパーク（管理担当）	・新型コロナウイルスの影響で景気は悪くなる。
	×	テーマパーク（業務担当）	・新型コロナウイルスの早期終息も見込めず、今後の状況が全く読めない。
	×	テーマパーク（営業担当）	・新型コロナウイルスの終息が見えず、集客のためのイベントや広報ができない状況が続く。
	×	観光名所（館長）	・新型コロナウイルスの終息が見込めず景気は悪くなる。
	×	ゴルフ場（営業担当）	・先行きが不透明のため、景気の判断が付かない。
	×	美容室（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で経営の方向性が大きく変わっていき、終息後もしばらくは厳しい現状が続く。
	×	美容室（経営者）	・客が新型コロナウイルス感染に対して不安を持っており、店側も営業時間を短縮したりしているため、景気は悪くなる。
	×	美容室（経営者）	・これから景気は更に悪くなる。
	×	設計事務所（経営者）	・新型コロナウイルスの終息には時間が掛かり、住まいの購入など大きな買物をする機運が戻るには相当の時間が掛かる。
	×	設計事務所（経営者）	・しばらくは来客が見込めないため売上が減少する。
	×	住宅販売会社（従業員）	・当面、新型コロナウイルスの終息のめどが立たず、V字回復はありえない。
企業動向関連		輸送用機械器具製造業（経営者）	・2～3か月後には景気は良くなっている。
(中国)		一般機械器具製造業（経営企画担当）	・新型コロナウイルスの状況次第であるが、引き続き厳しい状況が続く。
		輸送用機械器具製造業（経営企画担当）	・まだ5月の受注内示しかないが、4月同様受注量は極度に減少する見通しで、先の見通しは立っていない。
		輸送業（支店長）	・個人客から感謝の声が聞こえており、個人については今後も需要が維持できるが、百貨店、大型量販店、製造業関係の供給ストップや倉庫からの出荷の減少が見込まれるため、全体では変わらない。
		不動産業（総務担当）	・今月同様、新型コロナウイルスの時期に賃貸物件を探す必要性が出てこない。
		広告代理店（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響が継続していく流れで景気が回復するのは難しくなってくる。
		食料品製造業（総務担当）	・米中の貿易摩擦が終息しないまま新型コロナウイルスが世界中で拡大しており、世界全体で景気が悪くなるため、やや悪くなる。
		化学工業（総務担当）	・新型コロナウイルス感染拡大による内外需の縮小の影響が徐々に出てくる。
		非鉄金属製造業（業務担当）	・新型コロナウイルスの終息と経済活動の復活時期を秋口と想定しており、製造業にとっても受注の減少など更に厳しい状況が続く。
		建設業（総務担当）	・新型コロナウイルスの影響で景気はやや悪くなる。
	×	農林水産業（従業員）	・自粛の流れが量販店にも影響を及ぼしつつあるので、売り先がなくなっていく。
	×	食料品製造業（経営者）	・売上の大幅な減少に伴い、打つ手を模索しているが、我慢をしなければならない状況が続く。
	×	繊維工業（監査担当）	・季節性が強い業界なのでここ数か月の機会損失による売上の取戻しはできない。さらに、新規客の獲得もできていないので、今後のリピート売上也期待できない。小売店の資金面の体力も懸念される。
	×	木材木製品製造業（経理担当）	・4月に緊急事態宣言が発令され、4～5月は急激に景気が悪くなっており、今後も景気は悪くなる。
	×	化学工業（経営者）	・国内外を問わず新型コロナウイルスの終息の見通しの付かない現状では休業等の影響は未知数であり、その影響は長期間かつ甚大になる。
	×	窯業・土石製品製造業（総務経理担当）	・新型コロナウイルスの影響で取引先の生産に影響が出てきており、生産量の減少に対応して臨時休業を実施するため景気は悪くなる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	金属製品製造業（総務担当）	・5月はこれまで行っていなかった全社休業を週1回行う予定である。6月以降については5月の受注量から予定を立てるが全くといっていいほど明るい話がない。週1回の全社休業は続く見込みで、場合によってはその日数が増加する。
	×	一般機械器具製造業（管理担当）	・現状は雇用が確保されているが、今後、より不透明感が強くなる。
	×	一般機械器具製造業（総務担当）	・4月までは衛生機器の納品遅れに伴う太陽光関連機器の工事遅延、5月以降は景気低迷による販売不振が予測され、今後も景気は悪くなる。
	×	電気機械器具製造業（総務担当）	・通常どおりの事業活動を行うことができず、また、この状況がいつまで続くか分からないため、良くなる見通しは立たない。
	×	輸送用機械器具製造業（財務担当）	・元々のマーケット状況の悪化に加え、新型コロナウイルスの影響による先行きの不透明感からますます景況は悪化する。
	×	建設業（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で景気は悪くなる。
	×	建設業（総務担当）	・この先、新型コロナウイルスの間接的、直接的な影響は避けられない。現在細やかな営業活動ができていないので、1年半ないしは2年先には間違いなく受注が減少する。
	×	輸送業（総務・人事担当）	・新型コロナウイルスの長期化により致命的なダメージを受ける。
	×	輸送業（総務担当）	・どこが底になるか、現時点では分からないため景気は悪くなる。
	×	通信業（営業担当）	・次月以降の受注実績もさることながら緊急事態宣言がゴールデンウィーク以降も継続すると積極的な営業活動は行わずテレワーク中心の業務となる。向こう3か月の受注見込みも1割程度と厳しい状況であり、景気は悪くなる。
	×	金融業（貸付担当）	・新型コロナウイルスの終息の見通しが立たないことから、取引先の業況や資金繰りが更に悪化する。
	×	金融業（融資企画担当）	・新型コロナウイルスの影響による地元完成車メーカーの世界販売の大幅な低迷は数か月は続く。当面、系列の地元部品メーカーの受注が前年を大幅に下回ることが避けられない。
	×	会計事務所（経営者）	・新型コロナウイルスの終息時期が不透明で、いつまでこの状況が続くのか予測できない。ゴールデンウィークを境に終息に向かうのであればこの先2～3か月で底を打つ可能性もあるが、終息まで長期間要するのであれば影響は甚大となる。
雇用 関連		-	-
(中国)		-	-
		-	-
		人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスの状況次第だが、国内だけでなく、海外も経済が低迷しており、引き続き雇用状況は悪くなる。
		求人情報誌製作会社（広告担当）	・新型コロナウイルス感染症の拡大により、悪くなる業種が更に増加する。就職サイトでいうと、アルバイトや転職サイトは既にかなりの影響を受けており、例年利用していた企業からも見送る声が多い。新卒については現段階ではほとんどの企業が次年度の採用人数は変わらないと答えているが、このまま合同説明会や会社説明会が自粛のままだと、思うような人数を確保できない可能性も高い。採用手法も変化し、WEBセミナーやWEB面談が前年に比べ1割ほど増加している。
		学校〔短期大学〕（進路指導担当）	・新型コロナウイルスの影響で経済活動が停滞している状況下においては、採用活動も縮小していく。
	×	人材派遣会社（支店長）	・業界ごとに異なるが、1～2月から求人数が減少し始め、3～4月にその影響が様々な業界に広がっている。業界によっては新型コロナウイルスの影響を受けない分野があるが、影響を受ける業界の比率が高く、全体的には景気は悪くなる。
	×	求人情報誌製作会社（経営者）	・新型コロナウイルスの終息時期が不透明で、元々6月は求人数が減少する時期でもあるので、恐らく求人数は前年の半分以下になる。特に飲食業の求人数は大幅に減少する。
	×	求人情報誌製作会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの拡大による経済活動の停止の影響が大きくなっていく。
	×	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・経済活動は停止したままで、新型コロナウイルスの終息の見通しもなく、非常に厳しい状況が続く。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	職業安定所（所長）	・新型コロナウイルスの影響で観光土産菓子製造業や宿泊・飲食サービス業が休業に追い込まれており、今後、幅広い業種に休業が広がるため、改善が期待できない。
	×	民間職業紹介機関（職員）	・高額売却の計画があった企業が新型コロナウイルスの影響で一転、倒産若しくは民事再生という真逆の立ち位置に変わるなど、景気は厳しい状況にあり、今後もこの状況が続く。
	×	民間職業紹介機関（求人・人材採用担当）	・新型コロナウイルスの終息時期が予測できず、休業が増加すると、数か月後には倒産、閉店する企業が増加することが予測され、人材の採用どころではない。
	×	学校〔大学〕（就職支援担当）	・新型コロナウイルスに伴う経済の停滞が続く。
	×	その他雇用の動向を把握できる者	・雇用調整助成金の問合せが激増しており、これから申請等も予想される。事業所の閉鎖も増加傾向にあるため、景気は悪くなる。

10. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (四国)		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの終息とともに消費活動が回復していく。
		住関連専門店（経営者）	・今は新型コロナウイルスの影響で非常に大変な時期だが、3か月先以降は、多少は新型コロナウイルスが終息し、以前よりは良くなる。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（副支配人）	・緊急事態宣言がどのような形で解除されるかにもよるが、現在よりは良くなっていることを期待する。
		商店街（事務局長）	・先進国の一部では、政府の方針で自粛を解除して経済活動再開にかじを切るところも現れている。早く日本も経済活動が再開できるように、今は国民全体で自粛に専念するしかない。
		商店街（代表者）	・5月の連休も休業する店がかなり多い状態である。早く終息へ向かっていかなければ、人出は期待できないし、いつ景気が底を打って上昇するか、めどが全く立てられない状態である。
		百貨店（販売促進）	・新型コロナウイルスの影響に関して先行きが不透明であり、通常の経済状況に戻る時期が想定できない。
		スーパー（企画担当）	・まとめ買いの傾向は継続すると見ており、現状品薄の商品も次第に回復すると見込まれる。外食の頻度が回復しない限り、スーパーへの来客の集中は継続する。
		コンビニ（営業担当）	・新型コロナウイルスによる自粛期間は長引く。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスがいつ終息するか次第である。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスの終息時期の予測がつかず、お祭りや高校総体等のイベントも続々と中止になっている。夜の繁華街ではスナックや居酒屋等が開店していないとタクシーの利用客は少なく、また昼でも人の動きが止まっているため利用頻度は少ない。
		通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの状況にもよるが、改善される見込みは薄い。
		競輪競馬（マネージャー）	・当面、新型コロナウイルスの終息は見通しが立たず、新聞やメディア等で長期化が報道されており景気の低迷は続く。
		家電量販店（副店長）	・全般的に景気が悪くなっているため、必需品以外の購入は見込めない。
		乗用車販売店（従業員）	・販売とサービス部門共に新型コロナウイルスの影響が出ており、終息しない限り良くはならない。
		その他専門店〔酒〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、来客数も減少し、売上も増加しない。
		その他飲食〔ファーストフード〕（経営者）	・このまま新型コロナウイルスの影響が続けば、外食事業が継続困難な状況になる。
		通信会社（営業部長）	・消費者の節約意識が一層増す。
	×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの終息が見えないなかで、客の外出自粛と政府の休業要請で二重苦の状態であり、緊急事態宣言の解除後もすぐには回復が見込めない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	商店街（代表者）	・緊急事態宣言による自粛規制がいつまで続くか分からないため、3か月先の景気状況を予測するのは困難である。ただ、この事態をきっかけに従来の大都市集中型の社会構造に変化が現れ、特色ある地方都市が見直されることを期待する。
	×	一般小売店〔生花〕（経営者）	・新型コロナウイルスが落ち着くまでは必要最低限の商品のみの売上となり、この状況は当分続く。
	×	一般小売店〔酒〕（販売担当）	・新型コロナウイルスの終息までどれくらい時間が掛かるか分からないが、それまで店を維持できるか深刻な問題である。
	×	百貨店（企画担当）	・8月の催事も開催できないものが出てくるなど、回復の見通しは立たない。
	×	スーパー（財務担当）	・経済や雇用、収入が相当悪化し、節約志向が強烈に強まる。
	×	コンビニ（店長）	・コンビニのようなニッチな需要に支えられている業界は、心理的に余裕のない状況下では売上の増加は難しく、また回復の見通しも立たない。
	×	コンビニ（店長）	・自粛ムードが日に日に広がっており、特に日曜日は来客数が週を追うごとに落ち込んでいる。
	×	コンビニ（総務）	・新型コロナウイルスの影響で先行きが見えず経済が疲弊していくなかでは、悪化の一途をたどる。
	×	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルス問題は年末までは終息せず、あと1年は景気回復は難しい。
	×	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスの影響による経済の停滞により、今後も景気は悪化する。
	×	衣料品専門店（経営者）	・緊急事態宣言が更に1か月延長される見込みとのニュースを見たので、5月一杯まで先行きは相当厳しい。
	×	衣料品専門店（営業責任者）	・新型コロナウイルスの特効薬やワクチンが開発されない限りこの状況は続く。仕入れも止まっており、現在の状況が改善されても、通常どおりに販売が再開されるには時間が掛かる。
	×	家電量販店（店員）	・給与やボーナスの不安があるなか買い控えが始まっている。
	×	乗用車販売業（営業担当）	・新型コロナウイルスの状況次第で変わってくるが、このままでは外出制限や時短営業などで悪くなる。
	×	乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルスの影響で今後の収入が大幅に減少すると予想する人が多いため、必要な物以外の購入には慎重になっていく。
	×	乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルスが終息しなければ、難しい状況が続く。
	×	乗用車販売店（役員）	・新型コロナウイルスの影響としかいえない。
	×	一般レストラン（経営者）	・先行きが全く見えず非常に不安である。様々な対策を実行しているが、長引けば会社の体力が持たない。
	×	観光型旅館（経営者）	・新型コロナウイルスが国内で終息したとしても世界的な影響は継続し、観光業全体の正常化には1年以上掛かる。
	×	都市型ホテル（経営者）	・自社でも客と従業員の安全確保を優先し5月一杯の休業を決断した。新型コロナウイルスの影響で来客数も減少し、また、いつ終息するのかも全く分からない状況であるため、今後の予想を立てることも難しい。
	×	タクシー運転手	・新型コロナウイルスが終息しない限り、更に状況が悪化するような雰囲気である。タクシー業界でも倒産する会社が出てきており、先行きは良くなるどころか、更に悪化する。
	×	通信会社社員	・新型コロナウイルスの終息が見通せない。
	×	通信会社（支店長）	・新型コロナウイルスの影響がいつ終息に向かうか不透明である。
	×	美容室（経営者）	・先行きの予測が全くできず、たとえ緊急事態宣言が解除されたとしても、すぐに人が動くとも限らず、元の経営状態に戻るのはまだまだ先になる。今回の新型コロナウイルスの爪痕は大きく、それをリカバリーするだけの体力が各サロンに残っているかも分からない。
	×	美容室（経営者）	・新型コロナウイルスが終息しなければ良くならない。
	×	設計事務所（所長）	・建設関連のような請負業の場合、現在は前年の積み込みで何とか保っているが、3か月後以降になると急激に資金がショートする会社が出てくる。
企業動向関連		-	-
		電気機械器具製造業（経営者）	・新型コロナウイルスが一旦終息すれば、県外で受注分の仕事を再開できるので、良い方向へ向かう。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
(四国)		税理士	・新型コロナウイルスの今後の動向次第だが、現状の状況から脱却するための方法を顧問先が取ることにより、ある程度は良くなる。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（経理）	・新型コロナウイルスの影響で除菌ウェットクリーナーの受注が増加している。この影響で人々の身の回りを清潔に保とうという意識が高くなり、今後、日常生活において使用される頻度が高くなる。
		広告代理店（経営者）	・新型コロナウイルス感染拡大防止のための緊急事態宣言の期間や今後の影響が予測できない。夏頃までのイベント等も中止決定が増加しており悪い状況が続く。
		建設業（経営者）	・新型コロナウイルスの状況次第である。
	×	農林水産業（職員）	・現在、各業界が新型コロナウイルスの影響をじわじわ受けており、今後、そのダメージが表面化し厳しい状況となる。
	×	食料品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、外食産業や学校給食、レジャー施設、ホテル、総菜店への業務用冷凍食品の売上が極端に減少しており、回復のめどが立たない。
	×	繊維工業（経営者）	・原料の綿糸納入商社の中では、売上が前年比40～50%減少しているところもあり、関連加工場では休業している業者もある。4月は当社のガーゼハンカチを利用した簡易マスクに注文が殺到し、売上の落ち込みを少しはカバーできたが、マスクが少し出回り始める5～6月は相当な落ち込みとなる。今後は製造部門と出荷部門の社員の交代シフト勤務も検討している。
	×	木材木製品製造業（営業部長）	・新型コロナウイルス対策で緊急事態宣言が発令され、住宅展示場などにほとんど来場がない。受注残があるため仕事が突然なくなることはないが、今後大きく目減りしていき、夏以降はほとんど受注が見込めない状態である。
	×	化学工業（所長）	・新型コロナウイルスの終息が見えず良くなる見込みはない。
	×	鉄鋼業（総務部長）	・新型コロナウイルスの影響がいつまで続くのか不明だが、先行き悪化は間違いない。
	×	一般機械器具製造業（経理担当）	・新型コロナウイルスの経済への影響は図りかねる。
	×	建設業（経営者）	・事業活動並びに個人行動が制約を受けている今のような状態が続けば、事業の売上額等の経営指標の低下が生じる。また社員の景況に対する不安感や閉塞感が一段と進む。
	×	建設業（総務）	・新型コロナウイルスの影響が大きい。
	×	輸送業（経営者）	・新型コロナウイルスの影響が大きい。
	×	輸送業（営業）	・新型コロナウイルスの感染拡大がいつ終息するのか予想がつかない現状において、景気の好転は期待できない。また、消費の低迷による景気の減速が長期化すれば、収益の悪化による倒産や廃業も予想されることから、取引先の与信にはいつも以上に慎重にならざるを得ない。
	×	輸送業（経理）	・新型コロナウイルスの感染拡大防止のための移動自粛に起因する経済や物流動向の低迷が今後も継続する。企業の正常な動きを阻害し、生活必需品以外の多くの産業に関する物流を世界的に縮小させていく。
	×	通信業（総務担当）	・現状では回復の兆しが見えず、今後ますます悪くなる。
×	金融業（副支店長）	・新型コロナウイルスの終息時期は不透明であり、個人の消費意欲も減退している。今後、現在打撃が少ない業種にも影響が及ぶ。	
雇用 関連		-	-
		-	-
		-	-
(四国)		職業安定所（求人開発）	・新型コロナウイルスの影響で休業している事業所からの雇用調整助成金の相談が多数ある。感染拡大が終息する気配がみられない現状ではあるが、緊急事態宣言等による様々な取組により、現在の状況が2～3か月後には若干改善するのではないかと期待している。
		学校〔大学〕（就職担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大防止策による影響が大きい。
	×	人材派遣会社（営業）	・先行きは不透明で、再開のめどは立たない。年間を通じて夏までが集客のピークとなる公共施設運営団体や企業は、今季絶望的な売上減少が見込まれる。自粛期間中でも固定経費をできるだけ抑え、1日でも早く終息を迎えることが景気悪化を防ぐ条件である。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	人材派遣会社（営業担当）	・先行きが不透明で、派遣の求人数が減少しており、契約期間満了後のスタッフの派遣先がない。
	×	人材派遣会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響で、輸送や観光関連業種では人員削減等の措置が始まっている。
	×	求人情報誌（営業）	・新型コロナウイルスの感染者数の増加は一旦止まるかもしれないが、根本的な解決に至らない場合、日常の活動を再開したとたんに再度感染拡大する可能性がある。短期的に景気が良くなる兆しはなく、経済活動の本格的な再開は1年後以降となる。
	×	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・新型コロナウイルスの影響がすぐに終息することはなく、周りの景気が良くなって初めて広告業界も活況になる。
	×	職業安定所（職員）	・今後は大企業においても人員削減が進み、失業者の増加が懸念される。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	x	民間職業紹介機関(所長)	・老人介護施設や身体障害者支援施設への訪問の際は、検温や手洗い等の実施が義務付けられており、施設側の厳重な感染防止対策が感じられ、極力外部からの訪問を避けている様子である。

11. 九州（地域別調査機関：公益財団法人九州経済調査協会）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (九州)		家電量販店(店員)	・新型コロナウイルスの終息を望んでいるが、今回の10万円給付により、耐久消費財である家電に回ることを期待している。その給付により、市場に出回る時期は夏場となり、今回のマイナスの数字を取り戻すような景気が考えられる。
		通信会社(企画担当)	・在宅勤務の増加に伴い、モバイル通信サービスの需要増加が、当分見込める。
		一般小売店[鮮魚](店員)	・魚の入荷量が少ないにもかかわらず、魚価が上がってないのが現状である。少しは明るい話題が欲しいが、このままでは、先行きの経営に悲観的である。
		百貨店(営業担当)	・ワクチンが開発されると、新型コロナウイルスは終息し、徐々に良くなっていく。
		百貨店(販売促進担当)	・現在、新型コロナウイルスの影響により、食品フロアのみが営業となっている。この先、全館営業に戻り、若干回復しても、劇的に良くなることは予測できない。
		衣料品専門店(店員)	・2~3か月先には、営業再開されることに期待している。
		乗用車販売店(従業員)	・新型コロナウイルスが終息すれば、購買を控えてた客の来店が見込めるが、終息が不透明な状態では、景気の改善は見込めない。
		観光型ホテル(総務)	・新型コロナウイルスの感染拡大が、終息に向かうことに期待をしている。ただ、現時点で終息の見通しは立っておらず、現状と変わらない。
		都市型ホテル(スタッフ)	・今後の状況にもよるが、動きは出始めると推測する。
		商店街(代表者)	・長引けば、生き残ることが難しくなり、新型コロナウイルスが終息することを望んでいる。
		商店街(代表者)	・見通しが立たない状況で、兆しが無い。
		商店街(代表者)	・現状より悪化しないことを期待しているが、政府の給付金や雇用調整助成金等の支援策は、複雑、煩雑である上、時間が掛かるため、それまでに各零細企業が持ちこたえることができるか、ひっ迫した状態である。
		一般小売店[青果](店長)	・ここ2~3か月の納品は横ばいであるが、納品している店の従業員や保育園の先生が発症すると状況が変わるため、安易に考えられない。
		百貨店(営業担当)	・ストア部門では、店やネットショッピングは共に伸びているが、緊急事態宣言の延長次第では、臨時休業期間は、感染安全対策への催事変更や混雑緩和策を強化していく。長期間の外出自粛による購買意欲減退や必需品以外購入しない慎重な購買姿勢に加え、生命・生活防衛意識が加わり、不安解消は長引くと予想される。
		百貨店(売場担当)	・まだ新型コロナウイルス感染者が少ないが、商店街や駅で発生すると、もっと落ち込む可能性がある。当社では、催事は全て中止になっており、一部の店舗では、売上や来店客数の前年比50%が継続すると良いが、先行き不透明なため懸念している。
		百貨店(プロモーション担当)	・新型コロナウイルスショックを機にテレワークが多くなり、外食が減少したりしているため、消費者の価値観が変化しそうだ。しばらくは、新型コロナウイルスの感染が収まって、小売への影響が出ることが心配である。
	百貨店(売場担当)	・新型コロナウイルスの感染拡大から終息への見通しが全く立たないため、現時点ではこのまま続くと予想する。また、以前のように国内外の観光客が戻るかは、全世界的にまん延している状況からは想定しにくい。	
	スーパー(店長)	・新型コロナウイルスの影響で、買上点数や客単価もが上がっており、来月の景気は、前年比10%程度上がると予想される。衛生面に気を付けながら販売している。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スーパー（統括者）	・新型コロナウイルスの終息が、まだ見えない状況である。ライフラインとなる全ての業種で、2～3か月先も今の状況が続くと予想している。しかし、今後、キャッシュレスポイント還元事業も終了するため、勢いは鈍化し、下降傾向に向かうと考える。
		コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスの終息が不透明なため、経済回復に向けた気運になるまでは、時間が掛かる。
		衣料品専門店（店長）	・新型コロナウイルスの終息が全く見えないため、この状態は当分変わらない。
		家電量販店（店長）	・今が最悪の状況であると考えている。今後、更に深刻な状態になることを懸念している。
		家電量販店（従業員）	・新型コロナウイルスの影響を受け、かなり厳しい状況が続くと予想される。
		乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルスの影響で、生産、来客、販売の見通しが見つからない。
		観光旅館組合（職員）	・ワクチン等の開発がされない限り、安心して旅行もできず、客足は鈍いままである。
		観光型ホテル（専務）	・新型コロナウイルス収束の見通しが立っていない。
		競馬場（職員）	・新型コロナウイルスの影響が、続いていると考えられる。
		競艇場（職員）	・無観客レースになっているにもかかわらず、一定の販売量を維持できている。
		美容室（経営者）	・新型コロナウイルスが早く終息することと、経済的な保障を望んでいる。
		設計事務所（所長）	・新型コロナウイルスの影響が続くため、この現状がまだ継続する。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	・当店は、切り花の生花がメインのため、7～8月の売上は落ちる。
		スーパー（経理担当）	・消費者の収入減少により、ディスカウントショップで購入する傾向にあり、スーパーマーケットの今後の景気は、不透明である。
		コンビニ（エリア担当・店長）	・近隣の飲食店が、宅配や持ち帰りの食料品をそろえると予想されるため、コンビニエンスストアの総菜や弁当の販売数が、数か月は落ちると危惧している。客数も伸びる要因がないため、少しずつ売上が下がっていく。
		衣料品専門店（取締役）	・今が最悪の状態であるため、3か月後には何らかの補助金が出ていることを望んでいる。しかし、補助金1回では、ますます混乱が予想される。内部保留金がある企業とそうでない企業には、大きな隔りがあるため、当店の先行きも懸念される。どうにか踏みとどまりたい。
		家電量販店（店員）	・来店客数が非常に減少しているが、来店客は何か購入している。テレワークやリモート事業の需要では、パソコンやタブレットが飛ぶように売れ、前年比200%を達成している。棚数がなく機会損失をしている状態である。
		家電量販店（広報・IR担当）	・新型コロナウイルスの影響がどこまで続くのか、不透明で先行きが見通せない状況である。
		その他専門店〔コーヒー豆〕（経営者）	・自粛要請により、客は店への出入りを控えており、来店が著しく減少している。したがって、2～3か月の景気は見通しが立たない状況でも、間違いなく客の減少は明らかである。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（統括）	・新型コロナウイルスによる緊急事態宣言の解除が、現在のところ見通せない状況である。外出自粛要請がいつ解除されるのかにもよるが、しばらくは来店客が減少し、販売量も前年を下回る状況が継続すると予想している。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスの感染予防に、タクシーの中も除菌はしているが、大変懸念をしている。
		通信会社（企画担当）	・新型コロナウイルスの影響で、もし、官公庁系の契約出遅れが発生すれば、月単位の売上に大きく影響することが予想され、決済や回答に遅れが目立つようになってくる。官公庁の職員も、少しずつテレワークを行っており、その影響はまだ予測が見つからない。
		通信会社（企画担当）	・新型コロナウイルスの影響が出ると予想される。
		ゴルフ場（従業員）	・現在、非常に景気が悪い状態であるが、新型コロナウイルス感染の終息宣言が出るまでは、一層厳しい状態になると予想している。
		美容室（店長）	・今の状態では、どんどん悪くなっていくが、客の景気が良くなると動きが出てくる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他サービスの動向を把握できる者（所長）	・欧米では、新型コロナウイルスの終息の兆しが見られているが、国内では見通しが立っていない。特措法の限界もあるが、休業等の要請に従うものと従わないものの不公平感が増大していくのではないかと懸念している。
		その他サービスの動向を把握できる者〔介護サービス〕（管理担当）	・緊急事態宣言の延長の可能性を踏まえ、更に客からのサービスキャンセルが増加し、社員自身の生活に伴う休暇取得も増加することが想定され、前年実績よりも悪化することが懸念される。
	×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの影響で、現在の状況では、先行きが見えないために改善しない。
	×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルス終息のめどが立たないため、商店街では休業や廃業をする声が聞かれ、先行きがとても不安である。
	×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの影響が収まり、今後のめどがつかない限り、大幅な売上減少にならざるを得ない。商店街は、戦後最悪な状態になりつつあり、体力がない店では、廃業も考えられる状態である。政府の対応が甘すぎる。
	×	商店街（代表者）	・緊急事態宣言の解除が不透明なため、5月は悲観的である。
	×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの感染拡大が終わらなければ、消費行動が活発になることはない。
	×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルス感染拡大の終息が見えない限り、来街者や来店客数の激減が長期にわたり続く。先行き不透明で見通しがつかないため、不安である。
	×	一般小売店〔精肉〕（店員）	・新型コロナウイルスの影響が、まだまだ続く。
	×	一般小売店〔茶〕（販売・事務）	・新型コロナウイルスの影響で先行き不透明である。今までない景気の悪さは今後も続き、通常に回復するまでには数年掛かりそうである。
	×	百貨店（企画担当）	・新型コロナウイルスの終息時期が不明である。
	×	百貨店（業務担当）	・この新型コロナウイルスの影響がどのような形で収束するのか、先行きが全く見えない。
	×	百貨店（経営企画担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大の収束めども立っておらず、先行きは不透明である。今後、収束しても、取引先の廃業や客の消費動向変化等により、新型コロナウイルスが発生する以前の商環境まで改善することは難しいと見込んでいる。
	×	スーパー（店長）	・景気の動向は、新型コロナウイルスの終息に懸かっている。長引けば、今以上にひどくなることが明らかで、深刻である。
	×	スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの影響により、収束の見通しが立たないため、低迷していく。
	×	スーパー（総務担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大がある程度収まり、緊急事態宣言が解除になれば、来客数が減少している大型ショッピングセンターや各種娯楽施設、外食等に消費が傾き、また、企業の倒産等で所得が減少する人がかなり増加する。このことにより、ローカルスーパーマーケットは、かなり厳しい状況になる。
	×	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの終息時期は不透明である。もし、緊急事態宣言解除後も自粛ムードが続き、行楽レジャーやイベントの縮小傾向になると、コンビニエンスストアも低迷する。所得の減少が、更に大きくなるとダメージは悪化していく。
	×	コンビニ（経営者）	・3か月後に新型コロナウイルスの感染が鈍化するようには考えられない。毎月の収益も下がり、厳しい状況になる。政府の対策が後手にならないように、一層、早急な対策を望んでいる。
	×	コンビニ（経営者）	・今後の見込みは、客数減少が目に見えて分かる状況であるため、この状態がかなり続くと危惧している。
	×	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの影響がどこまで続くのか、不透明である。
	×	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの問題が解消した後に、通常の経済活動が再開されるまでには、まだ数か月の期間を要する。
	×	コンビニ（店長）	・先が見えず、不安である。
	×	コンビニ（店長）	・大小を問わずほとんどの活動が、中止に追い込まれている。
	×	衣料品専門店（店長）	・2～3か月先が不安で予測が付かない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	衣料品専門店（総務担当）	・今後、この状況が改善されるとは考えられない。
	×	家電量販店（総務担当）	・新型コロナウイルスの影響が、予測不可能である。
	×	乗用車販売店（代表）	・新型コロナウイルスの影響で、かなりの経済的打撃がある。
	×	乗用車販売店（総務担当）	・新型コロナウイルスの影響により、車両生産もこの先どうなるか分からない状況である。車両販売は、今まで以上に需要がなくなり、かなり厳しい状況が続く。
	×	住関連専門店（経営者）	・ほとんどの業界が、新型コロナウイルスの影響を受けており、消費者は、食品や生活必需品の購入以外、買物をする余裕はない状態である。
	×	住関連専門店（従業員）	・現在は、外出自粛による影響で来店客数が少なくなっている。今後はその傾向に加えて、収入減少や生活不安からの購買意欲の低下が大きな懸念事項である。
	×	その他専門店〔ドラッグストア〕（企画担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大が、今後も継続する。
	×	その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（支配人）	・新型コロナウイルスの終息が不透明なため、先行きがかなり厳しい見通しである。2～3か月後には、業績悪化で、倒産が出てもおかしくない状況である。このまま、経済活動ができない状況が、数か月単位で続けば、大手企業も危なく、想像を超える状況も考えられる。施設としても、テナントとしても生き残るための対策を講じらなければいけない。
	×	その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（統括者）	・現状では、新型コロナウイルスの影響が、数か月で改善されるとは考えられない。
	×	高級レストラン（経営者）	・5月の予約もキャンセルになり、予約が真っ白な状態である。今後、緊急事態宣言がいつまで続き、収束宣言がいつになるのか、また、経済状態が戻るまでには、時間が掛かる等心配が尽きない。何とか融資を利用し、生き延びることを考えている。僅かに注文があるテイクアウトで、何とかつなげていく。
	×	高級レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、外出が減少しているため、国内でのビジネス動向がなくなっていることが、はっきりしてきた。2～3か月どころか、今年中に回復することは無理ではないかと考えている。
	×	一般レストラン（経営者）	・全く先が見えず、困惑している状態である。対策として、レストラン部門の社員は、他部署に一時的な転属をしているが、今後、状況次第では、別の対策を立てなければいけない。
	×	一般レストラン（スタッフ）	・新型コロナウイルスの影響がいつまで続くか分からないが、簡単には回復しないため、借金増加により、一層苦しくなる。
	×	スナック（経営者）	・緊急事態宣言で休業を余儀なくされており、公務員や一部の産業を除き、多くの世帯で収入が減少し、終戦以来、未曾有の不景気がやってくると予想される。
	×	その他飲食の動向を把握できる者〔酒卸売〕（経理）	・3～4月の外食産業は、日を追うごとに、景況が悪化している。新型コロナウイルス感染拡大防止として、やむを得ない施策ではあるが、資金支援策にしても、今後返済を必要とするものである。今後、ワクチンが開発される等、根本的解決ができるまで、この状況が続くと想定すると、企業は雇用の維持ができず、ここ数か月で失業者が多くなると考えられる。
	×	都市型ホテル（販売担当）	・今後の予測が全くできない。
	×	都市型ホテル（スタッフ）	・国内や海外からの人の移動を伴った観光・宿泊・宴会は、非常に厳しい。
	×	旅行代理店（従業員）	・日本で新型コロナウイルスが終息に向かっても、諸外国も同時に終息しない限り、先行き不透明な状況が続く。そのため、国内観光業の消費者支出が予測できない。
	×	タクシー運転手	・いつ復帰できるか予想できない状態で、新型コロナウイルスから早い脱却を望んでいる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	通信会社（業務担当）	・新型コロナウイルスの影響が甚大である。取引先が影響を受け出すと、連鎖するように早いスピードで売上が低下していった。新型コロナウイルスが終息するまでは、売上増加は見込めない。
	×	通信会社（営業担当）	・2～3か月先までに緊急事態宣言が解けているとは到底思えず、その間に多くの店が、廃業に追い込まれている可能性がある。
	×	観光名所（従業員）	・新型コロナウイルスの終息を迎えない限りは、通常の来客数や売上数には戻らない。徹底した消毒やマスクの着用を義務付ける等対応を取っているが、厳しい状況である。
	×	理容室（経営者）	・4月に入り、高齢者の昼間の来店客数が5～6%減少している。原因は、理美容関係やホームセンターを緊急事態宣言の休業要請の対象にするかを検討していたことによる。先行き不透明なため、良くなる状況ではない。
	×	美容室（経営者）	・2～3か月先は、景気回復が見込めず、ますます悪くなる。外出自粛により、客の動きが悪くなっているのが現状で、今後の動きが全く見えないため、ひっ迫した状態が長引くと予想される。やはり、新型コロナウイルスが終息しない限り、景気回復は望めない。
	×	その他サービスの動向を把握できる者 〔フィットネスクラブ〕（営業）	・新型コロナウイルス感染予防対策による利用者減少が続く。
	×	設計事務所（所長）	・国内外で、新型コロナウイルス感染拡大の終息が不明である。また、生活の再建が優先される可能性が高く、業種によって、ばらつきが出る。
	×	設計事務所（代表）	・新型コロナウイルスの影響で、営業やイベントの自粛が長引くことを懸念している。
	×	住宅販売会社（従業員）	・現状のままでは、景気は悪くなっていく。また、緊急事態宣言解除になったとしても、景気が上向きになるまでは、しばらく時間を要する。
	×	住宅販売会社（従業員）	・新型コロナウイルスの影響により、全ての業態で売行きが下がっている。景気低迷による将来への不安のため、買い控えや雇用問題が発生し、景気は悪くなる一方である。
企業 動向 関連 (九州)		-	-
		輸送業（従業員）	・低迷している化粧品の輸出が、回復する見込みである。
		化学工業（総務担当）	・新型コロナウイルスの影響が不透明である。
		一般機械器具製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で材料の供給が非常に悪く、また、部品の調達も遅れているため、受注量が不安定になっており、しばらくこの現状が継続する。
		電気機械器具製造業（経営者）	・数か月先の受注計画にも大きく変動がない。
		建設業（従業員）	・今月は、見積案件も多いが、受注も受けた。今後、適正な配置人員ができるか不確定な部分も残されるが、景気は変わらない。
		輸送業（従業員）	・新型コロナウイルスが終息するまでは、先行き不透明なため、現状が継続する。
		通信業（職員）	・新型コロナウイルスの影響で、営業活動ができず、受注済み案件の対応も滞っている。
		経営コンサルタント（代表取締役）	・新型コロナウイルスが終息しないことには、今の状況が変わるとは考えられないため、かなり厳しい状況である。2か月程度で落ち着くことを望んでいる。
		経営コンサルタント（社員）	・様々な動きが途絶えてしまい、メールや電話での相談も期待できない。
		農林水産業（経営者）	・新型コロナウイルスの終息にもよるが、外出自粛要請が続くことで、5月は外食を中心にもっと厳しい売上になると予想している。少なくとも4～6月の売上ダウンはやむを得ないため、資金確保に努めていく。
		出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・受注量の見込みが悪くなっている。
		電気機械器具製造業（総務担当）	・新型コロナウイルスの影響による受注減少が懸念される。
	精密機械器具製造業（従業員）	・生産量は前月とほぼ変わらないが、以前より受注量の低減は続いている。また、半導体製造は、そこまで危機に落ちていないが、これから、新型コロナウイルスの影響により、どのような状態になるのか分からないため、安心してられない。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		通信業（経理担当） その他サービス業〔物品リース〕（支社長）	・新型コロナウイルス終息の見通しが立たない。 ・資金繰りが、更に厳しくなる取引先も増加する。個人消費も企業の業績低迷により、賃金が減少し、支出を控える傾向になる。
	×	農林水産業（従業者）	・外部環境が不況になるため、良くなる要素は見当たらない。
	×	食料品製造業（経営者）	・新型コロナウイルス対策として、ゴールデンウィークに県をまたいでの移動の自粛があり、物産館等での土産用商材の売上が減少すると見込まれる。
	×	食料品製造業（経営者）	・外食産業向けの受注減少が見込まれており、一層厳しくなる。
	×	繊維工業（営業担当）	・3か月では終息しない。安易に考えると危ないため、今後を見極めていきたい。
	×	家具製造業（従業員）	・日増しに悪くなっている。ホテル向け家具は、延期や中止物件が増加しており、受注済みのホテル向け家具も、納品の遅れや保留となりつつある。また、ホテルでは、インパウンドが戻る事が必須のため、新型コロナウイルスの終息時期が不透明なため、しばらくは我慢するしかない状態である。
	×	窯業・土石製品製造業（経営者）	・全国に外出自粛要請があり、百貨店や小売店の受注がない状態である。現在市場が見えず、今後、産地全体がどうなるのか危惧している。雇用関係も維持しなければならず、先の見通しが立たないことは、大きな問題である。
	×	金属製品製造業（事業統括）	・緊急事態宣言の解除次第となるが、当初予定どおりの運営は、難しいと判断している。
	×	一般機械器具製造業（経営者）	・引き合いの情報がないため、商談をする見込みが立っていない。自社開発品の早急な立ち上げを行う計画である。
	×	電気機械器具製造業（取締役）	・新型コロナウイルスのワクチンができ次第、景気は上昇に向かうと予想されるが、時間が掛かりそうである。
	×	輸送用機械器具製造業（営業担当）	・現時点では、客からの生産計画で当初の計画と比較すると、4割減の影響が予測されている。
	×	その他製造業〔産業廃棄物処理業〕	・現在の状況が続けば、悪くなる一方である。新型コロナウイルスの終息が分からないため、先の見通しも立たず、相場も不安定である。
	×	建設業（社員）	・先行きの見えない状態が、まだまだ続くと予想され危惧している。しかし、対策を講じて社員を大切にすることで、時期を乗り切り、悪くならないよう対策できることを実施する予定である。
	×	輸送業（総務担当）	・新型コロナウイルスが短期間で終息する気配が見えないため、耐えることができない中小企業が増えてくると予測される。今は、何とか耐えきれるかどうかに焦点が当たっており、ひっ迫した状況である。
	×	金融業（従業員）	・新型コロナウイルスの影響により、経済活動が大幅に委縮し、企業経営や市民生活に多大の影響が出ており、景気の先行きに暗い影を落としている。
	×	金融業（調査担当）	・新型コロナウイルスの終息が見通せず、景気の悪化が続く。状況が長期化すれば、廃業や倒産の増加も不可避となり懸念される。
	×	金融業（得意先担当）	・足元では、飲食業や観光業関連からの申込みが多いが、新型コロナウイルス終息が見えない状況で、他の業種でも、今後の先行きを懸念することも見受けられ、当面の間予定は注視していく必要がある。
	×	金融業（営業担当）	・緊急事態宣言が発令された後、企業や人の動きは、かなり止まっている。5月の連休以降に解除されたとしても、元の状態に戻すには、2～3か月以上は当然掛かるため、更に景気は厳しくなる。
	×	金融業（営業）	・人、モノの往來の制限が続き、先が見えない不安から停滞は続くと予想され、ますます悪くなる。
	×	金融業（調査担当）	・新型コロナウイルスの終息が根底にはあるが、経済面での影響は、今後更に増すとみている。3月売上の大幅減少に伴い、4～5月の資金繰り対応は、小規模、下請事業者を中心に不可避な状況が急増する。スーパーマーケットや商店、医薬品製造、検査キット製造といった一部の企業は業績が上向きだが、大半は業績低下しており、2～3か月先の景気は、現状よりも悪くなる。
	×	不動産業（従業員）	・新型コロナウイルスの影響で、居住用物件のキャンセルや賃貸物件の家賃免除や値下げ、支払延期等の問合せが増加しており、状況が悪くなっているようにしか感じられない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	不動産業（従業員）	・商業施設やホテル業部門が、休業を継続する見込みとなる。
	×	新聞社〔広告〕（担当者）	・収束が見通せない。
	×	経営コンサルタント（社員）	・今後もこの状態が続き、回復までは時間が掛かる。
	×	その他サービス業〔コンサルタント〕（代表取締役）	・市町村の当初予算に計上していた調査・計画・設計等の予算が、市町村独自の休業補償等の予算に組み直されるのではないかと予想している。その場合、調査等を行うコンサルタントへの発注が少なくなり、景気が悪くなることが予想される。
雇用 関連 (九州)		-	-
		-	-
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・緊急事態宣言は5月6日までとなっているが、その後、延期されるかどうかは不明である。しばらくは、この状況が続くと思われるため、この深刻な景気は変わらない。
		人材派遣会社（社員）	・現在の派遣契約は、途中解約がほぼなく守られているが、次の契約更新時の継続が不透明である。
		人材派遣会社（社員）	・今後、新型コロナウイルスの影響が出る企業がある。企業やスタッフの休業手当等の相談も増えている。
		人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスの影響で、様々な業界の実績が落ち込むことが予想され、求職者に関しても動きが既に停滞している。求人数の落ち込みも見込まれ現状より悪化する。
		新聞社〔求人広告〕（社員）	・劇的な改善は望めないものの、新型コロナウイルスの感染者数も現時点では減少傾向にあり、政府の強力な支援で、効果は出ると予想している。しかし、営業停止も3か月を超えると維持できないとの報道もあり、長期化への不安はある。
		職業安定所（職員）	・一旦休業した事業所が、元の体制に戻るまでには、時間が必要であり、離職者も再就職が困難になっていくと予想される。
	×	人材派遣会社（社員）	・6月末に多くの派遣社員の更新時期を控えており、現在の景況感では、契約更新をしない派遣先が出てくることが予想される。
	×	人材派遣会社（社員）	・緊急事態宣言の解除時期がはっきりしないため、先の対応ができない。
	×	人材派遣会社（社員）	・例年5～6月は、需要が落ち込む時期であるが、今年はどこまで落ち込むのか見込めない。
	×	求人情報誌製作会社（編集者）	・いまだに新型コロナウイルス感染が拡大しており、終息は期待できない。ゴールデンウィークや夏の大型イベント中止も決まり、経済への影響は計り知れない。今後の政府の施策に期待したい。
	×	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・人の流れが止まった状況では経済は回らない。特に、この数年インバウンドが伸びていただけに、需要を見込んでいた産業や企業の影響は避けられず、景気が回復するには数年掛かると予想している。
×	職業安定所（職員）	・緊急事態宣言等により、企業活動を縮小せざるを得ない状況が続いており、今後の見通しも不明である。	
×	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの影響による売上減少と先行き不透明による不安の相談が多くなる。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	x	学校〔大学〕（就職支援業務）	・新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言や休業要請で、経済に影響が出ており、企業の採用意欲抑制等深刻な状況が懸念される。特に、授業実施が8月までずれ込んだ場合、2022年卒業へのインターンシップ実施が困難となり、企業の採用活動への影響が更に増すと考えられる。

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (沖縄)		百貨店（店舗企画）	・当初より4月が底とみていたため、5月以降は回復することを期待している。
		コンビニ（代表者）	・新型コロナウイルスの影響は6月中旬位まで続くと判断する。小中高校の登校開始後は現在より消費動向は向上していくと予測する。
		通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの状況にもよるが、現在が最悪の状況と考え、2～3か月後には復調するのではないかと希望的観測がある。現在はスタッフのスキルアップなどを行い、営業制限解除後に備えている。
		*	*
		スーパー（販売企画）	・新型コロナウイルス禍が2～3か月続いても、他業種の大変厳しい現状を考えるとスーパーマーケットの景気は続かないと考えられる。また巣籠りの内食需要もそこまで続かないと考えられる。
		コンビニ（経営者）	・しばらくは夜間の客数が減少するので、売上は伸びないとみられる。
		衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で国により行動自粛が要請されているため、客が少ない。今のところ、営業になっていない。
		その他サービス〔レンタカー〕（営業）	・新型コロナウイルスの感染状況や緊急事態宣言の期間によるが、終息したとしても景気が回復しない限り、観光関連の需要はすぐには大きく見込めない。
		住宅販売会社（代表取締役）	・県外企業の在宅勤務の影響で、連絡等が難しく業務に支障が出ている。また、新型コロナウイルスの終息がみえないなか、客の建築に関する投資意欲が落ち込んでいる。
	x	商店街（代表者）	・商店街には、現在流行している新型コロナウイルスが落ち着かなければ苦しい小売店が多く、大変な危機的状況下にある。早期の終息を願いたい。
	x	スーパー（企画担当）	・新型コロナウイルスの感染防止策による一部業態の営業自粛によって、経済活動が縮小している。
	x	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスが終息する気配が感じられず、自粛要請期間の更なる延長も余儀なくされる可能性があるため、回復は見込めず更なる落ち込みが懸念される。
	x	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で危機になっていくのは、これからだとみている。
	x	その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・ほとんどの飲食店、新型コロナウイルスの影響の大きい業種は臨時休業しており、閉店する店舗も出てきている。当社店舗も売上がなく、資金繰りを圧迫しており、緊急融資、補助金申請、雇用調整助成金等申請できるものは全て申請している。しかし機関の対応が遅く、金額が低い上に時間が掛かっており窮地に立たされている。たとえ営業再開しても、売上が戻るまでの期間がみえてない。
	x	観光型ホテル（マーケティング担当）	・5月は完全クローズで営業日はない。6月以降再開予定だが、现阶段の感染状況等を考えるとまだまだ先がみえない状況である。営業が再開できても客室稼働率が上がることが見込まれない。今まで経験したことがない壊滅的な状況である。
x	観光型ホテル（代表取締役）	・宿泊の予約が入ってこない。夏もインターハイの中止が決定したことから、ブロックや地方大会が中止になる。入っていた予約も取消しになる。とても厳しい。	
x	旅行代理店（マネージャー）	・会社の体力勝負になってきた。まだ先がみえない状態なのでどうしようもない。	
企業 動向 関連 (沖縄)		-	-
		*	*
		食料品製造業（総務）	・新型コロナウイルスの収束度合いにより景気にも影響するが、2～3か月先はまだ現状が続くとみられる。
	建設業（経営者）	・新築の引き合い、及び打合せが全く進まない。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		輸送業（代表者）	・宮古島、石垣島は民需、官需共に好調に推移しているが、クルーズ船を中心に観光客は激減しており、建設業者も工事を停止する方向にあり、新型コロナウイルスの今後の影響が懸念される。
		広告代理店（営業担当）	・新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、県内企業の販促活動は大幅に減速している。回復するめどは立たずに先行
	×	窯業・土石製品製造業（経営者）	・新型コロナウイルス感染症まん延による緊急事態宣言が解除され収束するまでは、ますます悪化が続くとみられる。
	×	輸送業（経営企画室）	・緊急事態宣言が延長され、景気は継続して落ち込んでいくものとみられる。
雇用 関連 (沖縄)		-	-
		求人情報誌製作会社（編集室）	・4月の求人件数は過去に例がないほどの減少だった。また、後半は居酒屋等の求人がほとんど掲載されなかった。新型コロナウイルスの収束状況、自粛要請の緩和によるが5月までは厳しい状況が続き、6月は多少良くなるのではないかとみられる。
		-	-
		-	-
	×	人材派遣会社（総務担当）	・新型コロナウイルスの終息の予想がつかず、自粛が更に続くところ以上に悪化する。
	×	求人情報誌製作会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響で、休業している企業が出ている。
	×	職業安定所（職員）	・今後は休業で持ち堪えられない企業の倒産が増加するものと考えられる。
×	学校〔専門学校〕（就職担当）	・新型コロナウイルス感染拡大が世界に脅威をもたらしているなか、日本の対応の遅さと低さが国民生活を不安にさせている。新卒の学生達が笑って社会に飛び出せる実感が早く欲しい。未来の日本を担う人たちが安心して暮らせる日本にしてみたい。	
×	学校〔大学〕（就職支援担当）	・この現状では将来は未知数であり、現状から回復するにはよほどの体力が必要である。	